

SHARP®

液晶プロジェクター

エックス ジー ピー エックスジェイ

形名 **XG-P10XJ**

取扱説明書



液晶データビジョン

このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

はじめに

設置と接続のしかた

基本操作

便利な機能を使う

正しくお使いいただくために

付録

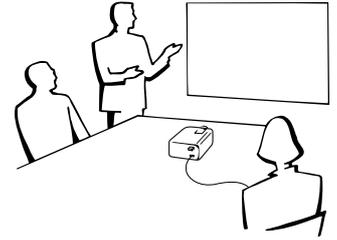


特長

1. 高輝度・ポータブルスリムデザイン設計

2800ANSIルーメンの高輝度を実現

- 明るい部屋でも使用可能な高輝度を実現しました。
- 質量7.3kg、容量12.9リットルの小型・軽量を実現しました。



2. 高画質

3次元デジタルユニフォミティ回路の採用

- 画面のすみずみまで均一な明るさで投影し、より見やすい映像が楽しめます。

3次元Y/C分離回路搭載でより美しいビデオ映像を実現

- ビデオ映像もドット妨害やクロスカラーノイズを最小限におさえ、高品位な画像が再生できます。

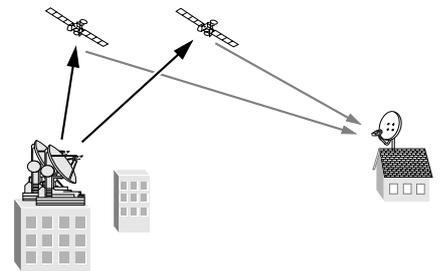
デジタルガンマ機能の採用

- 映像や部屋の明るさに合わせ、階調表現を変えるなど、4種類のガンマ設定でお好みの映像が楽しめます。

3. 多彩な入力対応

高性能ワークステーションやコンピュータに接続可能

- 200Hzまでのリフレッシュレート(垂直周波数)に対応。広範囲の同期信号に対応しています。
- SXGA(1280×1024ドット)UXGA(1600×1200ドット)のコンピュータ出力画面で情報の欠落がないアドバンスインテリジェントコンプレッション表示を実現。
- 世界の主な方式NTSC、PAL、SECAM方式への対応と、DVDプレーヤーやデジタルビデオなどが接続できるコンポーネント(色差)入力端子や、RGB入力にBNC端子を装備しています。
- I/P変換機能を搭載し、BSデジタル放送にも対応
1125i、750p、525p、525iの放送に対応しています。



自動同期調整

- コンピュータにより微妙に異なる信号を、自動的に最適な状態に表示することができます。

4. 多彩なプレゼンテーションサポート機能

- 独自の画像処理技術を使い、画面の拡大や縮小ができます。
- プレゼンテーションツール機能により、画面上にチェックマークやアンダーラインを書くなど、便利なツールを搭載しております。
- スタート時や無信号時にオリジナルの背景が設定できます。

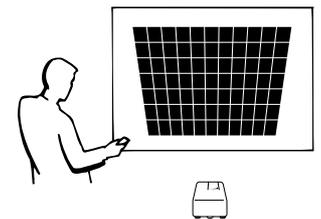
5. その他

電動ズーム/フォーカス機能とデジタルキーストーン補正回路を搭載

- 1.3倍電動ズーム機能とフォーカス機能により、リモコンで画面サイズやフォーカスを簡単に調整することができます。
- デジタルキーストーン補正回路により、仰角投射したときなどにできる画面の台形歪みを、電気的に補正します。

デジタルシフトでスムーズな画像表示が可能

- デジタルシフト機能を使うことにより、シネマサイズの画像の上下移動がスムーズに行えます。



リモートマウスレシーバーにUSB端子搭載

- リモートマウスレシーバーにPS/2端子に加え、USB端子を搭載。USBタイプのマウスを採用しているコンピュータでは、より簡単にリモートマウスを利用できます。



もくじ

はじめに

	ページ
特長	2
もくじ	3
安全に正しくお使いいただくために	4
使用上のご注意	8
PDF 取扱い説明書の見かた	9
各部のなまえ	10
本体	10
リモコン	12
リモコンの使いかた	14
乾電池の入れかた	14
リモコンを使用するときは	15
リモコン/リモートマウスレシーバーの使用範囲	16

設置と接続のしかた

付属品を確認する	18
設置のしかた	19
アジャスターの使いかた	19
スクリーンを設置する	20
接続のしかた	23
接続例	23
コンピュータと接続する	23
プロジェクターにビデオ機器を接続する	26
プロジェクターにアンプやその他のオーディオ機器を接続する	27
シリアル(RS-232C)端子へ接続する	28

基本操作

投影のしかた	30
電源を入れてから切るまで	30
レンズ調整	32
リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する	34
メニューの使いかた	36
メニュー表示内容一覧	36
メニュー項目別の設定調整内容一覧	37
メニューの基本操作	38
映像を調整する	40
コンピュータの映像を調整する	40
ビデオ、DVD プレーヤーなどの映像を調整する	41
RGB またはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ	42
インターレース信号をプログレッシブ信号に変換する(I/P 変換)	43
音声を調整する	44
コンピュータの画面を調整する	46
AUTOSYNC(自動同期調整)が OFF のとき	46
画面調整の内容をメモリー登録する/呼び出す	48
特殊モード調整	52
自動同期調整	54
自動同期調整時の画面表示機能	56
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	58

入力信号を確認する	60
-----------	----

便利な機能を使う

フリーズ(静止画)機能	62
デジタル映像を拡大する	63
ガンマ補正	64
画像表示モードを選ぶ	65
ブラックスクリーン機能	66
投影された画面を暗くする	66
画面表示を消す	67
省エネモードを選ぶ	68
自動電源オフ機能	69
光源ランプの使用時間を確認する	70
画面表示設定機能	71
無信号時に表示する画面を設定する	72
オープニング画面を選ぶ	74
パスワードを設定する	76
パスワードを変更する	78
パスワードを忘れてしまったら	79
キーロックレベルを設定する	80
キーロックの解除のしかた	81
画面表示言語を選ぶ	82
調整内容を一覧表示する	84
映像の左右反転/上下反転のしかた	85
プレゼンテーションツールを使う	86
休憩時間を表示する	88

正しくお使いいただくために

お手入れのしかた	90
エアフィルターのお手入れ	91
お知らせランプ/光源(ランプ)について	92

付録

別売レンズ	94
本体のコネクタのピン配置	94
RS-232C ポート仕様	95
ワイヤードリモコン端子仕様	97
RGB 入力信号(推奨信号)について	98
盗難防止用コネクタを使用する	99
故障かな?と思ったら	100
アフターサービスについて	101
お問い合わせは	102
仕様	104
寸法図	105
用語集	106
索引	107



安全に正しくお使いいただくために

はじめに

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味
(絵表示の一例です)



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

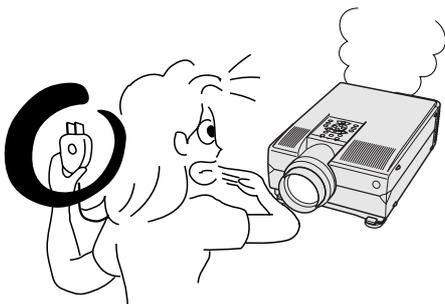
煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



●異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない



●この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

●サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

交流(AC)100ボルト以外の電圧では使用しない



●火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

液晶プロジェクターを落としたときは

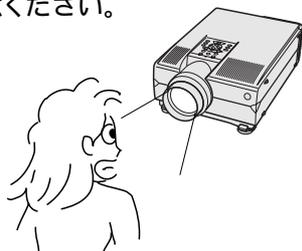


- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



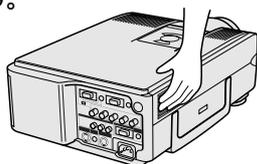
- 投影中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投影中は、光源ランプ交換ドアや排気孔、およびその周辺部に触れないでください。高温になりますので、やけどの原因となります。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために(つづき)

はじめに



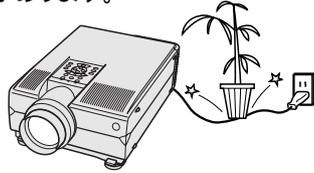
安全に正しくお使いいただくために

警告

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

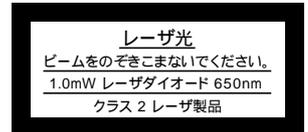


- 電源コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

レーザー光を眼に当てない



- この機器に使用されているレーザー光線は、人体には無害ですが、光を直接眼に当てないようにご注意ください。
- レーザー発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射しないでください。眼にレーザー光が直接当たると、眼に障害を起す恐れがあります。



注意

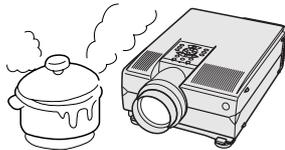
湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない

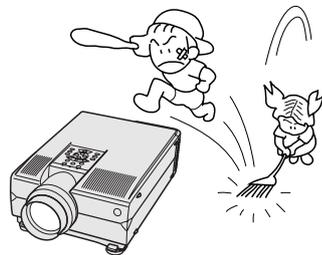


- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部(排気側)は、壁などから10cm以上はなして設置してください。

次のような使い方はしないでください。

この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線ははずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の電池は使わない

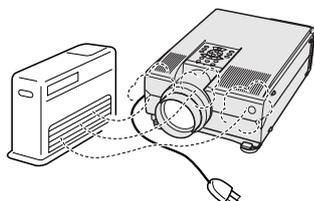


- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。



使用上のご注意

設置するときはずきの点にご注意ください。

ホコリ、湿気の少ないところへ

湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

高温、低温の場所はさけてください

使用温度範囲 5 ~ 40

保存温度範囲 - 20 ~ 60

直射日光や、照明の光はさけてください

スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

排気孔や吸気孔をふさがないように

排気孔側に壁やモノがある場合は、10cm以上スキ間をあけて設置してください。

吸気孔をふさがないように設置してください。

本機を 5°以上傾けないように設置してください

設置範囲(水平に対する角度) + 5°

温度モニター機能



設置状況やエアフィルターが目詰まり等によりプロジェクター内部の温度が高くなると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度(TEMP)ランプが点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については92ページの「お知らせランプについて」をご参照ください。

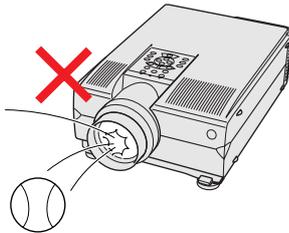
注意

冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。

投影中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

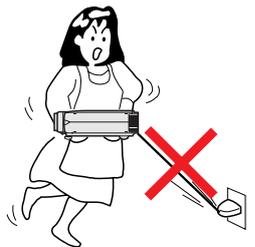
衝撃を与えないでください

本機の拡大レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



持ち運びのご注意

持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。なお、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



目をときどき休めてください

連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

接続機器について

プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

海外では使用できません

このプロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

Micorsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

PS/2、PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

Adobe Acrobatはアドビシステムズ社の商標です。

その他製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。



PDF 取扱説明書の見かた(Windows, Macintosh)

本機に付属のCD-ROMの中には、本書がなくても操作が行えるように、PDF取扱説明書が添付されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAcrobat Reader4.0Jが必要です。お持ちのコンピュータ(WindowsやMacintoshコンピュータ)にAcrobat Reader4.0Jがインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールすることができます。

Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする

Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "マイコンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "manuals"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "acrobat"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "windows"フォルダをダブルクリックする。
- ⑦ "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- ⑧ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ③ "manuals"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "acrobat"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "mac"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- ⑦ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット(<http://www.adobe.co.jp>)から、Acrobat Reader4.0Jをダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "マイコンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "manuals"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "xg-p10xj"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- ⑦ プロジェクターの取扱説明書を見たいとき
"p10_j.pdf"ファイルをダブルクリックする。
Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)の取扱説明書を見たいとき
"saps_j.pdf"ファイルをダブルクリックする

Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ③ "manuals"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "xg-p10xj"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ プロジェクターの取扱説明書を見る
"p10_j.pdf"ファイルをダブルクリックする。

! 注意

マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Acrobat Reader4.0Jをまず起動させてから、"ファイル"開く"メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)は、Windows版です。Macintoshでは働きません。



各部のなまえ

はじめに

各部のなまえ

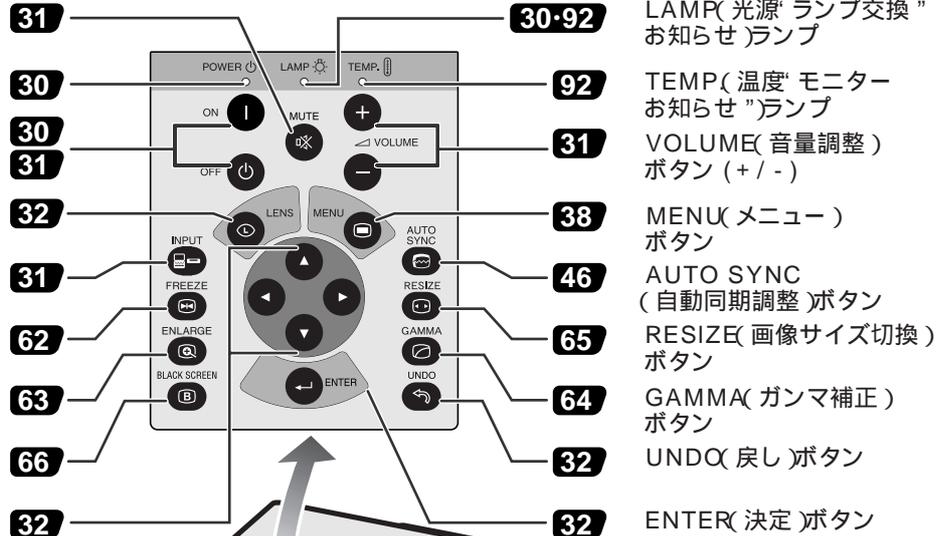
■ は参照ページを示しています。

本文操作説明では、下表の「本文中での表記」を太字で使用しています。」

本体

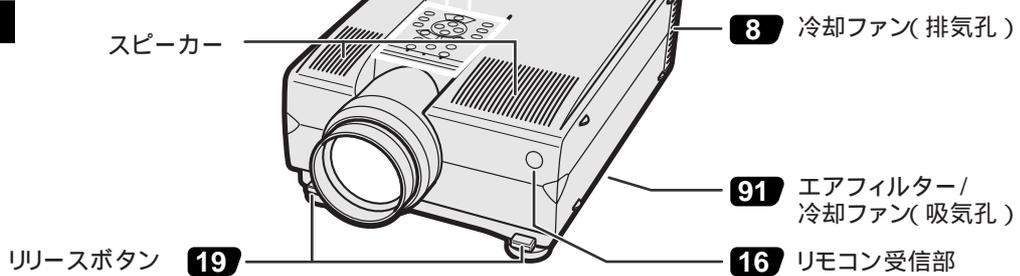
天面操作部

- MUTE(消音)ボタン
- POWER(電源)ランプ
- ON(電源「入」)ボタン
- OFF(電源「切」)ボタン
- LENS(レンズ)ボタン
- INPUT(入力切替)ボタン
- FREEZE(静止)ボタン
- ENLARGE(拡大)ボタン
- BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)ボタン
- ▲▼◀▶(マウス選択/調整)ボタン



- 30・92 LAMP(光源「ランプ交換」お知らせ)ランプ
- 92 TEMP(温度「モニターお知らせ」)ランプ
- 31 VOLUME(音量調整)ボタン(+/-)
- 38 MENU(メニュー)ボタン
- 46 AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
- 65 RESIZE(画像サイズ切替)ボタン
- 64 GAMMA(ガンマ補正)ボタン
- 32 UNDO(戻し)ボタン
- 32 ENTER(決定)ボタン

前面・天面

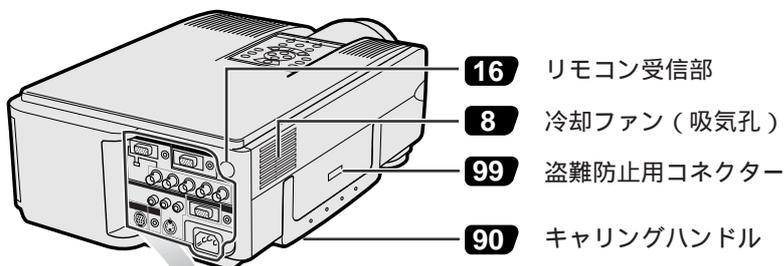


リリースボタン

各部のなまえ	本文中での表記	はたらき
MUTE(消音)ボタン	MUTE	スピーカーからの音を一時的に消す
POWER(電源)ランプ	POWER	電源ランプ
ON(電源「入」)ボタン	ON	電源を入れる
OFF(電源「切」)ボタン	OFF	電源を切る
LENS(レンズ)ボタン	LENS	フォーカス調整・ズーム調整・キーストーン補正の各画面へ切り換える
INPUT(入力切替)ボタン	INPUT	入力モード(入力1、2、3)を切り換える
FREEZE(静止)ボタン	FREEZE	動画を静止画として記憶・表示する
ENLARGE(拡大)ボタン	ENLARGE	映像を拡大する
BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)	BLACK SCREEN	画面表示をブラックにする(BLACKSCREENボタン)
▲▼◀▶ (マウス選択/調整)ボタン	▲▼◀▶	コンピュータのマウスと同様、メニューの選択や各調整画面で調整を行うのに使用する
LAMP (光源「ランプ交換」お知らせ)ランプ	LAMP	通常は緑色で点灯。赤色で点灯すればランプ交換が必要
TEMP. (温度「モニターお知らせ」)ランプ	TEMP.	通常は緑色で点灯。内部温度が高温になると赤色で点灯する
VOLUME(音量調整)+/-ボタン	VOLUME+/-	スピーカーからの音量を調整する
MENU(メニュー)ボタン	MENU	各種設定・調整用の画面(OSD画面)を表示するときに使用する
AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン	AUTOSYNC	コンピュータ接続時の同期を自動で調整する
RESIZE(画面サイズ切替)ボタン	RESIZE	画面表示モード(ワイドやノーマルなど)を切り換える
GAMMA(ガンマ補正)ボタン	GAMMA	部屋の明るさの違いなどによる見にくい映像を補正する
UNDO(戻し)ボタン	UNDO	1つ前の操作の状態に戻す
ENTER(決定)ボタン	ENTER	各操作の区切りや選択項目の決定などを行うとき使用する

は参照ページを示しています。

側面・背面



背面端子

AUDIO INPUT 1(音声入力1)
端子(3.5ミリステレオミニジャック)

INPUT 1(コンピュータRGB/
COMPONENT(コンポーネント)
入力1)端子 (15ピンミニD-sub)

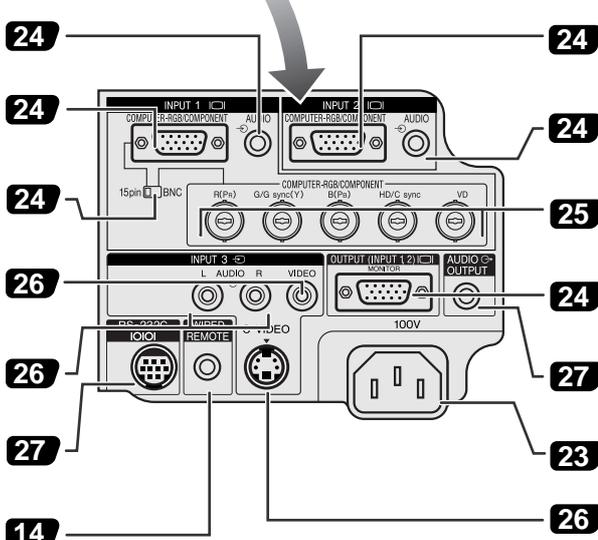
15 pin/BNC(15ピン/
BNC切換)スイッチ

VIDEO INPUT(ビデオ入
力)3端子: RCA

AUDIO INPUT(音声入力)
3端子: RCA

RS-232Cコネクタ
(9ピンミニDIN)

ワイヤードリモコン端子



16 リモコン受信部

8 冷却ファン (吸気孔)

99 盗難防止用コネクタ

90 キャリングハンドル

24 INPUT 2(コンピュータRGB/
COMPONENT(コンポーネント)入
力2)端子 (15ピンミニD-sub)

24 AUDIO INPUT 2(音声入力2)
端子(3.5ミリステレオミニジャック)

25 INPUT 1(入力1)端子
: BNC端子

24 OUTPUT (INPUT 1/2用コン
ピュータRGB/COMPONENT
(コンポーネント)出力)端子

27 AUDIO OUTPUT(音声出
力)端子(3.5ミリステレオミニ
ジャック)

23 AC(電源)ソケット

26 S-VIDEO(S映像入力)3端子
(4ピンミニDIN)

各部のなまえ	本文中での表記	はたらき
AUDIO INPUT 1(音声入力1)端子 (ステレオミニジャック)	AUDIO INPUT 1	INPUT 1(RGB/COMPONENT(コンポーネント) 15ピンミニD-sub) 入力またはBNCコネクタ入力)に接続の機器の音声入力用端子
INPUT 1(コンピュータRGB/COMPONENT(コンポーネント)入力1)端子	INPUT 1	コンピュータRGB/COMPONENT(コンポーネント)接続用端子。RGBケーブルまたはD-sub/RCAケーブル(市販品)で接続する
15 pin/BNC(15ピン/BNC切換)スイッチ	15ピン/BNCスイッチ	RGB(15ピンミニD-sub)接続とBNCコネクタ接続の入力信号を切り換える
VIDEO INPUT(ビデオ入力)3端子 (RCAピンジャック)	VIDEO INPUT	RCAピンジャックタイプのビデオ入力用端子
AUDIO INPUT(音声入力)3端子 (RCAピンジャック)	AUDIO INPUT	RCAピンジャックタイプの音声入力用端子
RS-232Cコネクタ	同左	RS-232Cケーブル(市販品)を使ってコンピュータなどと接続する
ワイヤードリモコン端子	同左	リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、リモコンのワイヤードリモコン端子と接続し使用する
INPUT 2(コンピュータRGB/COMPONENT(コンポーネント)入力2)端子	INPUT 2	コンピュータRGB/COMPONENT(コンポーネント) (15ピンミニD-sub)接続用端子。RGBケーブルまたはD-sub/RCAケーブル(市販品)で接続する
AUDIO INPUT 2(音声入力2)端子 (ステレオミニジャック)	AUDIO INPUT 2	INPUT 2(RGB/COMPONENT(コンポーネント) (15ピンミニD-sub)入力)に接続の機器の音声入力用端子
INPUT 1(入力1)端子(BNC端子)	INPUT 1	BNC端子(3連、5連)を使って機器を接続する場合に使用する
OUTPUT (INPUT 1/2用コンピュータRGB/COMPONENT(コンポーネント)出力)端子	OUTPUT	映像信号をモニターなどへ送るときに使用する
AUDIO OUTPUT(音声出力)端子 (ステレオミニジャック)	AUDIO OUTPUT	INPUT 1またはINPUT 2に接続した機器の音声信号をオーディオ機器などへ送るときに使用する
AC(電源)ソケット	ACソケット	付属の電源コードをつなぐ
S-VIDEO INPUT(S映像入力)3端子 (4ピンミニDIN)	S-VIDEO INPUT	S端子付ビデオ機器を接続するときに使用する



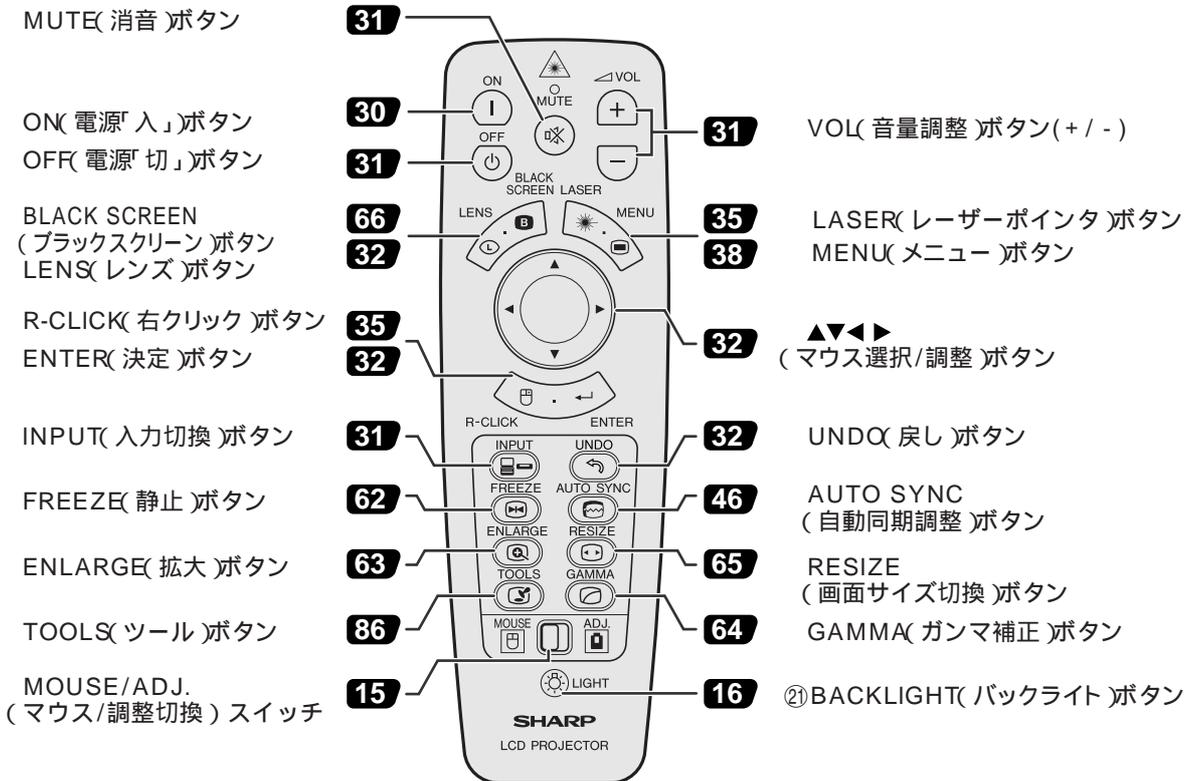
各部のなまえ(つづき)

■ は参照ページを示しています。

本文操作説明では、下表の「本文中での表記」を太字で使用しています。」

リモコン

前面



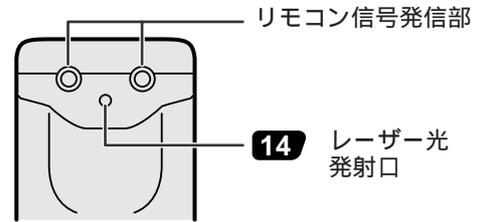
各部のなまえ	本文中での表記	はたらき
MUTE(消音)ボタン	MUTE	スピーカーからの音を一時的に消す
ON(電源「入」)ボタン	ON	電源を入れる
OFF(電源「切」)ボタン	OFF	電源を切る
BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)ボタン	BLACK SCREEN	画面表示をブラックにする(BLACKSCREENボタン)
LENS(レンズ)ボタン	LENS	フォーカス調整・ズーム調整・キーストーン補正の各画面へ切り換える
R-CLICK(右クリック)ボタン	R-CLICK	コンピュータのマウスの右クリックボタンと同じ働き
ENTER(決定)ボタン	ENTER	選択項目の決定などを行うとき使用する
INPUT(入力切換)ボタン	INPUT	入力モード(入力1、2、3)を切り換える
FREEZE(静止)ボタン	FREEZE	動画を静止画として記憶・表示する
ENLARGE(拡大)ボタン	ENLARGE	映像を拡大表示する
TOOLS(ツール)ボタン	TOOLS	プレゼンテーションツールを使うとき使用する
MOUSE/ADJ.(マウス/調整切換)スイッチ	MOUSE/ADJ.	リモコンの各ボタンの働きを変える場合に使用する
VOL(音量) +/- ボタン	VOL.	スピーカーからの音量を調整する
LASER(レーザーポインター)ボタン	LASER	プレゼンテーション時にポインターとしてレーザー光を使用する
MENU(メニュー)ボタン	MENU	各種設定・調整用の画面(OSD画面)を表示するとき使用する
▲▼◀▶ (マウス選択/調整)ボタン	▲▼◀▶	コンピュータのマウスと同様、メニューの選択や各調整画面で微調整を行うのに使用する
UNDO(戻り)ボタン	UNDO	1つ前の操作の状態に戻す
AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン	AUTOSYNC	コンピュータ接続時の同期を自動で調整する
RESIZE(画面サイズ切換)ボタン	RESIZE	画面表示モード(ワイドやノーマル)を切り換える
GAMMA(ガンマ補正)ボタン	GAMMA	部屋の明るさの違いなどによる見にくい映像を補正する
②BACKLIGHT(バックライト)ボタン	BACKLIGHT	暗いところでリモコンを使用する場合のライトアップ用ボタン

■ は参照ページを示しています。

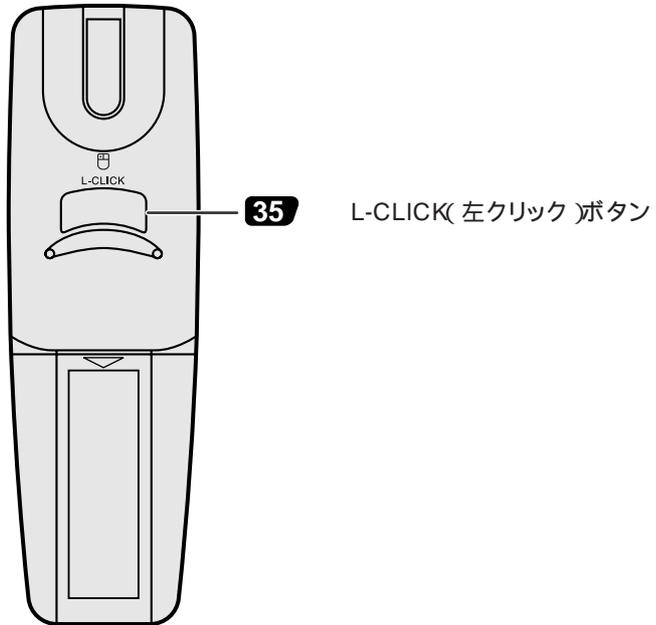
底面



上面



裏面



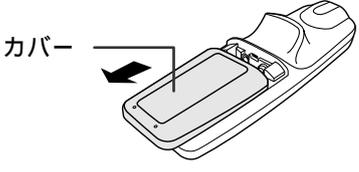
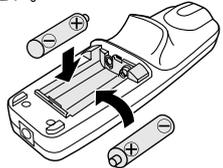
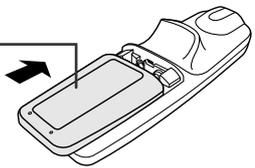
各部のなまえ	本文中での表記	はたらき
ワイヤードリモコン端子	同左	リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、本体のワイヤードリモコン端子と接続し使用する
L-CLICK(左リック)ボタン	L-CLICK	コンピュータのマウスの左クリックボタンと同じ働き



リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。〔単3形(R06)2本〕

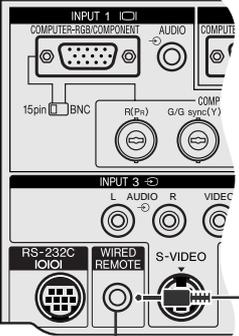
<p>1 カバーを矢印の方向にスライドさせ開けます</p>	<p>2 付属の乾電池を入れます</p>	<p>3 カバーを矢印の方向にスライドさせ閉めます</p>
	<p>プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。</p> 	

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 注意**
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
 - 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
 - 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
 - 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
 - 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
 - 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

ワイヤードリモコン端子について

本体後面端子



リモコン底面



別売リモコンケーブル (AN-RC30W)
ワイヤードリモコン端子

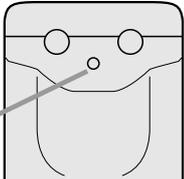
プロジェクターの設置方法により、リモコン信号が届かない場合は、別売のリモコンケーブル(AN-RC30W)を使って、リモコンの底面にあるWIRED A/C JACK (ワイヤードリモコン)端子と、プロジェクターの後面にあるWIRED REMOTE(ワイヤードリモコン)端子を接続してご使用ください。

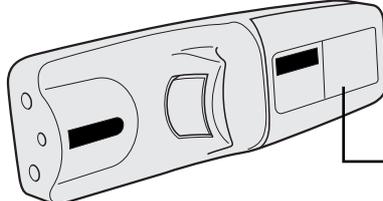
メモ
ワイヤードリモコンを使用中でも、レーザーポインター機能、リモートマウス機能は使用できます。

警告

リモコンのレーザー光発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射しないでください。目にレーザー光があたると、目に障害を起こす恐れがあります。

レーザー光発射口



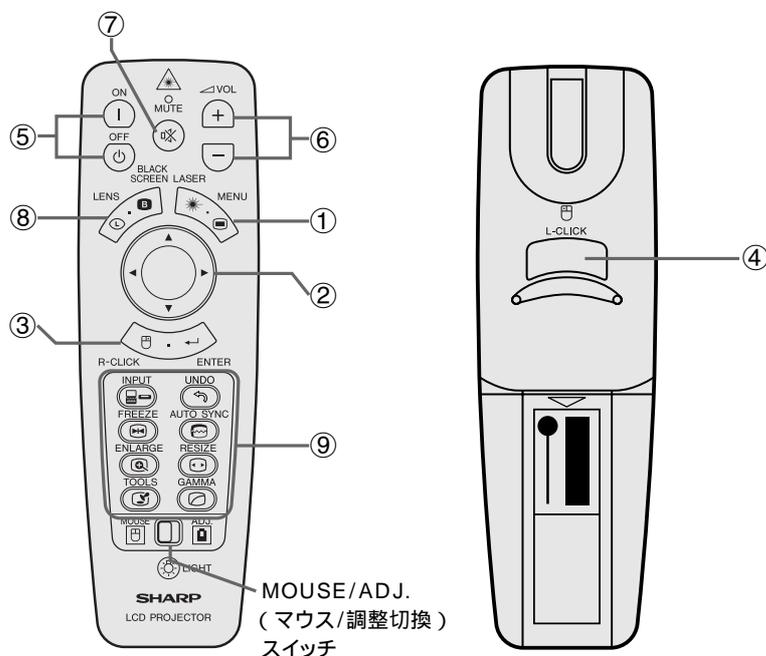




レーザー光
ビームをのぞきこまないでください。
1.0mW レーザダイオード 650nm
クラス 2 レーザ製品

リモコンを使用するときは

リモコンのボタンの一部は、MOUSE/ADJ(マウス/調整切換)スイッチを「MOUSE」(マウス)側にしたときと、「ADJ.」(調整切換)側にしたときでは、働きやボタンの発光色が違います。BACKLIGHT(バックライト)ボタンを押したときの発光色は、下表のようになります。



	MOUSE/ADJ.(マウス/調整切換)スイッチの位置と機能するボタン	
	「MOUSE」側(発光色)	「ADJ.」側(発光色)
①	LASER(レーザーポインタ)ボタン(緑)	MENU(メニュー)ボタン(赤)
②	▲▼◀▶(マウス)ボタン(光りません)	▲▼◀▶(選択/調整)ボタン(光りません)
③	R-CLICK(右クリック)ボタン(緑)	ENTER(決定)ボタン(赤)
④	L-CLICK(左クリック)ボタン(光りません)	
⑤	ON(電源「入」)/OFF(電源「切」)ボタン(赤)	
⑥	VOL(音量調整)ボタン(+/-)(赤)	
⑦	MUTE(消音)ボタン(赤)	
⑧	BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)ボタン(緑)	LENS(レンズ)ボタン(赤)
⑨	すべて(赤)	

メモ

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するときは、MOUSE/ADJ(マウス/調整切換)スイッチを、「MOUSE」側にしてください。

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するときは、リモートマウスレシーバーをコンピュータに接続してください。接続のしかたは、[34ページ](#)をご覧ください。



リモコンの使いかた(つづき)

リモコン/リモートマウスレシーバーの使用範囲

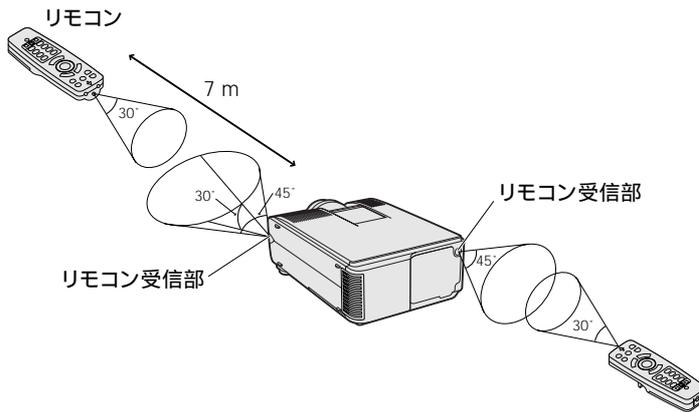
リモコンの使用範囲は下図のとおりです。

リモートマウスレシーバーは、プロジェクターに接続されたコンピュータをリモコンで制御することができます。

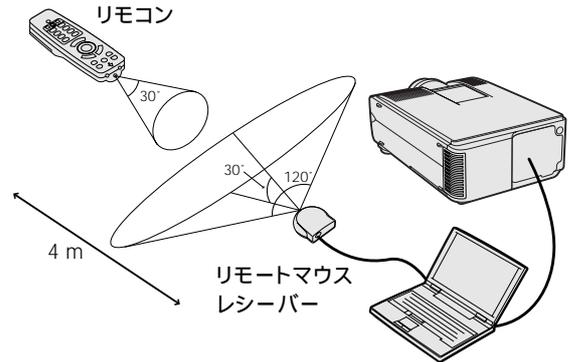
メモ

リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

プロジェクターを制御する場合



ワイヤレスマウスを使用する場合



注意

リモコンの使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。

暗いところでリモコンを使うとき



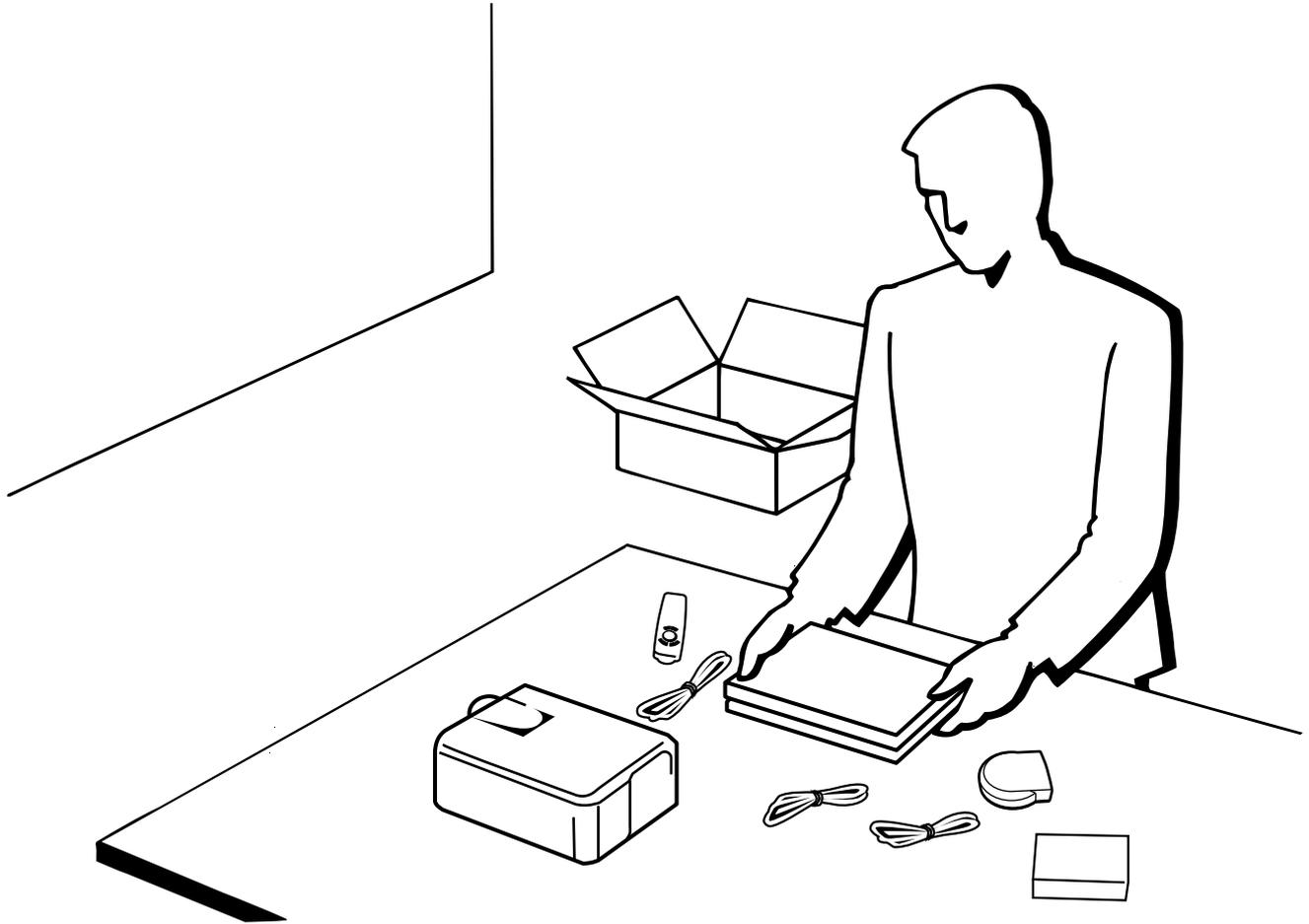
BACKLIGHT (バックライト) ボタンを押します

BACKLIGHTボタンを押すと、約5秒間、各ボタンが光ります。いずれかのボタンを押した場合は、その時点で消えます。各ボタンの発光色は、MOUSE/ADJ.(マウス/調整切換)スイッチの位置により異なります。

15ページ



設置と接続のしかた





付属品を確認する

設置と接続のしかた

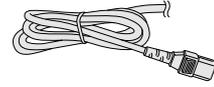
付属品を確認する



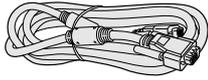
リモコン



単 3 形乾電池(2 本)



電源コード



コンピュータ(RGB)
ケーブル



コンピュータ
音声ケーブル



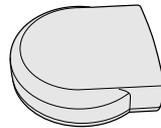
BNC-RCA 変換プラグ(3 個)



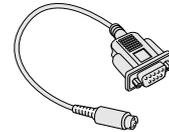
USB マウスコントロール
(シリアル) ケーブル



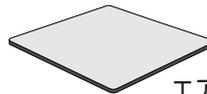
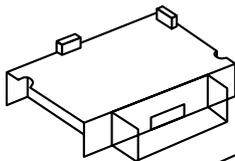
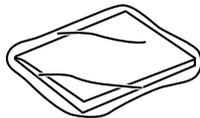
マウスコントロール
ケーブル
(PS2 用)



リモートマウスレシーバー



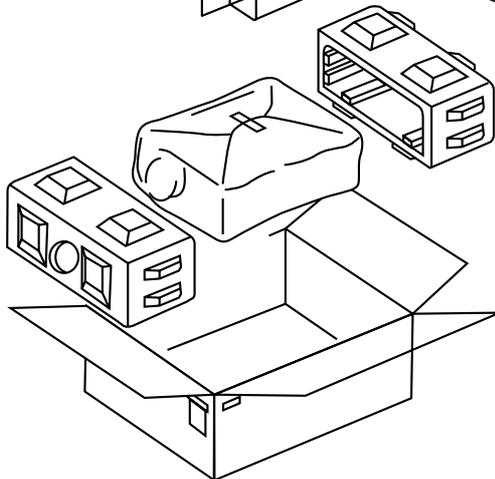
DIN D-sub RS-232C
ケーブル



エアフィルター
(交換用)



レンズキャップ



CD-ROM
[Sharp Advanced
Presentation
Software]

取扱説明書(本書)
クイックガイド

Sharp Advanced
Presentation Software
取扱説明書

保証書

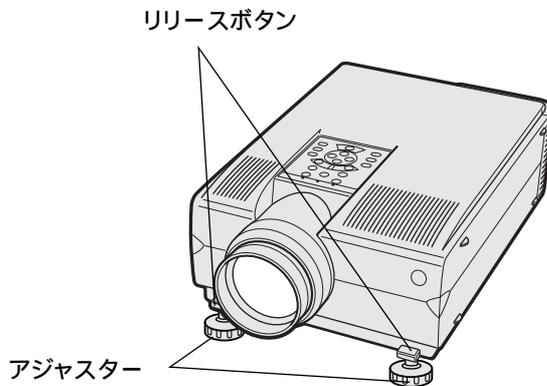


設置のしかた

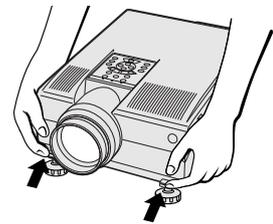
アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投影画面を高くすることができます。

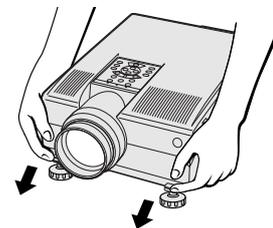


1 リリースボタンを押す



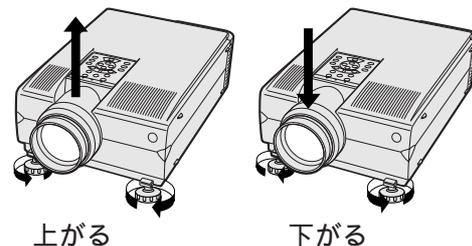
2 プロジェクターを持ち上げて高さを調節し、リリースボタンから手を離す

伸びたアジャスターが設置面に届いていることを確認してください。



3 アジャスターをまわして、微調整する

アジャスターをまわすと少しずつ上下します。ぐらつきがないようにしてください。



メモ

元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってリリースボタンを押さえて下へおろします。

プロジェクターは標準位置から角度約5度まで調節できます。

プロジェクターの高さを調整した場合、プロジェクターとスクリーンの位置関係によっては、映像が歪む場合があります。

！ 注意

アジャスターが伸びている状態でリリースボタンを押したときは、プロジェクターをしっかりささえて、高さを調整してください。

プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。

プロジェクターを下げる時、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。





設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

基本的な設置(前面からの投影)

投影したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(次ページ表参照)

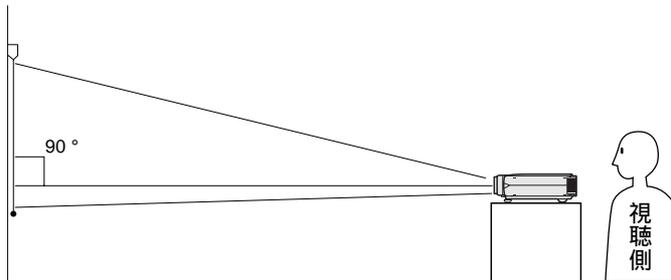
メモ

別売品として短焦点電動ズームレンズと長焦点電動ズームレンズを用意しております。くわしくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。



基本設置例

横から見たとき



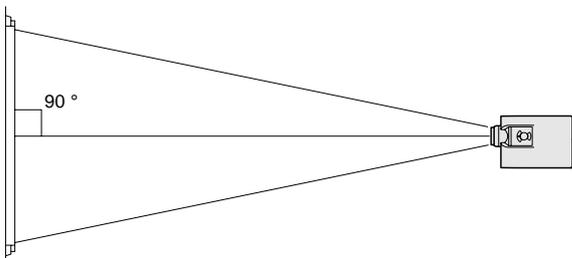
スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

21ページ

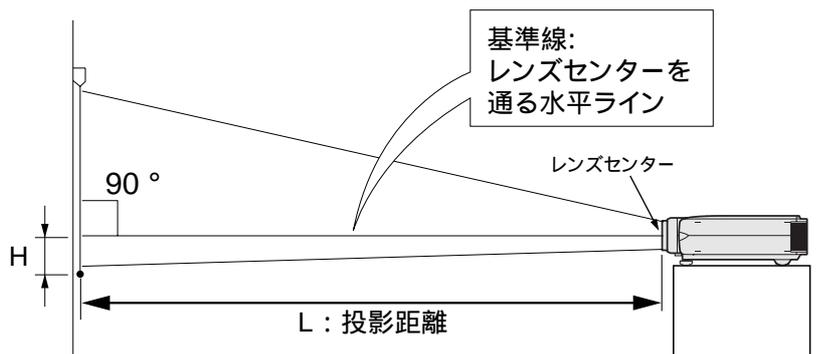
スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままでも投影できます。投影した画面の上下左右が反転している場合は、「投影方式」のサブメニューで、標準に設定しなおしてください。

85ページ

上から見たとき



レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。



通常モード(4:3)

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	
300	約6.1	約4.6	14.3	11.0	22.9 cm
200	約4.1	約3	9.8	7.4	15.2 cm
150	約3.1	約2.3	7.2	5.6	11.4 cm
120	約2.4	約1.8	5.8	4.4	9.1 cm
110	約2.2	約1.7	5.3	4.0	8.4 cm
100	約2	約1.5	4.9	3.7	7.6 cm
80	約1.6	約1.2	3.8	2.9	6.1 cm
60	約1.2	約0.9	2.9	2.2	4.6 cm
40	約0.8	約0.6	1.9	1.4	3.0 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0482x - 0.0226$$

$$L2 = 0.037x - 0.041$$

$$H = 0.076x$$

x: 画面サイズ (対角) (型)

L1: 最大投影距離 (m)

L2: 最小投影距離 (m)

H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

! 注意

上記の近似式には ± 3% の誤差があります。

ワイドモード(16:9)

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	
300	約6.6	約3.7	15.6	12.0	- 37.4 cm
200	約4.4	約2.5	10.5	8.1	- 24.9 cm
150	約3.3	約1.9	7.9	6.1	- 18.7 cm
120	約2.7	約1.5	6.3	4.8	- 14.9 cm
110	約2.4	約1.4	5.7	4.4	- 13.7 cm
100	約2.2	約1.3	5.2	4.0	- 12.5 cm
80	約1.8	約1	4.2	3.2	- 10.0 cm
60	約1.3	約0.8	3.1	2.4	- 7.5 cm
40	約0.9	約0.5	2.0	1.5	- 5.0 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0525x - 0.0546$$

$$L2 = 0.0404x - 0.0397$$

$$H = 0.124x$$

x: 画面サイズ (対角) (型)

L1: 最大投影距離 (m)

L2: 最小投影距離 (m)

H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

! 注意

上記の近似式には ± 3% の誤差があります。

表中に -(マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。



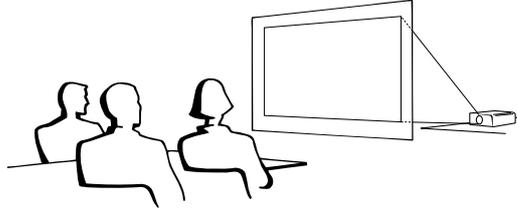
設置のしかた(つづき)

反転映像を投影するとき

スクリーン背後からの投影

透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(85ページ参照)



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...

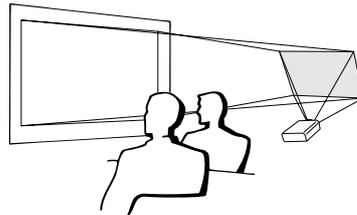


映像の左右を反転します

ミラーを使った投影

レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(85ページ参照)



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の左右を反転します

注意

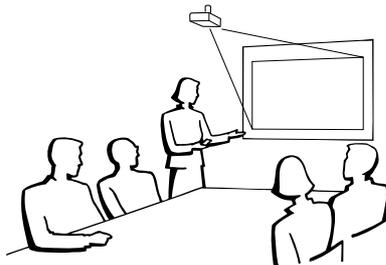
ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投影

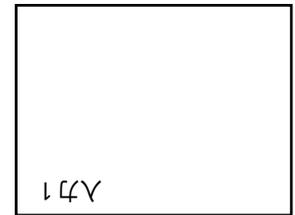
天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプタが必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

プロジェクターを天井に設置するときは、21ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。

メニューの投影方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



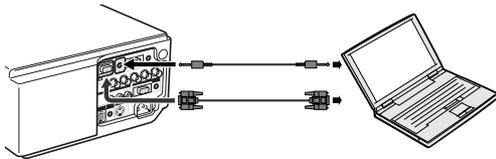
映像の上下を反転します

接続のしかた

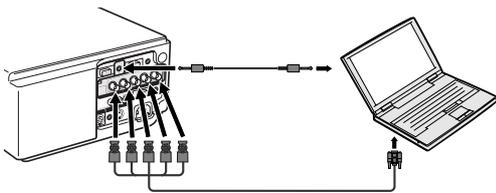
接続例

コンピュータとの接続

コンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続します。くわしくは [24 ページ](#) をご覧ください。

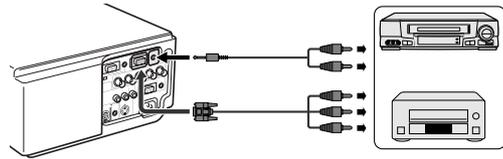


5 連 BNC ケーブル(市販品)を使って接続します。くわしくは [25 ページ](#) をご覧ください。



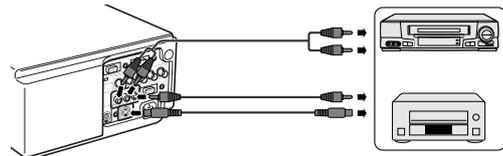
ビデオ、オーディオ機器との接続

D-sub/RCA ケーブル(市販品)を使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは [26 ページ](#) をご覧ください。

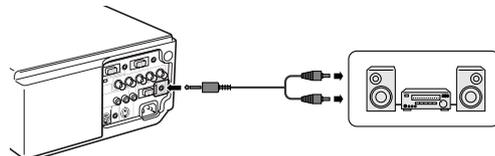


市販品の AV ケーブル等を使って接続します。DVD プレーヤーやデジタルビデオと接続するときは、BNC-RCA 変換プラグを使って接続することもできます。

くわしくは [26・27 ページ](#) をご覧ください。



オーディオケーブル(市販品)を使って接続します。くわしくは [27 ページ](#) をご覧ください。



コンピュータと接続する

接続を始める前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。

接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

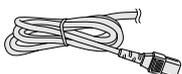
！ 注意

対応しているコンピュータの表示モードについてくわしくは、[98 ~ 99 ページ](#) の一覧表をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

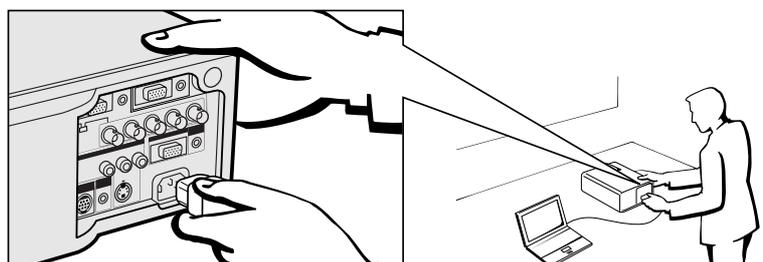
電源コードを接続する

プロジェクターの背面にある AC(電源)ソケットに電源コードを接続します。

付属品



電源コード

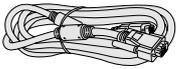




接続のしかた(つづき)

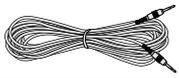
コンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

付属品



コンピュータ
(RGB)ケーブル

付属品



コンピュータ
音声ケーブル

IBM-PC または Macintosh と接続する

- 1 背面端子部の 15 ピン / BNC スイッチを 15 ピン側に合わせます。
- 2 付属のコンピュータ(RGB)ケーブルの一方をプロジェクターの INPUT1 または INPUT2 に接続します。
- 3 もう一方をコンピュータの RGB 出力端子に接続します。
(ねじを締めて確実に接続してください。)
- 4 音声を入力する場合は、付属のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターの AUDIO INPUT1(音声入力1)端子、または AUDIO INPUT2(音声入力2)端子に接続します。
もう一方をコンピュータの AUDIO OUT(音声出力)端子に接続します。

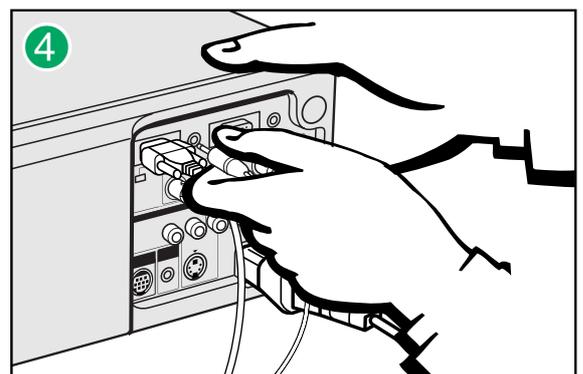
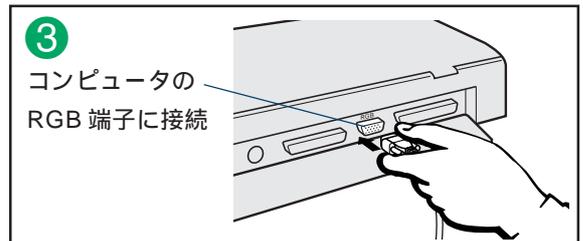
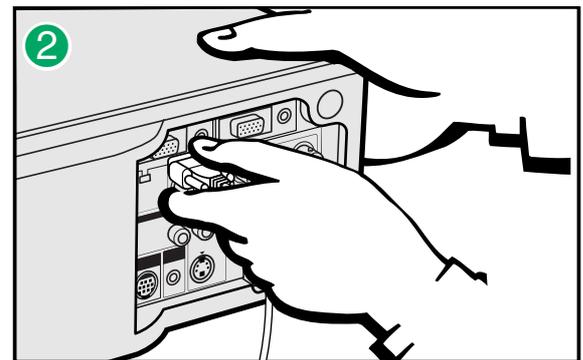
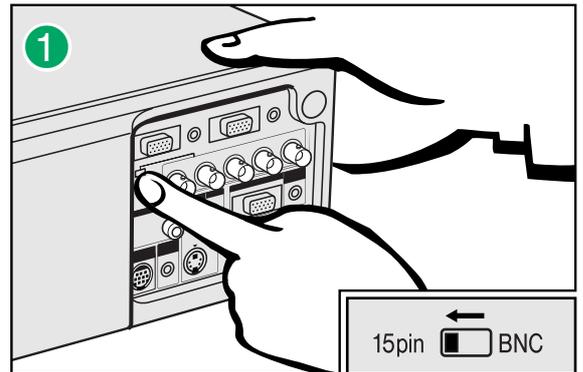
AUDIO INPUT1 端子、AUDIO INPUT2 端子はそれぞれ INPUT1、INPUT2 に対応しています。

メモ

パソコンのモニターが別にあるときは、本体の RGB 出力端子とモニターの RGB 入力端子を RGB ケーブル(市販品)を使って接続してください。

Macintosh と接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、[シャープお客様相談窓口](#)へお問い合わせください。

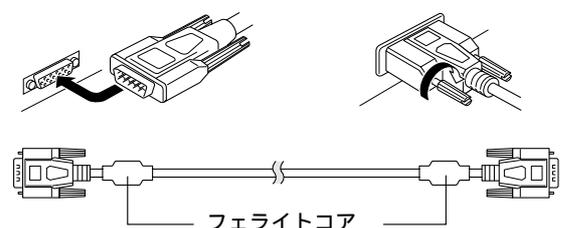
この方法で接続するときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB 入力」に設定してください。(42 ページ参照)



コンピュータ(RGB)ケーブルの取り扱いについて

本機とコンピュータに接続するコンピュータ(RGB)ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品取締法基準に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



5連BNCケーブル(市販品)を使って接続する

本機は画質の低下を防ぐために、5連BNC入力を採用しています。

R(PR)・G(G sync)・B(PB)・HD(C sync)・VDのケーブルをプロジェクターの入力端子と5連BNC-VGAケーブル(市販品)を使って、プロジェクターの入力端子からコンピュータ間を直接接続してください。



コンピュータ
音声ケーブル

その他の互換性のあるコンピュータと接続する
(背面端子部にある15ピン/BNC切換スイッチをBNC側にしてください。)

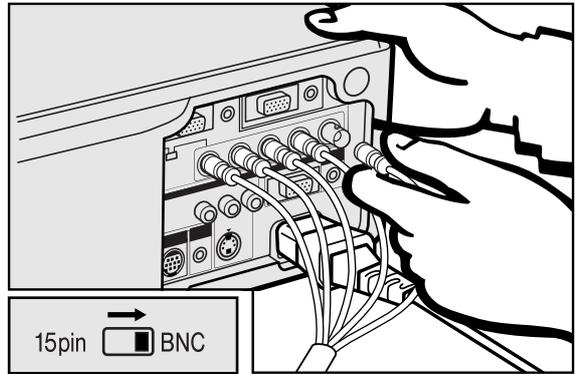
この方法で接続するときは、メニューの「入力信号タイプ」項目で「RGB」を選んでください。(42ページ参照)

メモ

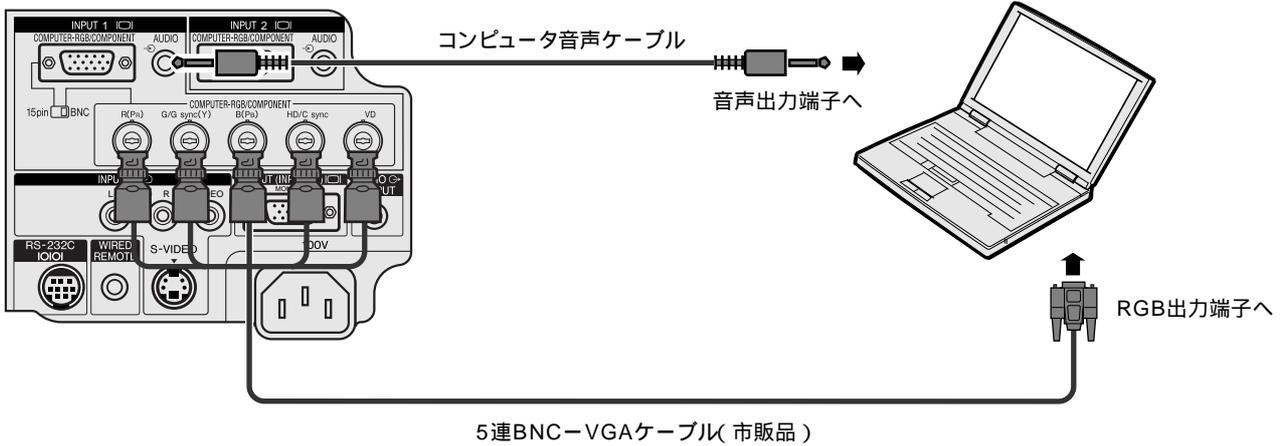
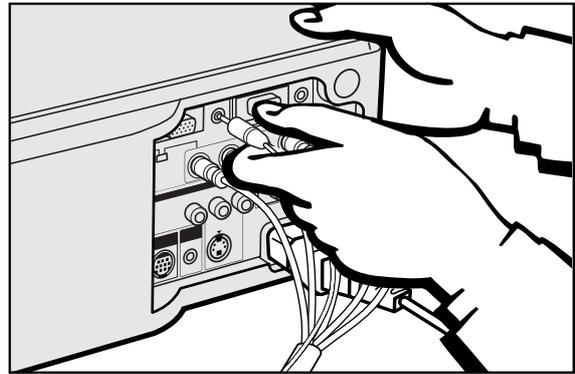
音声を入力する場合は、付属のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターのAUDIO INPUT1(音声入力1)端子に接続します。

本機をIBM-PC(VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA)または互換機(ワークステーション)に接続する場合は、別ケーブルが必要です。詳細は販売店にお問い合わせください。

推奨タイプ以外のコンピュータを接続すると、プロジェクターおよびコンピュータが損傷する恐れがあります。



15pin → BNC



「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

本機はVSEA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。

「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、かならずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

本機のDDCプラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。



接続のしかた(つづき)

プロジェクターにビデオ機器を接続する

本機は、ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・DVDプレーヤー・デジタルビデオ・その他のAV機器と接続することができます。

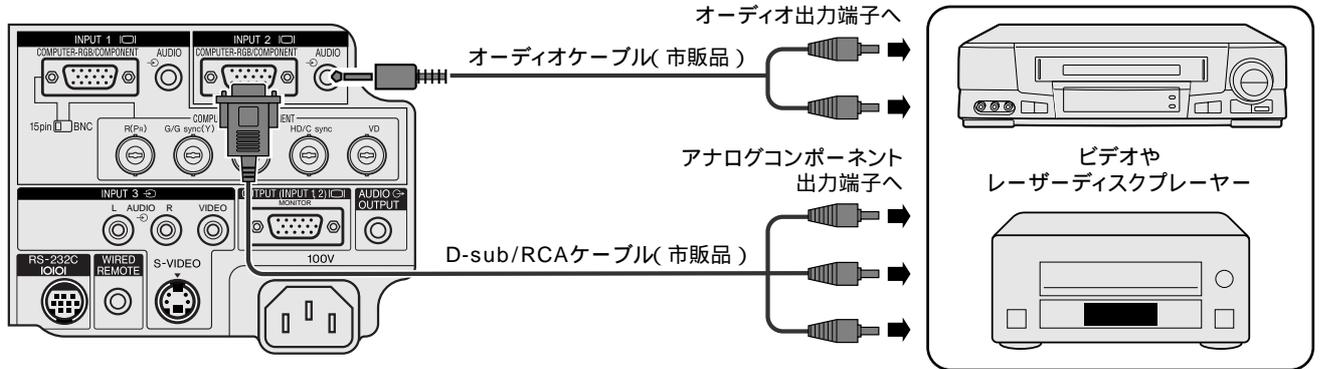
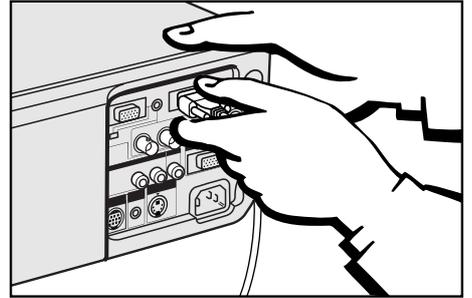
注意

ビデオ機器を接続をするときは、プロジェクターとビデオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

DVDプレーヤー・デジタルビデオなどにD-sub/RCAケーブル(市販品)を使って接続する

(背面端子部にある15ピン/BNC切換スイッチを15ピン側にしてください。)

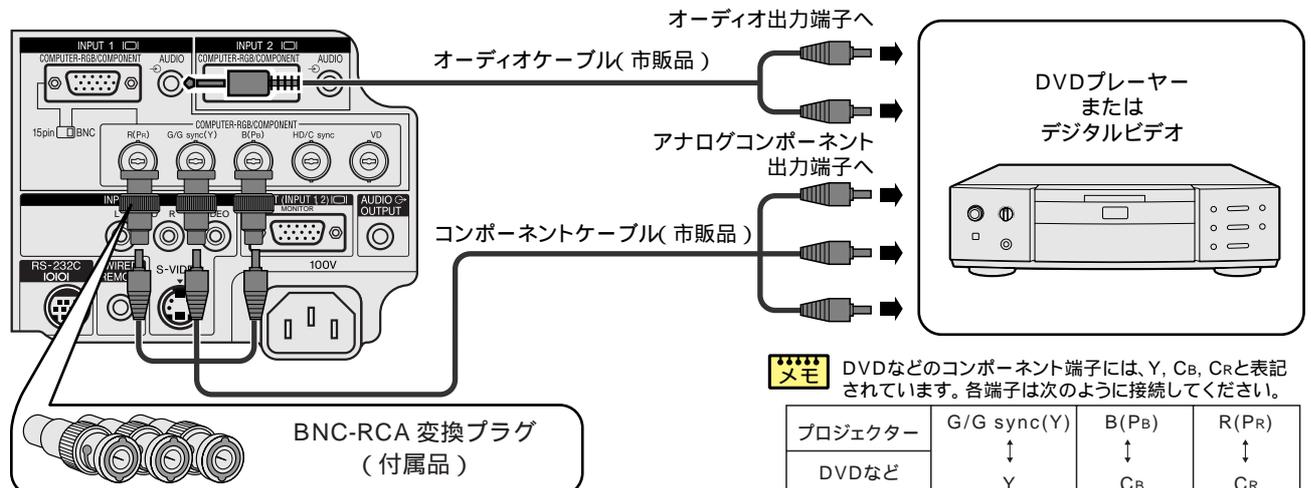
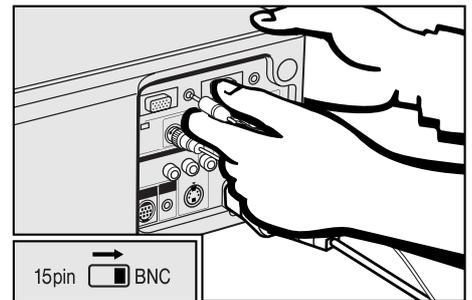
本機にDVDプレーヤーまたはデジタルビデオを接続するときは、メニューの「入力信号タイプ」項目で「色差入力」を選んでください。(42ページ参照)



DVDプレーヤー・デジタルビデオなどにコンポーネント(色差)出力端子付ビデオ機器と接続する

(背面端子部にある15ピン/BNC切換スイッチをBNC側にしてください。)

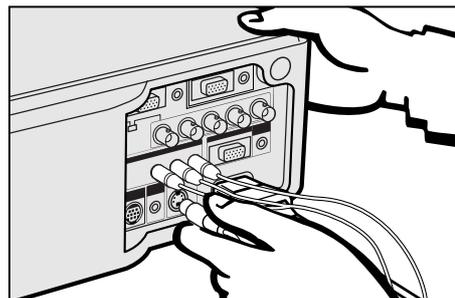
本機にDVDプレーヤーまたはデジタルビデオを接続するときは、メニューの「入力信号タイプ」項目で「色差入力」を選んでください。(42ページ参照)
必要に応じて特殊モードの解像度を「480p」に設定してください。(52ページ参照)



メモ DVDなどのコンポーネント端子には、Y、Cb、Crと表記されています。各端子は次のように接続してください。

プロジェクター	G/G sync(Y)	B(Pb)	R(Pr)
DVDなど	↓	↓	↓
	Y	Cb	Cr

ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を接続する

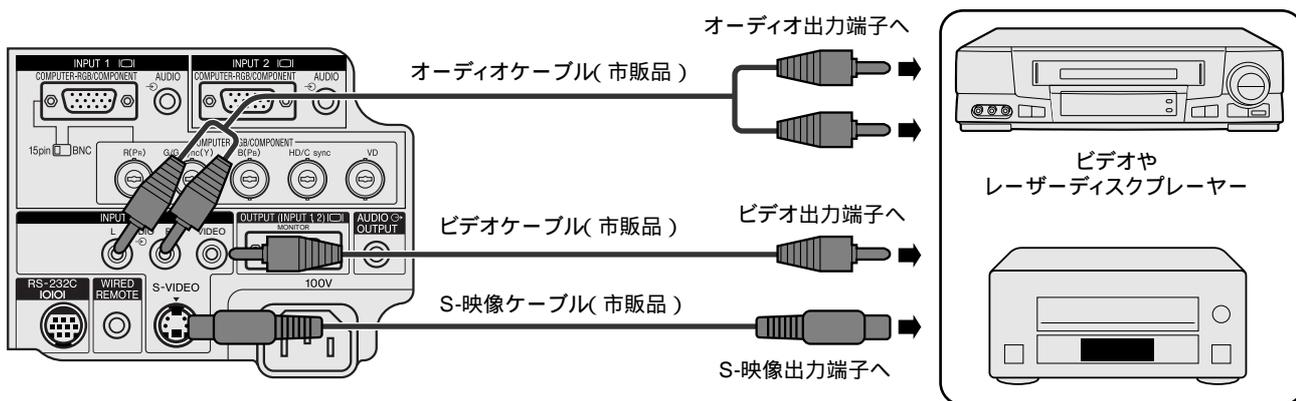


メモ

S映像端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。より高品位な画像再生のため、プロジェクターのS-VIDEO端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS-映像ケーブルで接続してお使いください。

お持ちのビデオ機器にS映像出力端子がない場合、普通のビデオ出力端子をお使いください。

INPUT3に接続した機器は、パソコンのモニター等に出力されません。



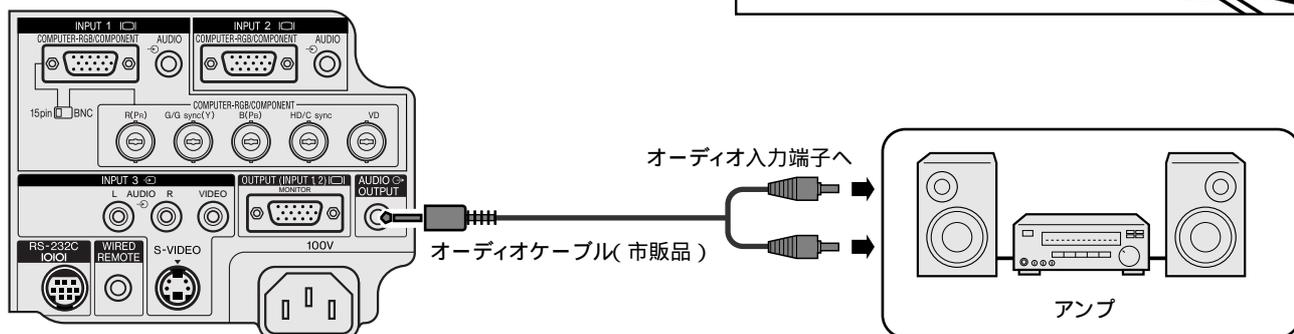
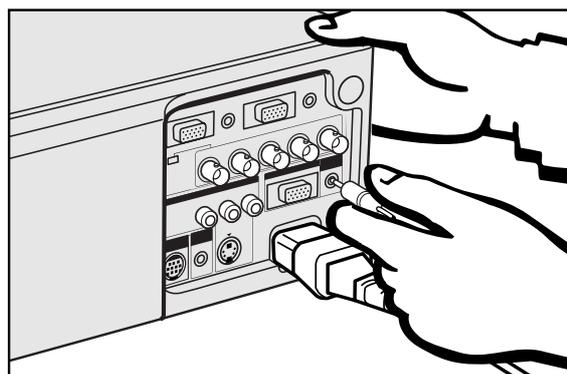
プロジェクターにアンプやその他のオーディオ機器を接続する

注意

オーディオ機器を接続をするときは、プロジェクターとオーディオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

メモ

より良い音で楽しむためにオーディオ機器と接続することをおすすめします。





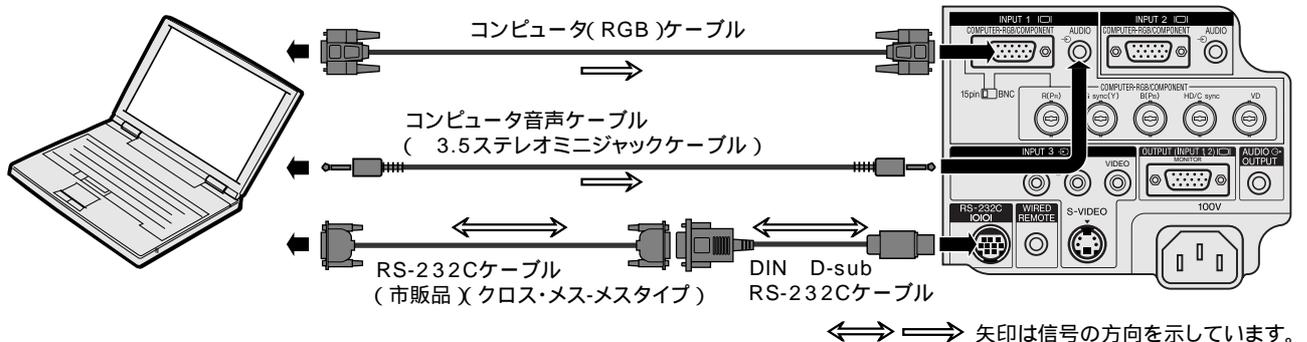
接続のしかた(つづき)

シリアル(RS-232C)端子へ接続する

RS-232Cケーブル(クロスタイプ・市販品)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは95ページをご覧ください。

設置と接続のしかた

接続のしかた(つづき)



注意

RS-232C ケーブルを接続するときは

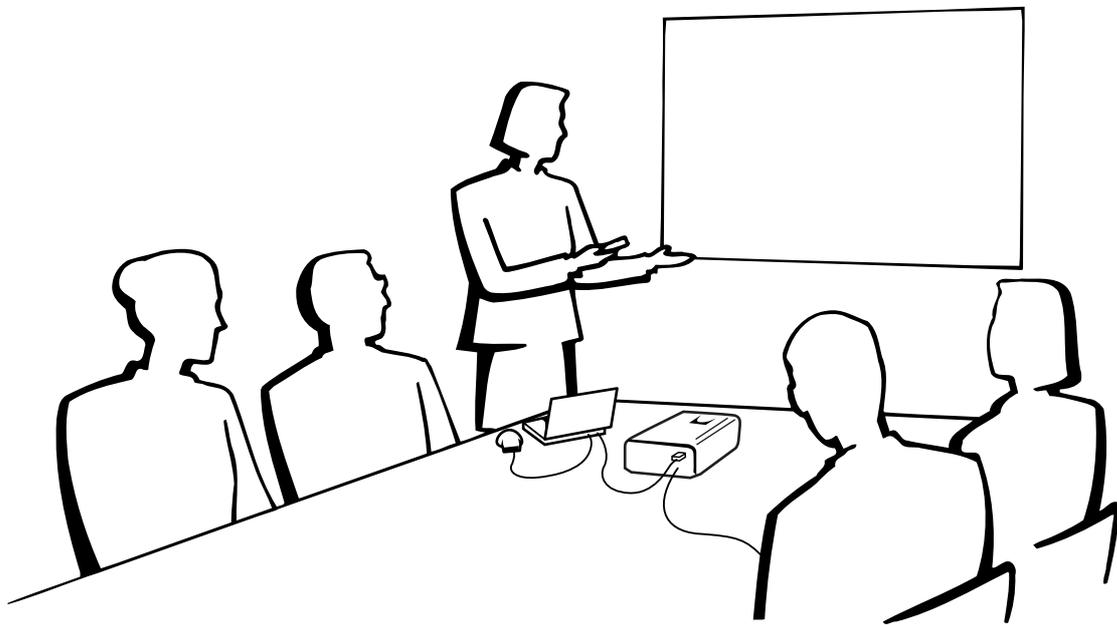
- コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。同梱の DIN - D-sub RS-232C ケーブル以外は挿入しないでください。
- パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

メモ

- コンピュータポートが正しく設定されていないと、ワイヤレスマウスやコンピュータからプロジェクターを操作するなどの機能が正しく動作しないことがあります。正しいマウスドライバをセットアップ・インストールする詳細についてはコンピュータの取扱説明書をご参照ください。
- Macintoshコンピュータを接続する場合、アダプタが必要になる場合があります。くわしくは販売店にご相談ください。



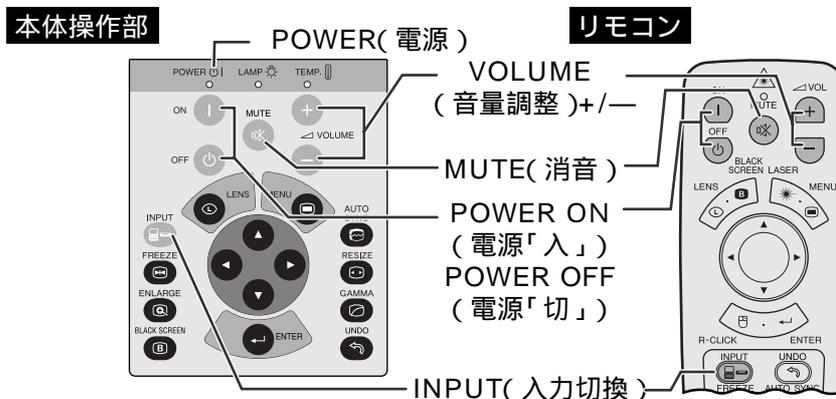
基本操作



投影のしかた

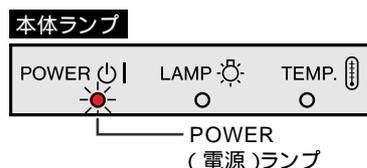
電源を入れてから切るまで

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。ただし、機器の電源はまだ入れずにおきます。



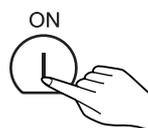
1 電源プラグをコンセントに接続する

POWERランプが赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。



2 POWER ON を押す

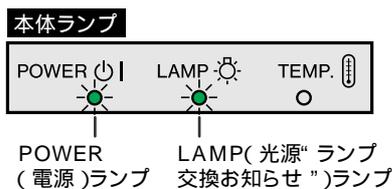
POWER(電源)ランプが緑色で点灯します。光源の起動中は、LAMP(光源“ランプ交換お知らせ”)ランプが緑色で点滅します。点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。



メモ

電源を切った直後に、再び電源を入れると、LAMP(光源“ランプ交換お知らせ”)ランプが点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

開梱後はじめてプロジェクターに電源を入れた場合、かすかなにおいが排気孔から出ることがあります。このにおいは、使用していうちにすぐなくなります。



! 注意

POWER(電源)ランプが点滅して投影されないときは、エアフィルターカバー(91ページ)が外れています。確実に取り付けてください。

LAMP(光源“ランプ交換お知らせ”)ランプは光源の状態をお知らせします。

緑色点灯：光源点灯中

緑色点滅：光源起動中

赤色点灯：光源交換

3 INPUT を押して、入力モードを選ぶ

INPUT を押すごとに入力モードが切り換わります。



メモ

信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けると、「NOT REG」と画面表示されます。

画面のフォーカスが合っていない場合は、33ページの「フォーカス調整」を行ってください。

入力モードについて

入力1モード：INPUT1 および AUDIO INPUT1 に接続した機器を投影したいとき

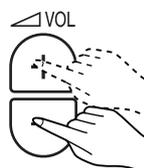
入力2モード：INPUT2 および AUDIO INPUT2 に接続した機器を投影したいとき

入力3モード：S-VIDEO INPUT3、VIDEO INPUT3 および AUDIO INPUT3 に接続した機器を投影したいとき

4 VOL を押して、音量を調整する

+ を押すと音量が大きくなります。

- を押すと音量が小さくなります。



5 MUTE を押して、一時的に音を消す

もう一度 MUTE を押すと、音量が元の大きさに戻ります。

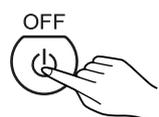


6 POWER OFF を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、POWER OFF 押す

メモ

POWER OFF を 2 回押すと、電源ランプが赤色に点灯し、冷却ファンが約 90 秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。

間違って POWER OFF を 1 回押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作に戻ることができます。



！ 注意

投影中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

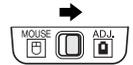
📺 投影のしかた(つづき)

レンズ調整

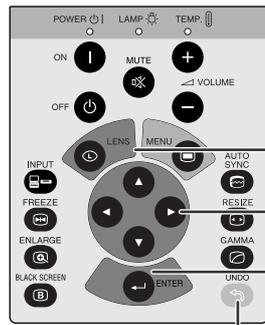
フォーカス、ズーム、キーストーン(画面の台形歪み)補正が調整できます。

! 注意

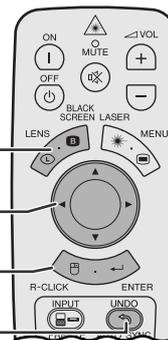
リモコンで操作するときは、MOUSE/ADJ(マウス/調整切替)スイッチをADJ.側にしてください。



本体操作部



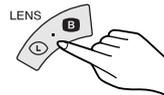
リモコン



1 LENS を押して、調整項目を選ぶ

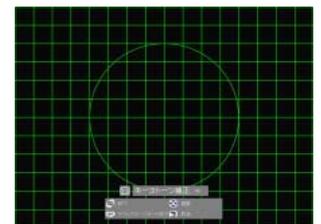
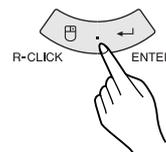
LENS を押すたびに調整項目が下のようになります。

画面のフォーカスが合っていない場合は、33ページの「フォーカス調整」を行ってください。



ワイド画面を表示しているときはデジタルシフト機能が働きます。(次ページ参照)

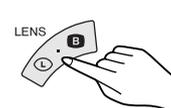
2 ENTER を押して、テストパターンを表示する



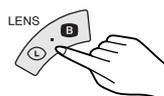
3 ▲▼◀▶ を押して、微調整する

別の項目を調整するときは、LENS を押して表示を変えます。

キーストーン補正調整を標準に戻すには、UNDO を押します。



4 通常の画面が表示されるまで、LENSを何度か押す



メモ

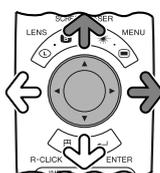
キーストーン補正調整のとき、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。フォーカスやズームを調節しているとき、レンズには手を触れないでください。

キーストーン補正とは
映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投影すると映像が台形に歪みます。
この台形を補正するのがキーストーン補正です。

レンズの調整方法

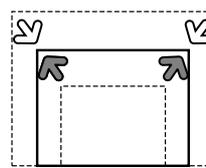
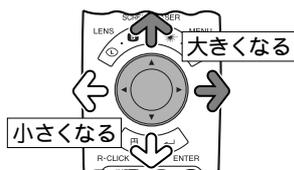
フォーカス調整

◀▶を押して、投影されている
画像のフォーカスを合わせます。
は▶と同じ動きをします。
は◀と同じ動きをします。



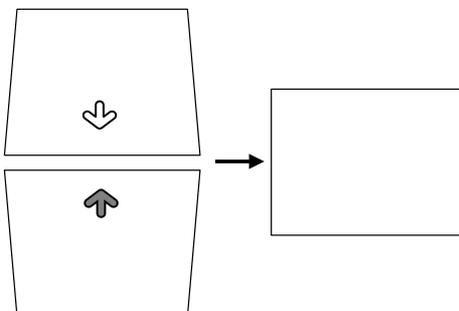
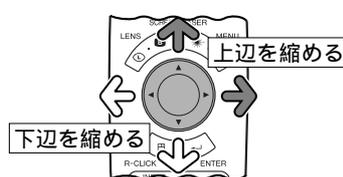
ズーム調整

または▶で投影されている
画像のサイズを大きくします。
または◀で投影されている
画像のサイズを小さくします。



キーストーン補正調整

または▶で投影されている
画像の上辺を縮めます。
または◀で投影されている
画像の下辺を縮めます。



デジタルシフト

16:9ワイド画面やシネマなど上下が黒くなる横長の画像を投影するときは、
画像全体を上下させて見やすくすることができます。

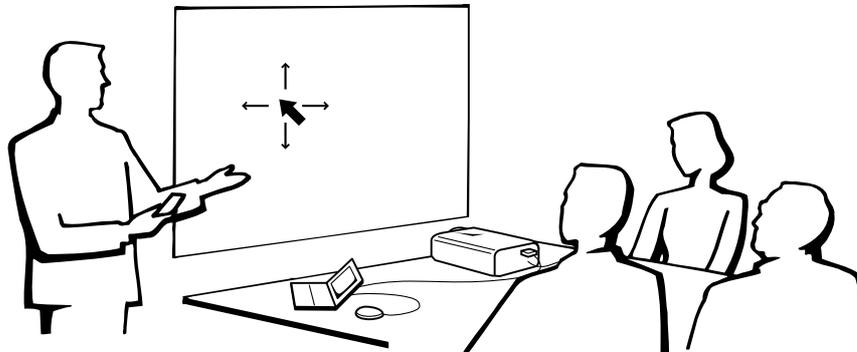


メニューなどの画面が表示されているときはデジタルシフト機能は動きませんが、入力モード(入力1、入力2、入力3)および静止画の表示中は使用できます。
デジタルシフト機能は特定の画像モードのときに使用できます。くわしくは65ページをご覧ください。

📄 投影のしかた(つづき)

リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する

スクリーンに投影されたコンピュータ画面のマウス操作がリモコンで行えます。また、リモコンをレーザーポインターとして利用することもできます。



ワイヤレスマウス機能は、IBM PS/2 互換機、USB タイプマウス対応のコンピュータで使用できます。

リモートマウスレシーバーを接続する

USB マウスコントロールケーブルを使う

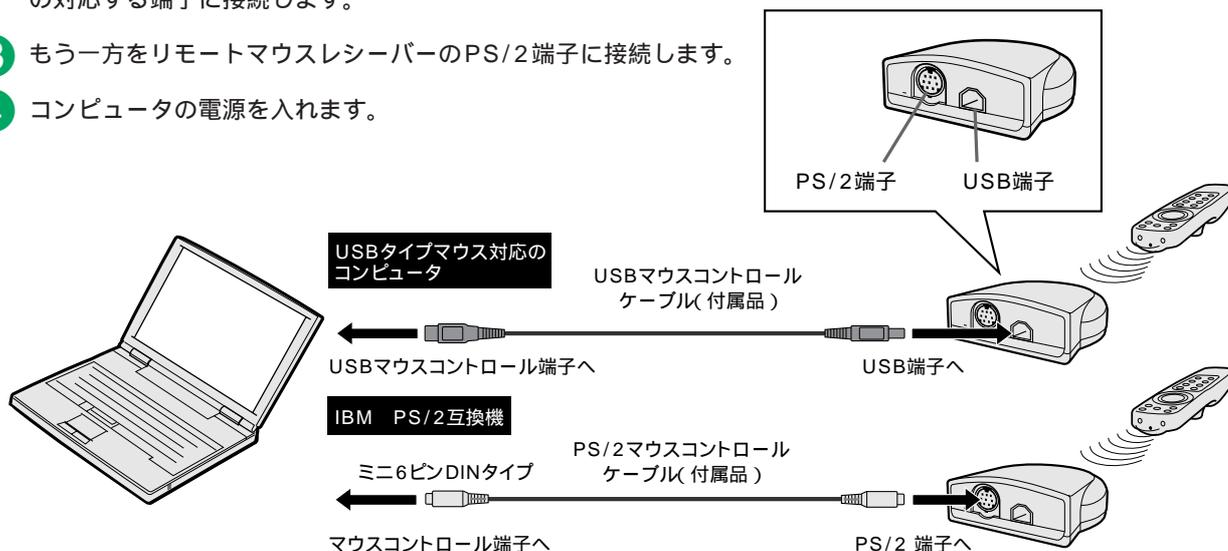
- 1 付属の USB マウスコントロールケーブルの一方をコンピュータの対応する端子に接続します。
- 2 もう一方をリモートマウスレシーバーの USB 端子に接続します。



IBM PC/AT 互換のパソコンをお使いで、OS が Windows 95 の場合は USB をサポートしておりません。

PS/2 マウスコントロールケーブルを使う

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 付属の PS/2 マウスコントロールケーブルの一方をコンピュータの対応する端子に接続します。
- 3 もう一方をリモートマウスレシーバーの PS/2 端子に接続します。
- 4 コンピュータの電源を入れます。



! 注意

コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータに PS/2 用マウスコントロールケーブルを接続したり、外したりしないでください。コンピュータが破損する恐れがあります。

リモートマウスレシーバーには、PS/2 マウスコントロールケーブルと、USB マウスコントロールケーブルを同時につながないでください。

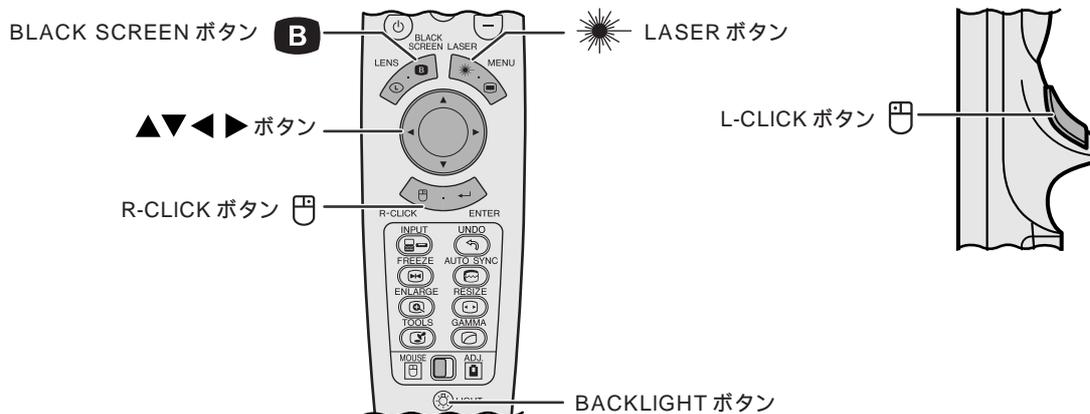
ワイヤレスマウスとして使用する

1 MOUSE/ADJ.スイッチをMOUSE側にする

MOUSE/ADJ. スイッチ



マウスモードで使用できるボタン



暗いところでリモコンを使用するときは

BACKLIGHT ボタンを押すと、ボタンが点灯して暗いところでも容易に操作が行えます。緑色のライトはマウス操作用 (MOUSE) で、赤色のライトはプロジェクターの調整用 (ADJ.) です。



ADJ. モードで使用できるボタンについては、15 ページをご覧ください。

ワイヤレスマウスが正常に働かない場合は、マウスドライバーの設定を確認してください。シリアルポートの設定やマウスドライバーの設定はコンピュータの操作説明書をご覧ください。

クリックボタンがひとつのマウス (Macintosh など) の場合は、L-CLICK ボタンと R-CLICK ボタンの両方が同じ働きをします。

レーザーポインタとして使用する

1 MOUSE/ADJ. を MOUSE 側にする

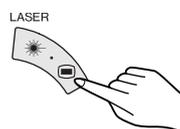
MOUSE/ADJ. スイッチ



2 LASER (★) を押しているあいだは、レーザー光が発射されます



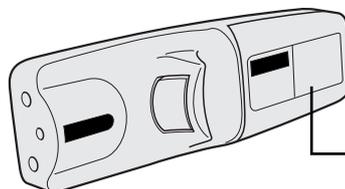
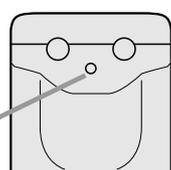
レーザーポインター (LASER) を 1 分間連続して使用すると、安全のため自動的に消灯します。再度点灯させるには、LASER (★) ボタンから指を離し、もう一度押してください。



警告

リモコンのレーザー光発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射しないでください。目にレーザー光があたると、目に障害を起す恐れがあります。

レーザー光発射口

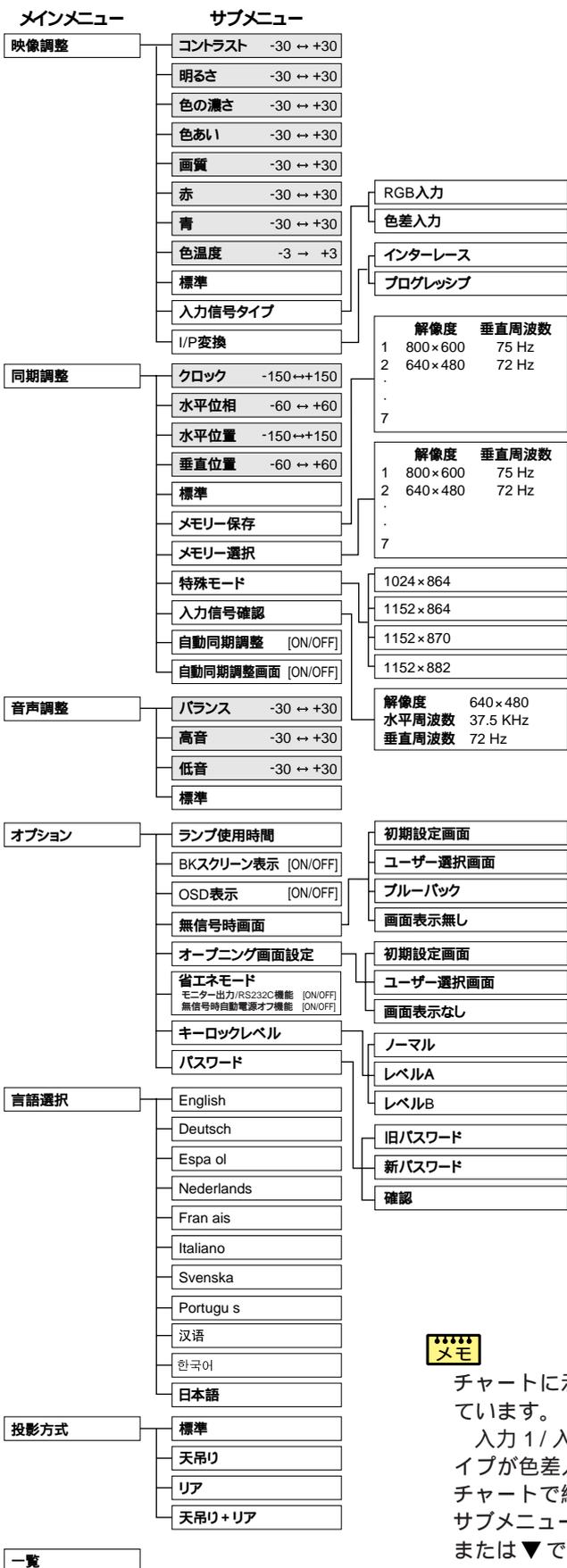


レーザー光
ビームをのぞきこまないでください。
1.0mW レーザダイオード 650nm
クラス 2 レーザ製品

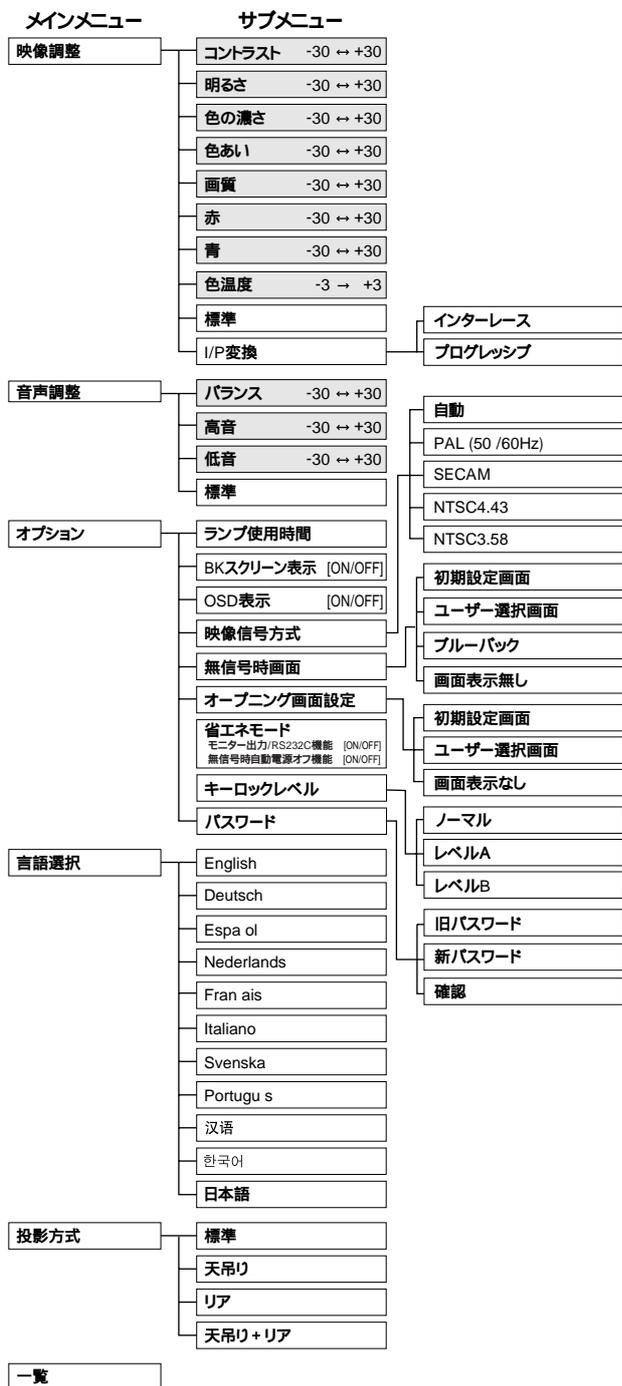
メニューの使いかた

メニュー表示内容一覧

入力 1 / 入力 2 モード



入力 3 モード



基本操作

メニューの使いかた



チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。

入力 1 / 入力 2 モードのとき「色の濃さ」「色あい」「画質」は入力信号タイプが色差入力に設定されていないと表示されません。

チャートで網かけした項目のみが、調整できる項目です。

サブメニューの中でさらに選択項目が表示される場合は、▶ を押してから、▲ または ▼ でその項目を選択してください。

メニュー項目別の設定調整内容一覧

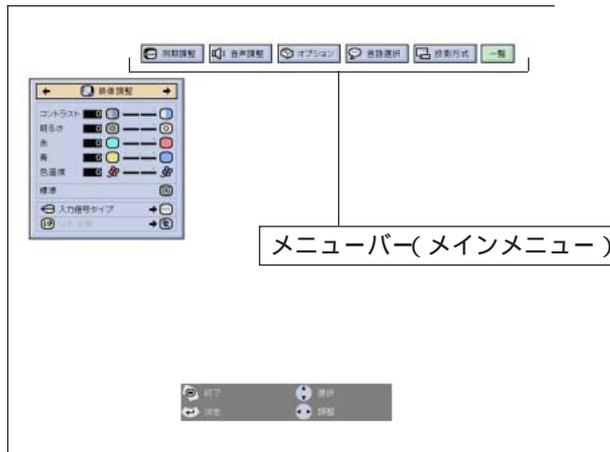
内の数字は参照ページを示します。

メインメニュー	入力1/入力2モードのとき	入力3モードのとき
映像調整	画像のコントラスト、明るさ、赤み/青み、色温度（色差入力時は、色の濃さ、色あい、画像の輪郭も調整可能） RGB/色差入力の切換え インターレース/プログレッシブ信号の設定 40, 42, 43	画像のコントラスト、明るさ、赤み/青み、色温度、色の濃さ、色あい、画像の輪郭 インターレース/プログレッシブ信号の設定 41, 43
同期調整	手動による同期調整（画面のノイズなど映り具合の調整、映像の位置調整） 調整した内容のメモリー登録・呼び出し 自動同期調整の設定、現在入力されている信号の解像度や周波数の表示など 46 ~ 57, 60	
音声調整	音声の左右バランス、高低音の強調など 44	音声の左右バランス、高低音の強調など 44
オプション	ランプ使用時間の表示 無信号時、オープニング時などの画面表示の設定 省エネモードの設定 パスワードとキーロックレベルの設定 68, 70, 72 ~ 76	ランプ使用時間の表示 無信号時、オープニング時などの画面表示の設定 映像信号方式(PAL、NTSC等)の設定 省エネモードの設定 パスワードとキーロックレベルの設定 58, 68, 70 ~ 76
言語選択	入力表示やメニューで使用する言語の選択 82	入力表示やメニューで使用する言語の選択 82
投影方式	投影方式の切換え（天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに） 85	投影方式の切換え（天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに） 85
一覧	現在の調整・設定状況の一覧表示 84	現在の調整・設定状況の一覧表示 84

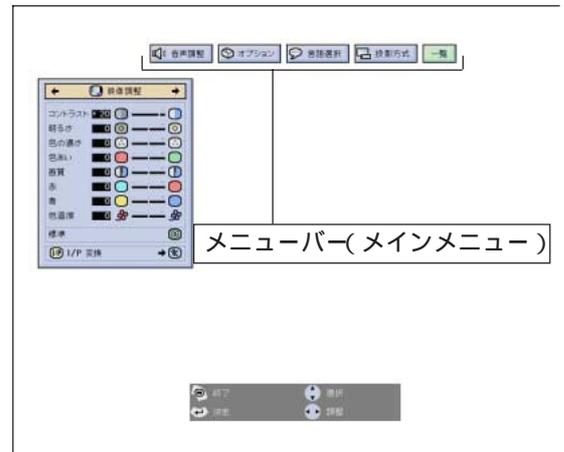
メニューの使いかた(つづき)

このプロジェクターでは、投影画面の調整やいろいろな設定をメニュー画面を使って行います。

入力1・2モードのメニュー画面



入力3モードのメニュー画面

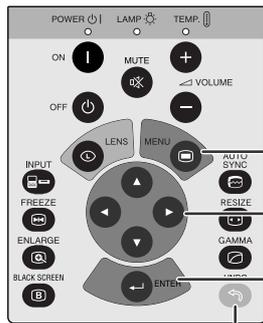


メニューの基本操作

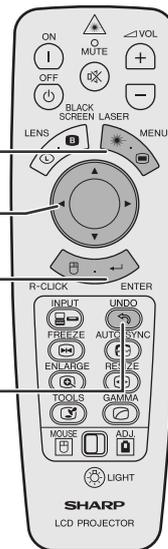
基本操作

メニューの使いかた(つづき)

本体操作部



リモコン



MENU

ENTER

UNDO

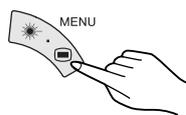
注意

リモコンで操作するときは
MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



表示画面

1 MENUを押す



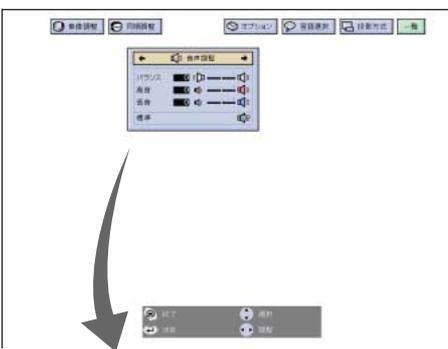
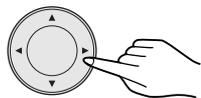
「入力1」・「入力2」モードまたは「入力3」モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。



メモ

左図は「入力1」、または「入力2」モードの場合の表示画面です。

2 ◀または▶を押して、調整するメニューを選ぶ



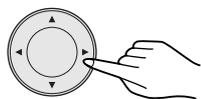
3 ▲または▼を押して、調整する項目を選ぶ



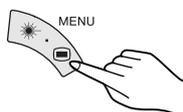
メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。
▶を押して、サブメニューから調整する項目を選びます。



4 ◀または▶を押して、選んだ項目の調整をする

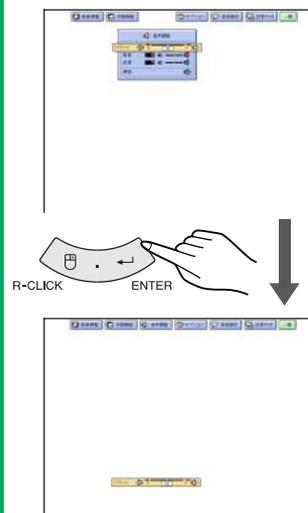


5 MENUを押して調整を終了する



メモ

調整項目をひとつだけ表示するためには、調整する項目を選んだ後でENTERを押してください。メニューバーと選んだ調整項目だけが表示されます。



この表示の状態では▲▼を押すと次の項目(バランスの次は高音)が表示されます。

UNDOを押すと、前の画面に戻ります。

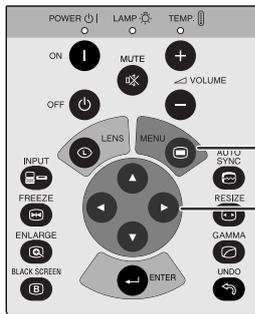
映像を調整する

コンピュータの映像を調整する

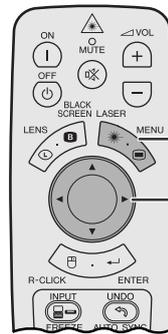
コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

本体操作部



リモコン



MENU

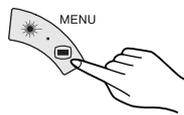


MENU



表示画面 (入力1、入力2の入力信号タイプがRGBに設定されているとき)

1 MENUを押す



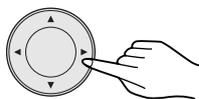
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、調整したい項目を選ぶ

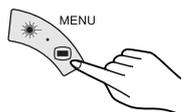


3 ◀または▶を押して、映像を調整する



4 MENUを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。

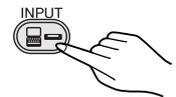


！ リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



INPUTを押して、「入力1」または「入力2」を選択し、調整する映像を表示させます。



メモ

標準設定に戻りたいときは手順②で「標準」を選び、ENTERを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

②、③の手順をくり返します。

メモ

コンピュータの映像調整の内容は、「入力1」と「入力2」で別々に記憶されません。

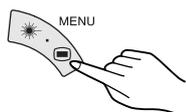
ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

ビデオやDVDプレーヤーなどからの映像を表示したとき、濃淡や明るさを見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

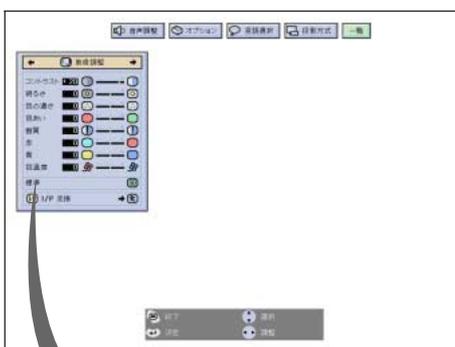
調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	ぼんやりする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

表示画面 (入力1、入力2の入力信号タイプが色差に設定されているとき)

1 MENUを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、調整したい項目を選ぶ

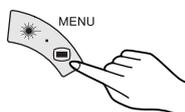


3 ◀または▶を押して、映像を調整する



4 MENUを押す

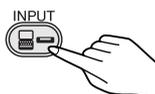
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



INPUTを押して、「入力1」、「入力2」または「入力3」を選択し、調整する映像を表示させます。



メモ

標準設定に戻りたいときは手順②で「標準」を選び、ENTERを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

②、③の手順をくり返します。

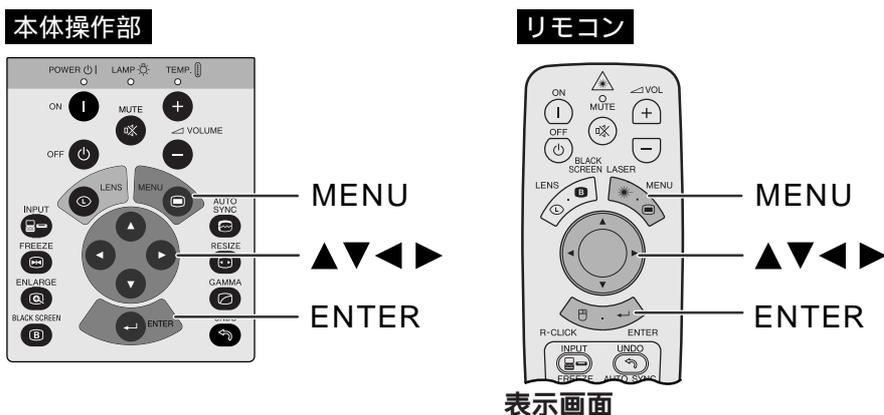
メモ

映像調整の内容は「入力1」、「入力2」または「入力3」で別々に記憶されます。

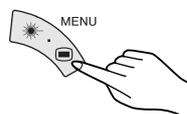
「入力1」、「入力2」の入力信号タイプが色差入力(コンポーネント入力)に設定されている場合の「画質調整」はDVD接続のときだけ可能です。色差入力については次ページをご覧ください。

RGB またはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ

この機能を使って、入力 1 または入力 2 の信号の種類を選ぶことができます。



1 MENUを押す

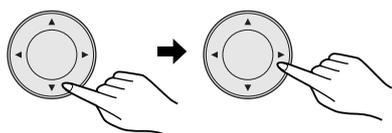


メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ① ▲ または ▼ を押して、「入力信号タイプ」を選ぶ

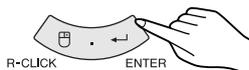
② ► を押す



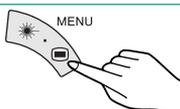
3 ▲ または ▼ を押して、「RGB入力」または「色差入力」を選ぶ



4 ENTERを押して、設定する



5 MENUを押して終了する。



！リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



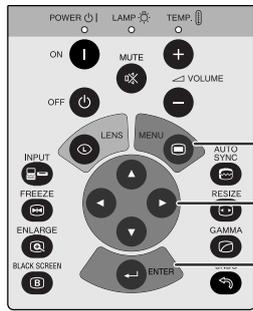
メモ

RGB入力
RGB信号を入力したとき
色差入力
コンポーネント(色差)信号を入力したとき
色の濃さ、色あいの調整が可能になります

0 インターレース信号をプログレッシブ信号に変換する(I/P変換)

ビデオ映像のインターレース信号をプログレッシブ信号に変換することができます。プログレッシブ表示にすると、見やすい映像を投影することができます。

本体操作部

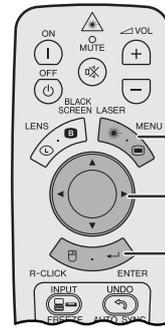


MENU



ENTER

リモコン



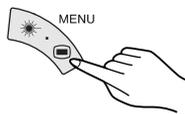
MENU



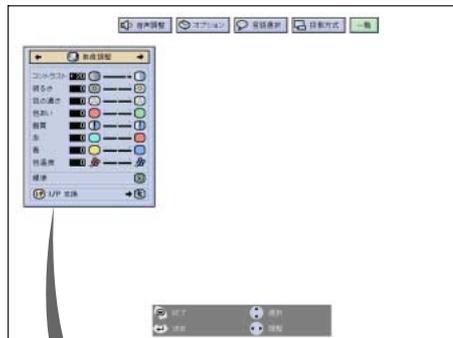
ENTER

表示画面

1 MENUを押す

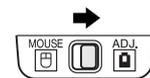


メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



メモ

インターレース

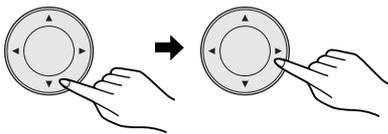
動きの速い映像を投影するときに適しています。

プログレッシブ

静止画などを投影するときに適しています。

2 ① ▲または▼を押して、「I/P変換」を選ぶ

② ►を押す



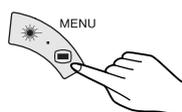
3 ▲または▼を押して、「インターレース」または「プログレッシブ」を選ぶ



4 ENTERを押して、設定する



5 MENUを押して終了する



基本操作



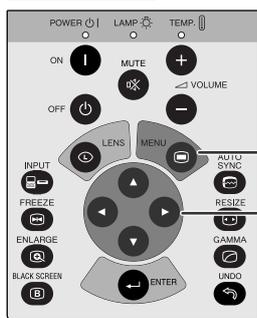
インターレース信号をプログレッシブ信号に変換する(I/P変換)

音声を調整する

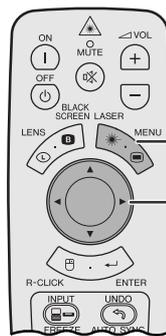
このプロジェクターの音声は工場出荷時、標準設定されていますが、「音声調整」メニューを使って、お好みの設定に調整できます。

調整項目	◀ ボタン	▶ ボタン
バランス	左側のスピーカーからの音量が大きくなる	右側のスピーカーからの音量が大きくなる
高音	高音が弱くなる	高音が強くなる
低音	低音が弱くなる	低音が強くなる

本体操作部



リモコン



MENU

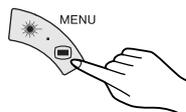


MENU



表示画面

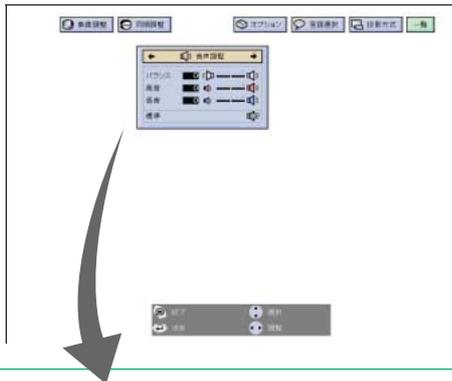
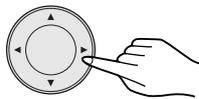
1 MENUを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ◀または▶を押して、「音声調整」を選ぶ



3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選ぶ



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



メモ

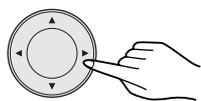
標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、ENTERを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

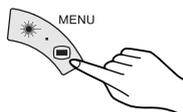
続けて別の項目を調整するときは

③、④の手順をくり返します。

4 ◀または▶ を押して、音声を調整する



5 MENUを押す。
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



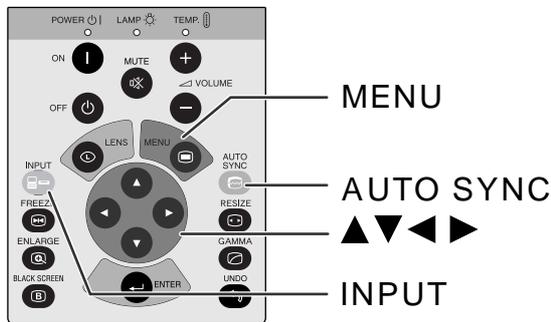
コンピュータの画面を調整する

AUTOSYNC(自動同期調整)がOFFのとき

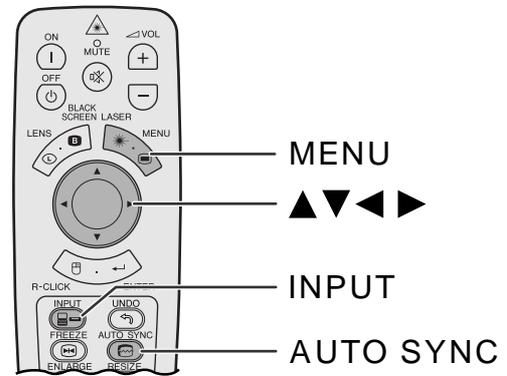
AUTOSYNC(自動同期調整)がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投影すると、チラツキ・縦縞が出たりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる。

本体操作部

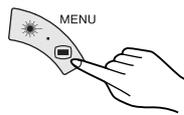


リモコン



表示画面

1 MENUを押す

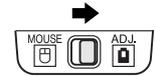


メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

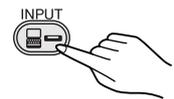


! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



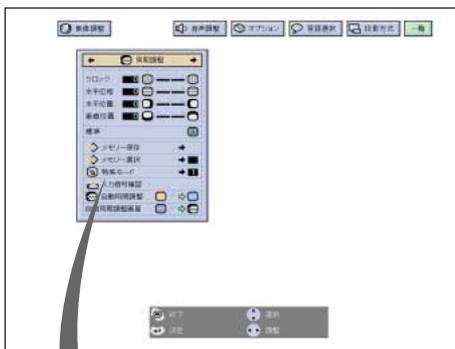
INPUTを押して、適切な「入力1」または「入力2」モードを選んでください。



メモ

コンピュータの画面はAUTO SYNCボタンを使うと、簡単に調整できます。詳細は54ページをお読みください。

2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選ぶ



メモ

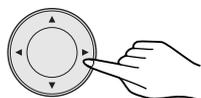
標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、ENTERを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

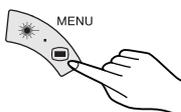
続けて別の項目を調整するときは

③、④の手順をくり返します。

4 ◀または▶を押して、画面を調整する



5 MENUを押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。

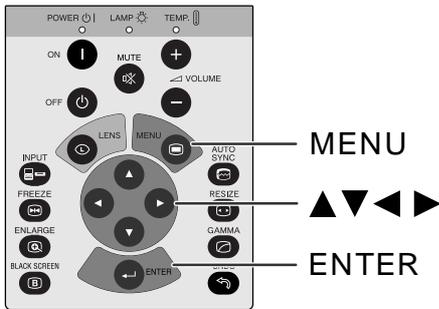


コンピュータの画面を調整する(つづき)

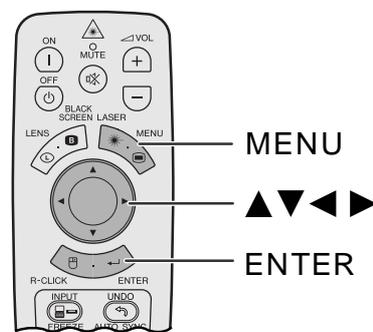
画面調整の内容をメモリー登録する / 呼び出す

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。いったん調整内容をメモリー登録すれば、プロジェクターにコンピュータを接続したとき、簡単にそのコンピュータ用に登録した調整内容を呼び出すことができます。

本体操作部



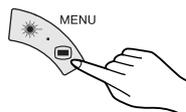
リモコン



メモリー登録をする

表示画面

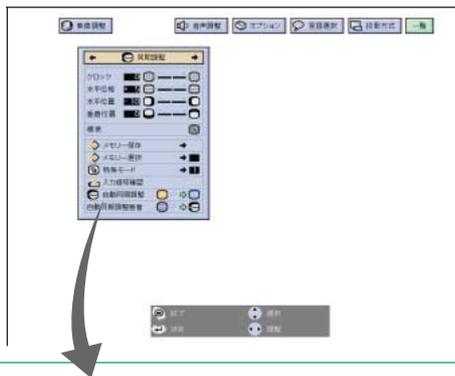
1 MENUを押す



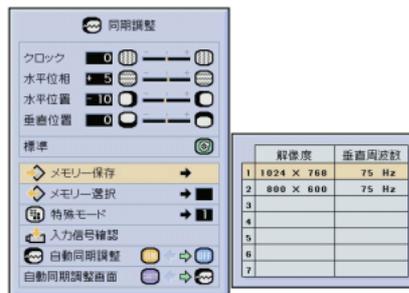
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



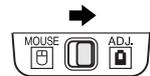
2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



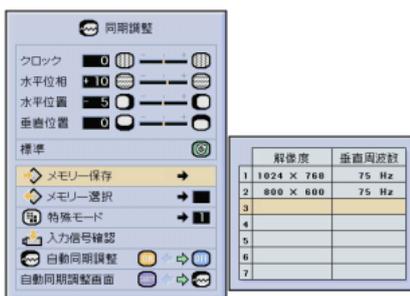
3 ▲または▼を押して、「メモリー保存」を選び、▶を押す



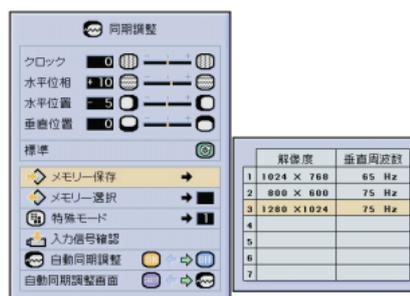
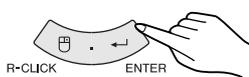
! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



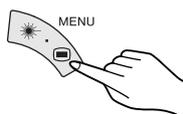
- 4** ▲または▼を押して、調整内容を登録するメモリー番号を選ぶ



- 5** ENTERを押して、調整内容をメモリー登録する

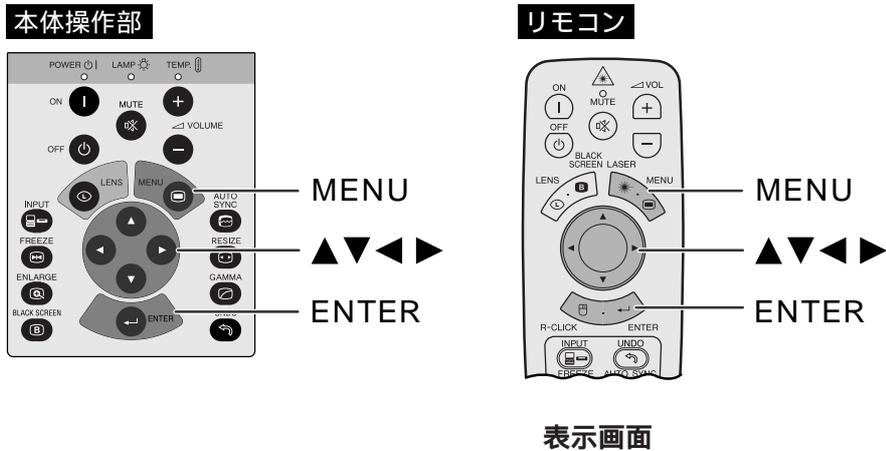


- 6** MENUを押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。

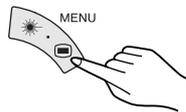


コンピュータの画面を調整する(つづき)

登録済みの調整内容呼び出す



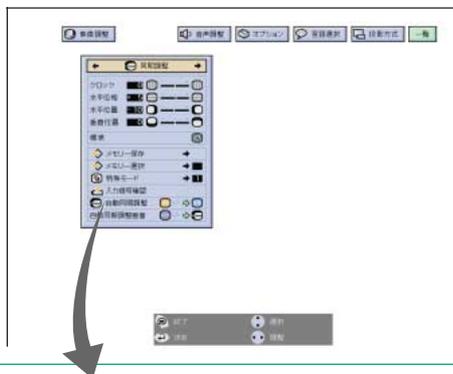
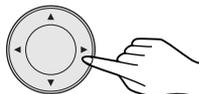
1 MENUを押す



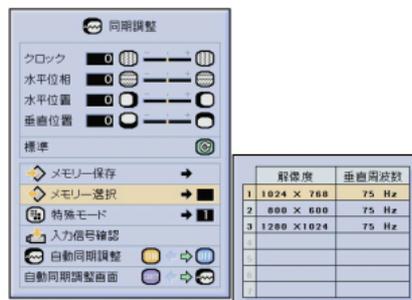
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



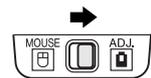
2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



3 ▲または▼を押して、「メモリー選択」を選び、▶を押す



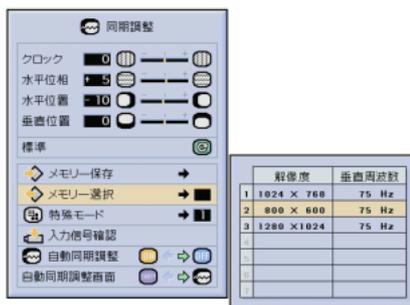
! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



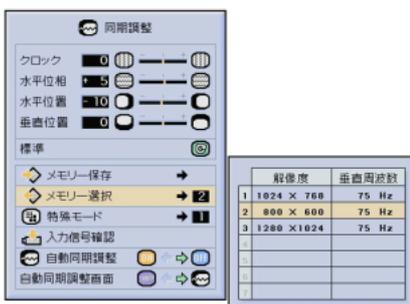
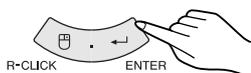
メモ

メモリー番号を設定しなければ、解像度と周波数は表示されません。「メモリー選択」項目すでに登録済みの調整内容呼び出すと、接続しているコンピュータを登録済みの調整内容に設定できます。

4 ▲または▼を押して、メモリー番号を選ぶ

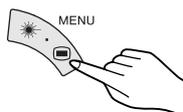


5 ENTERを押して、調整内容を呼び出す



6 MENUを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。

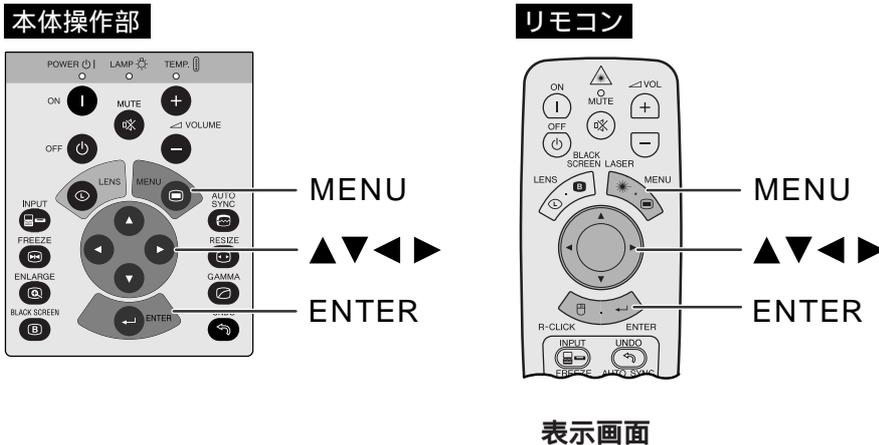


コンピュータの画面を調整する(つづき)

特殊モード調整

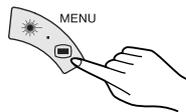
通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、「同期調整」メニュー画面で「特殊モード」を選び、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

例えば Macintosh 16 インチモード(832 × 624)入力時に、入力表示が800 × 600のモード表示となり、入力信号と一致しないときなどに特殊モードで832 × 624を選択します。



表示画面

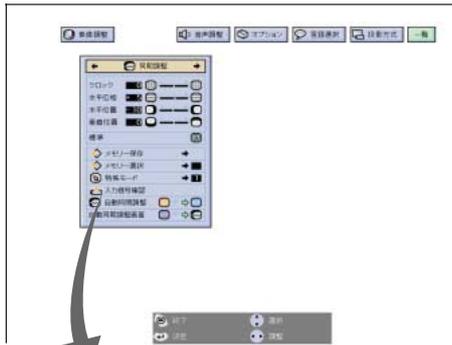
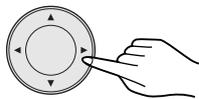
1 MENUを押す



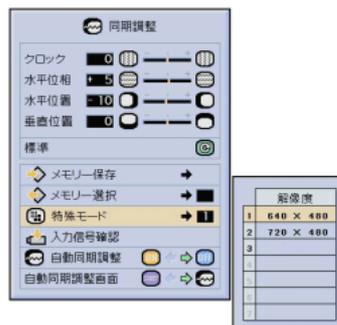
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



3 ▲または▼を押して、「特殊モード」を選び、▶を押す



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



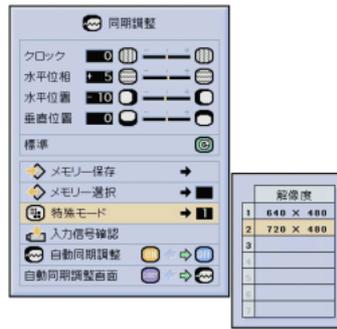
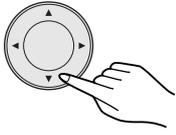
メモ

コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなります。)
DVDプレーヤーや、デジタルビデオを525pで接続しているときは、③で480p(*有効走査線数)が表示されますので選択してください。

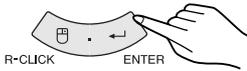
* 本機はDVDプレーヤーや、デジタルビデオなど、AV機器から入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は次のようになります。

入力信号	本機の表示
525i	480i
525p	480p
750p	720p
1125i	1080i

4 ▲または▼を押して、最適な解像度モードを選ぶ

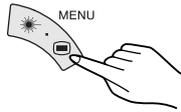


5 ENTERを押して、設定する



6 MENUを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、60ページの「入力信号を確認する」をご覧ください。

コンピュータの画面を調整する(つづき)

自動同期調整

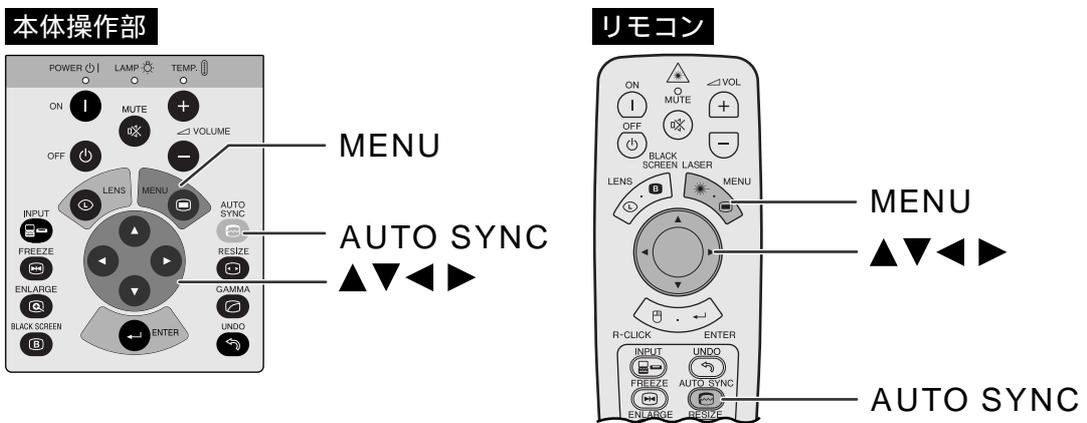
コンピュータの画面を自動調整します。

自動同期調整を手動で行う場合は、AUTO SYNCを押します。自動調整する場合は、プロジェクターのメニューで「同期調整」項目の「自動同期調整」を"ON"に設定します。

「自動同期調整」項目を"ON"に設定すると

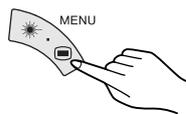
プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。

前回設定された自動同期調整内容は、新たな自動同期調整により変更されます。



表示画面

1 MENUを押す



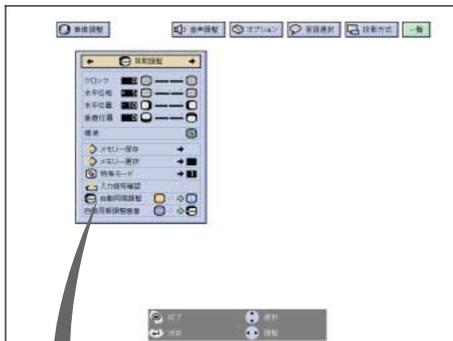
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



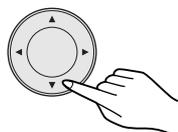
！リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



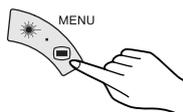
3 ▲または▼を押して、「自動同期調整」を選ぶ



4 ◀または▶を押して "ON" を選ぶ



5 MENUを押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。

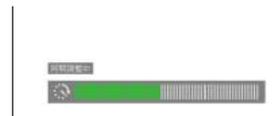


メモ

自動同期調整はAUTO SYNCを押しても働きません。

自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。(46ページをお読みください。)

自動同期調整を実行中は下のような表示が出ます。



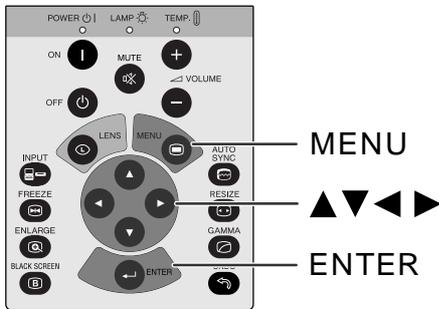
プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

コンピュータの画面を調整する(つづき)

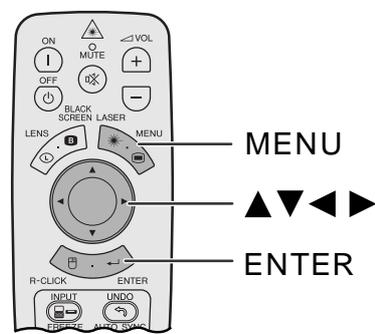
自動同期調整時の画面表示機能

通常、コンピュータの画面は自動同期調整中にはスクリーンに投影されませんが、自動同期調整中は「オプション」項目の無信号時画面で設定した画面が投影されます。(72ページ参照)

本体操作部

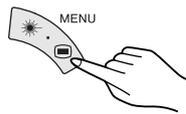


リモコン



表示画面

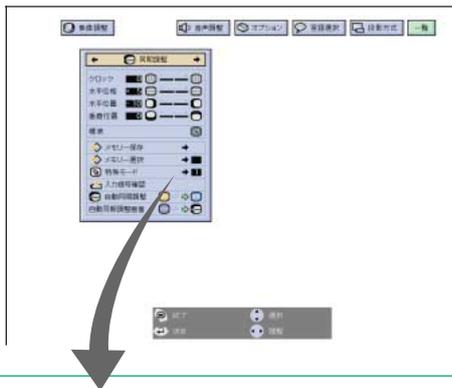
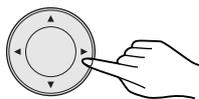
1 MENUを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ

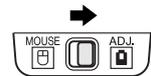


3 ▲または▼を押して、「自動同期調整画面」を選ぶ

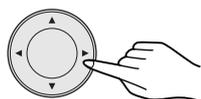


! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



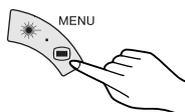
- 4** 自動同期調整中に無信号時画面を投影するためには、◀ または ▶ を押して、"□" を選ぶ。
消去するためには、◀ または ▶ を押して、"🌊" を選ぶ



□ を選ぶと、無信号時画面で設定されている画面が投影されます。

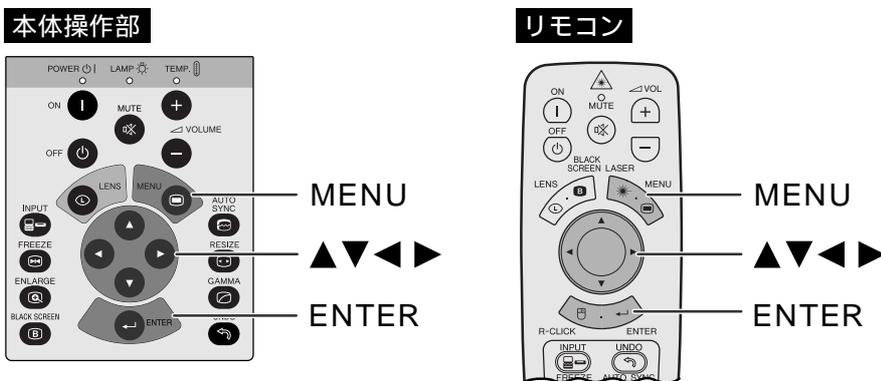
🌊 を選ぶと、調整中のコンピュータ画面が表示されます。

- 5** MENU を押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



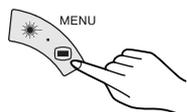
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されていますが、選択されている映像方式で、接続したAV機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切換えてください。

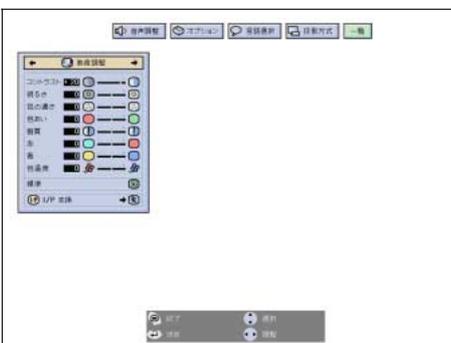


表示画面

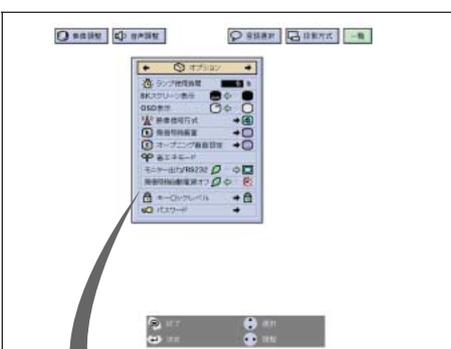
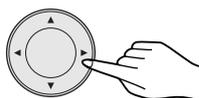
1 MENUを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ

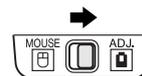


3 ▲または▼を押して、「映像信号方式」を選び、▶を押す



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



メモ

映像信号方式は、入力3モード以外では設定できません。

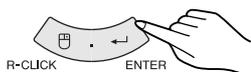
映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切り換えてください。

- PAL
PAL方式の映像機器を接続したとき
- SECAM
SECAM方式の映像機器を接続したとき
- NTSC 4.43
PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき
- NTSC 3.58
NTSC方式の映像機器を接続したとき

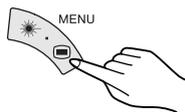
4 ▲または▼を押して、設定したい映像信号方式を選ぶ



5 ENTERを押して、設定する

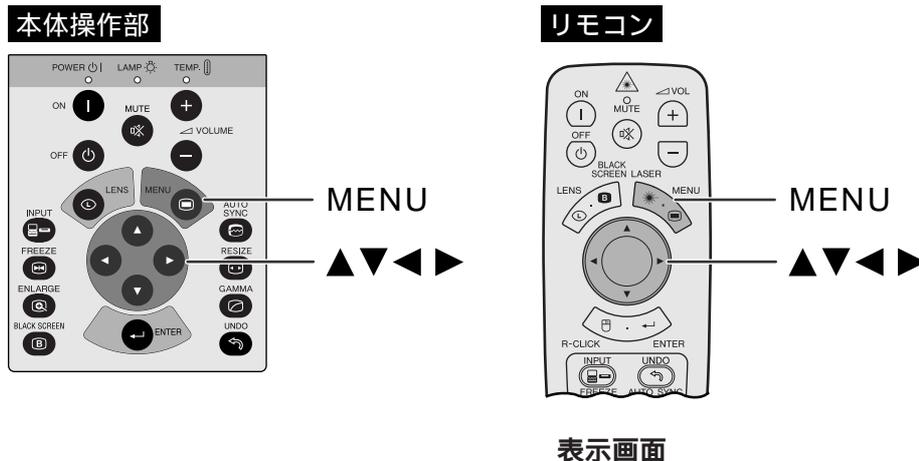


6 MENUを押して終了する

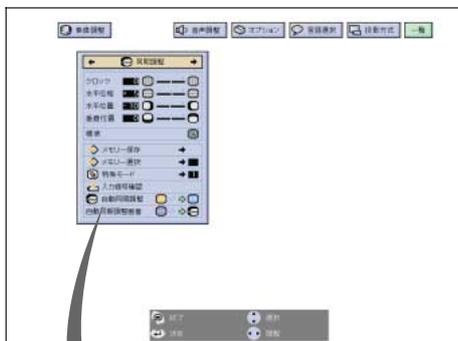
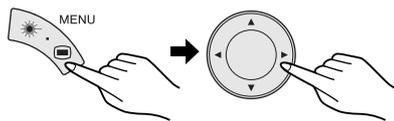


入力信号を確認する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。



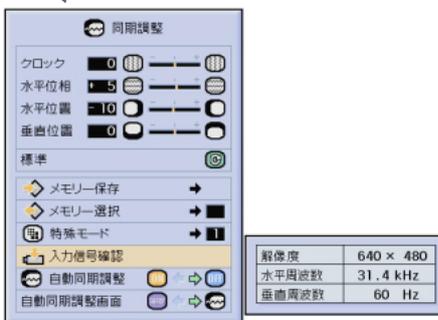
- ① MENUを押す
- ② ◀または▶を押して、「同期調整」を選ぶ



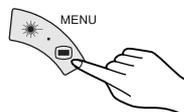
- ② ▲または▼を押して、「入力信号確認」を選ぶ



現在選択されている入力信号の情報が表示されます。



- ③ MENUを押して終了する



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。

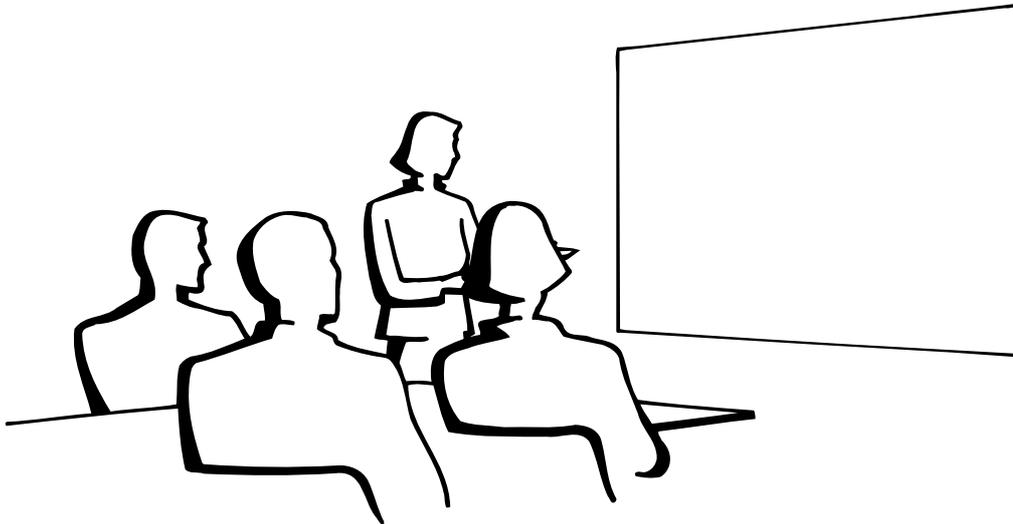


メモ

入力3モードでは表示されません。



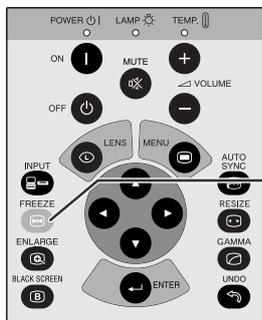
便利な機能を使う



フリーズ(静止画)機能

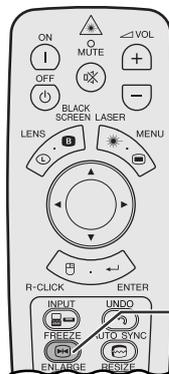
フリーズ機能を使うと、瞬時に動画を静止画としてメモリーすることができます。
次に提示するコンピュータの画面を準備する間などに、この機能を使用すると便利です。

本体操作部



FREEZE

リモコン



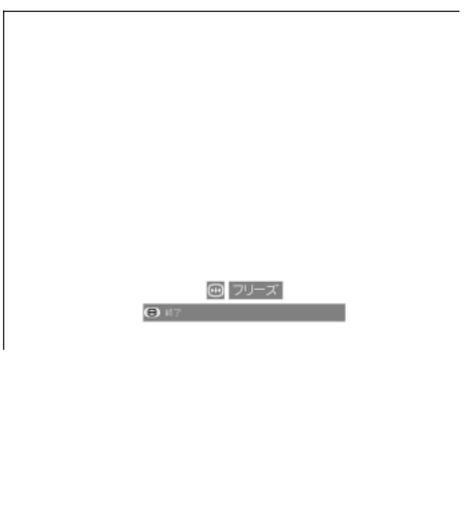
FREEZE

表示画面

- 1 FREEZE を押して、映像を静止画としてメモリーする

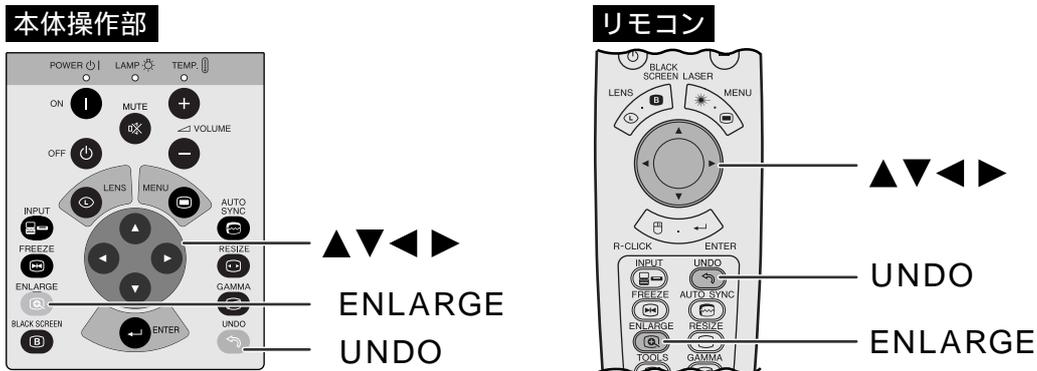


- 2 FREEZE を再度押すと、接続した機器の現在の映像に戻る

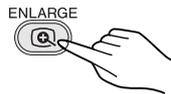


デジタル映像を拡大する

この機能を使うと、投影されたデジタル静止画像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。



1 ENLARGE を押す



ENLARGE を押す度に映像は下記のように拡大されます。

→ x1 → x2 → x3 → x4 → x6 → x8

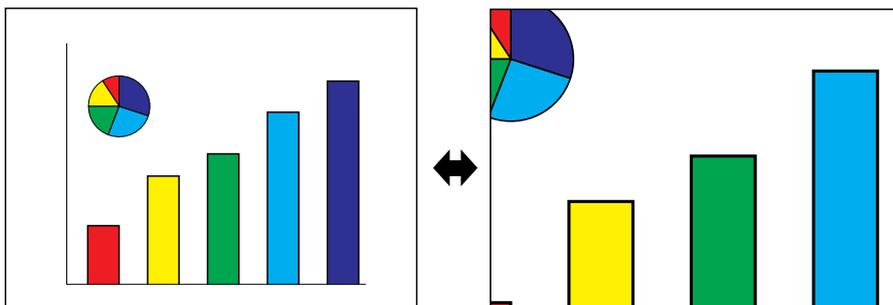
映像が拡大したあと ▲▼◀▶ を使って見たい位置を変えることができます。



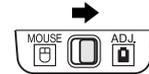
2 UNDO を押して、標準映像に戻す



表示画面



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに MOUSE/ADJ. を「ADJ.」側にします。



メモ

つぎの場合、拡大された映像が元の大きさ (x 1) に戻ります。

INPUT を押したとき
入力信号が変更されたとき

解像度とリフレッシュレート(垂直周波数)が変更されたとき



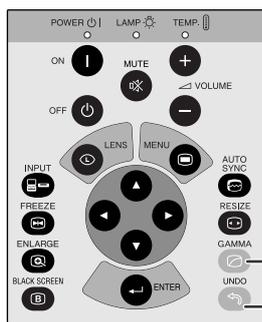
ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくできます。

映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

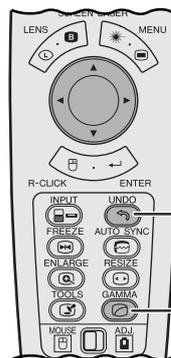
選択項目	補正内容
標準	ガンマ修正をしない標準画面
ガンマ1	映像をより明るくしたいとき
ガンマ2	映画などを見るときに設定します
ユーザー設定	Sharp Advanced Presentation Softwareを使って、ガンマ値を調整することができる

本体操作部



GAMMA
UNDO

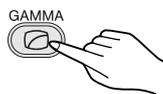
リモコン



UNDO

GAMMA

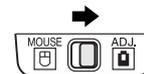
1 GAMMA を押す



GAMMA を押す度にガンマレベルが下画面のように変わります。

! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



2 「ガンマ」が画面に表示されているときに UNDO を押すと、標準映像に戻る



表示画面



標準



ガンマ 1



ガンマ 2



ユーザー設定

画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質を良くするために、画像表示モードを修正したり、カスタマイズすることができます。入力信号の種類によって、「ノーマル」・「ワイド」・「ドットバイドット」・「ノーマル(ワイド)」・「フィットスクリーン」を選んでください。

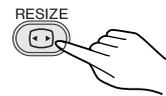
	比率	入力信号(モード)	ノーマル	フィットスクリーン	ワイド	ドットバイドット	ノーマル(ワイド)
コンピュータ	4:3	SVGA(800×600)	1024×768	-	-	800×600	-
		XGA(1024×768)	1024×768	-	-	1024×768	-
		UXGA(1600×1200)	1024×768	-	-	1600×1200	-
	その他	SXGA(1280×1024)	960×768	1024×768	-	1280×1024	-
DVD / デジタルビデオ	4:3	525i/p *1	1024×768	-	1024×576 *2	-	768×576 *2
	レターボックス	525i/p *1	1024×768	-	1024×576 *2	-	768×576 *2
	スクイーズ	525i/p *1	-	-	1024×576 *2	-	768×576 *2
	16:9	750p/1125i *1	-	-	1024×576 *2	-	-

*1マーク：本機に表示される入力信号は、有効走査線数が表示されます。くわしくは52ページをご覧ください。

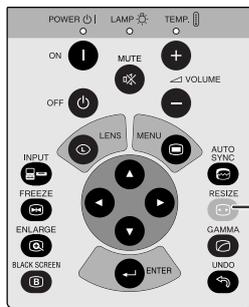
*2マーク：これらの画像表示モードでデジタルシフト機能が使えます。

1 RESIZE を押す

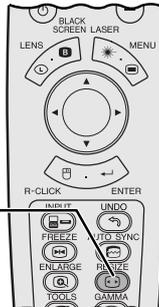
RESIZE を押す度に、画像表示モードは下記のように変わります。



本体操作部



リモコン



RESIZE

注意

「フィットスクリーン」は4:3の縦横比でないSXGA(5:4)信号が入力された場合のみ表示されます。

「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示し、液晶パネル解像度に合わせるため拡大されません。

ノーマルモードに戻るには、「リサイズ」が画面に表示されているとき、UNDOを押してください。

		ノーマル	フィットスクリーン	ワイド	ドットバイドット	ノーマル(ワイド)
コンピュータ	4:3の縦横比のコンピュータ / RGB信号		←→			
	4:3以外の縦横比のコンピュータ / RGB信号					
DVD / デジタルビデオ	4:3の縦横比のDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号					
	レターボックスサイズのDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号					
	スクイーズサイズのDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号					
	16:9の縦横比のDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号					

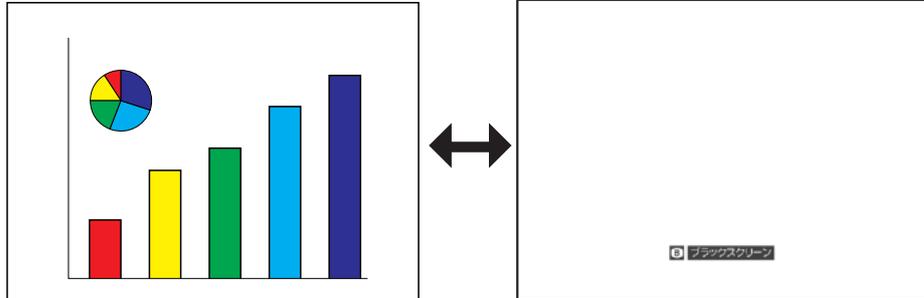


ブラックスクリーン機能

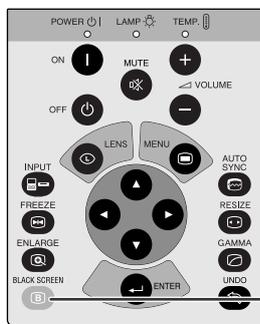
投影された画面を黒くする

この機能は投影された画像を一時的に消したいときに使います。

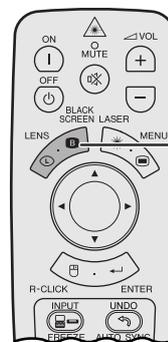
投影された画像



本体操作部

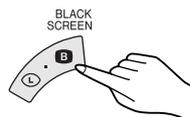


リモコン



表示画面

1 BLACK SCREEN を押す



「ブラックスクリーン」がスクリーンに表示されます。元の映像に戻すためには、BLACK SCREEN を再度押します。

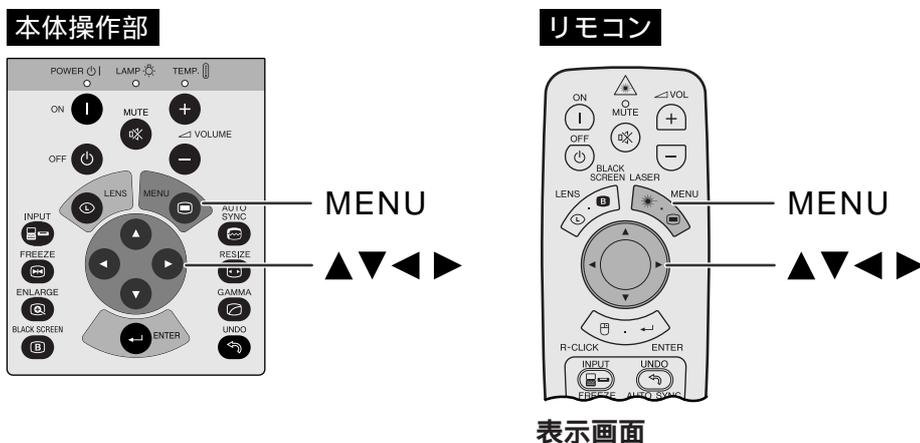
！ 注意

この機能进行操作するときにはリモコンを使います。MOUSE / ADJ. を「MOUSE」側にしてからBLACK SCREEN を押してください。

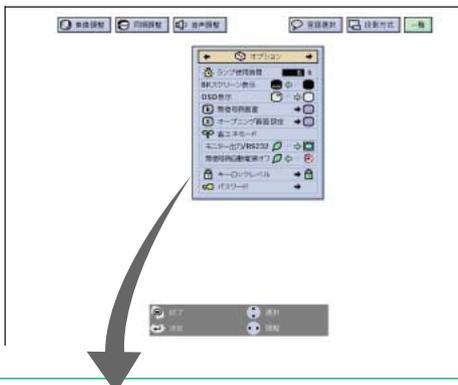


画面表示を消す

ブラックスクリーンが表示されているとき、画面表示(「ブラックスクリーン」という文字)を消すことができます。オプション項目の「BKスクリーン表示」で"●"に設定します。



1 ① MENU を押す
② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



2 ▲または▼を押して、「BKスクリーン表示」を選ぶ



3 文字を表示するときは、◀または▶を押して、「BLACK」を選ぶ
文字を表示しないときは、◀または▶を押して、「●」を選ぶ



4 MENU を押して終了する

! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



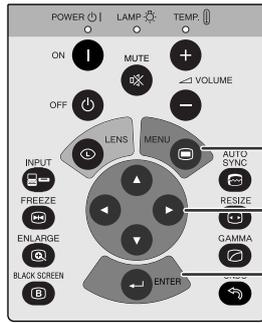
省エネモードを選ぶ

省エネモードは、プロジェクターの消費電力を減らすための設定です。

選択項目	省エネモード設定			
モニター出力/RS232C(オフ)機能		働かない		働く
無信号時自動電源オフ機能		働かない		働く

工場出荷状態

本体操作部

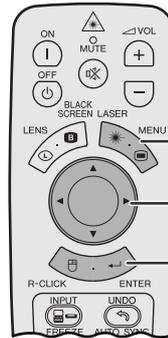


MENU



ENTER

リモコン



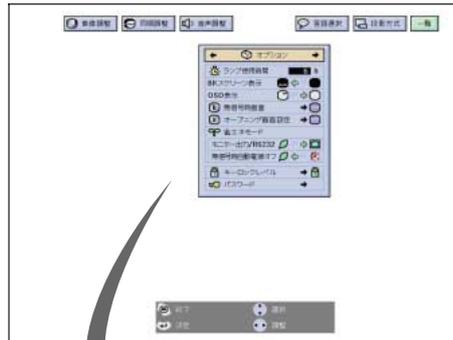
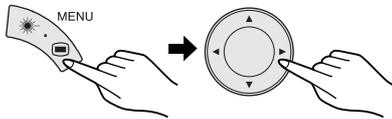
MENU



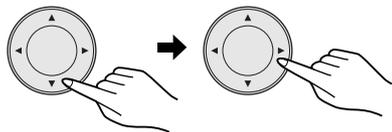
ENTER

表示画面

- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼を押して、「省エネモード」の中の「モニター出力/RS232C」、または「無信号時自動電源オフ」を選ぶ

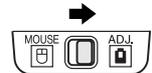


- ③ ◀または▶を押して、 (働く) か、 (働かない) を選ぶ



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。

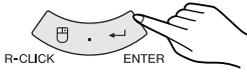


メモ

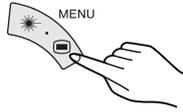
手順②で「無信号時自動電源オフ」を選んだ場合は、手順③で (働く) か、 (働かない) を選びます。



4 ENTERを押して、設定する



5 MENUを押して終了する。



! 注意

Sharp Advanced Presentation Software(付属品)を使用される場合は、省エネモードは設定しない(働かせない)
ください。

自動電源オフ機能

15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。下に示す画面表示が電源が自動的に切られる5分前に表示されます。

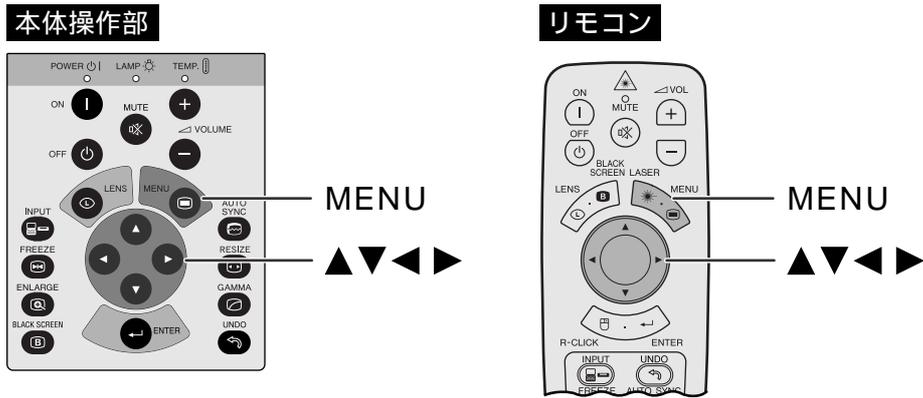
この機能は、省エネモードで、自動電源オフ機能がオン()になっているとき有効です。

5分後に電源オフ



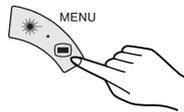
光源ランプの使用時間を確認する

この機能を使って、光源ランプの総使用時間を確認することができます。



表示画面

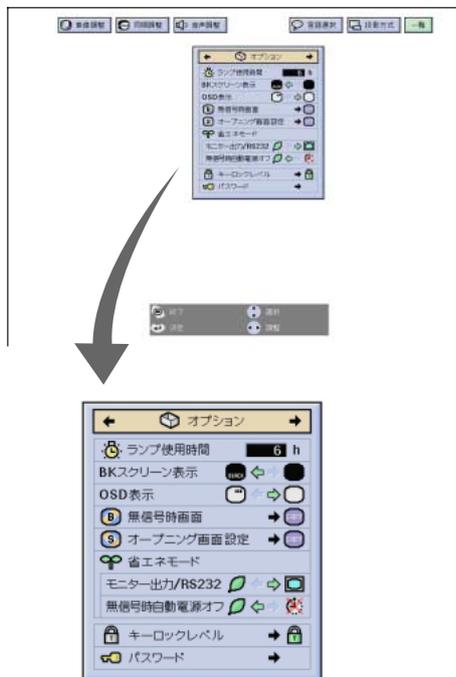
1 MENU を押す



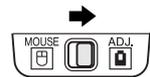
2 ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



光源(ランプ)の使用時間が表示されます。



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



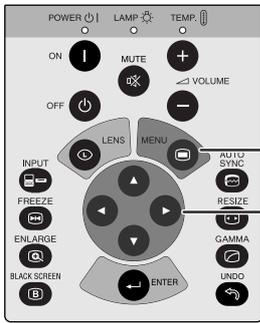
メモ

光源ランプは約900時間の使用で交換することをお奨めします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口(102ページ)にお問い合わせください。

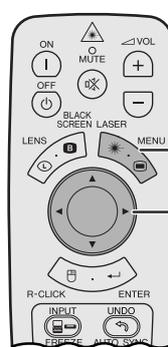
画面表示設定機能

この機能を使って、「入力切替」機能を使用中に表示される画面表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" "に設定すると、INPUTを押しても、画面表示が現われません。

本体操作部



リモコン



MENU

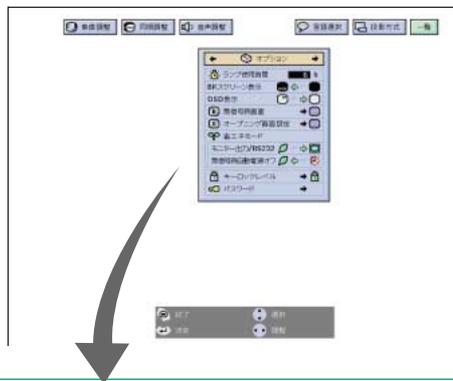
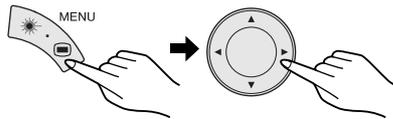


MENU

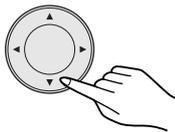


表示画面

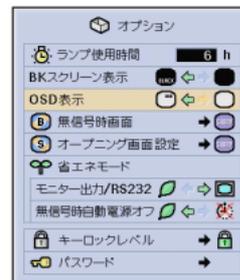
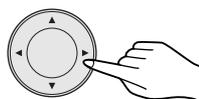
- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



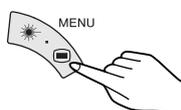
- ② ▲または▼を押して、「OSD表示」を選ぶ



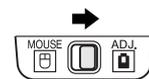
- ③ 画面表示を消すときは、◀または▶を押して、""を選ぶ
画面表示を表示させるときは、◀または▶を押して、""を選ぶ



- ④ MENU を押して終了する



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



画面表示設定機能

便利な機能を使う

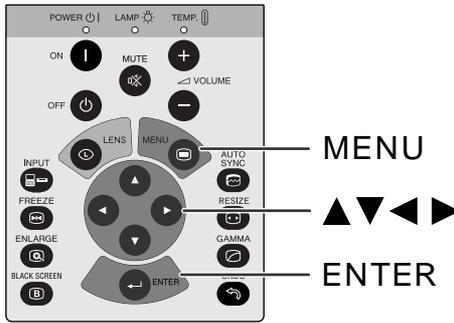


無信号時に表示する画面を設定する

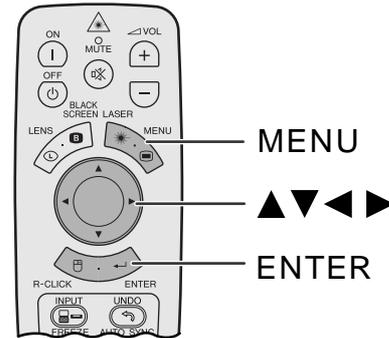
この機能を使って、プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選びます。

選択項目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面(会社のロゴなど)
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面

本体操作部

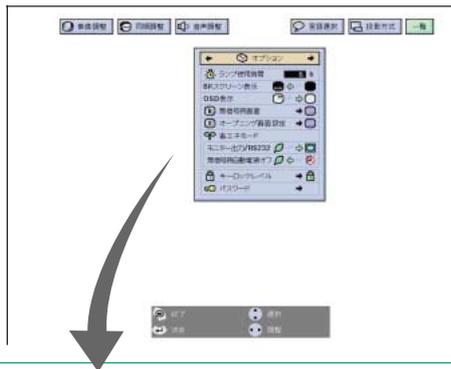
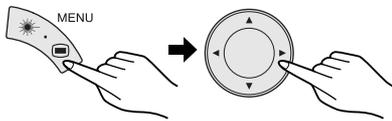


リモコン

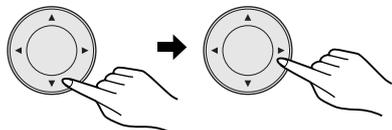


表示画面

- ① MENU を押す
- ② ◀または▶ を押して、「オプション」を選ぶ



- ① ▲または▼ を押して、「無信号時画面」を選ぶ
- ② ▶ を押す



- ③ ▲または▼ を押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面を選ぶ



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。

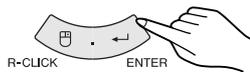


メモ

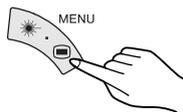
「ユーザー選択画面」を選ばと、プロジェクターはユーザー設定画面(会社のロゴなど)を無信号時画面として表示することができます。ユーザー設定画面は、256色のBMPファイルで1,024 × 768以下の大きさでなくてはなりません。ユーザー設定画面のメモリー登録、修正方法については、Sharp Advanced Presentation Software (SAPS) 取扱説明書をご参照ください。

ユーザー選択画面は、工場出荷時ブラック画面(黒い画面)です。

4 ENTERを押して、設定する



5 MENUを押して終了する。

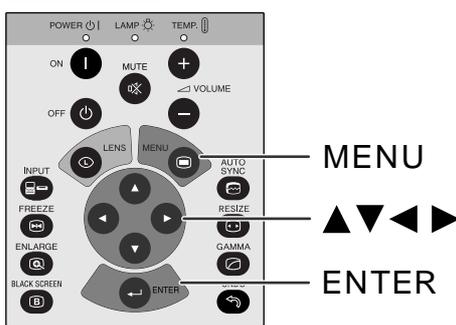


オープニング画面を選ぶ

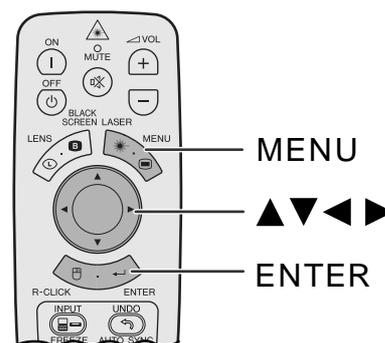
この機能を使って、プロジェクターを起動させたときに表示される映像を指定することができます。ユーザー設定画面(会社のロゴなど)は、RS-232Cケーブルを介して、プロジェクターに送信することができます。詳細は、この取扱説明書の95・96ページおよび付属のSharp Advanced Presentation Software 取扱説明書をご参照ください。

選択項目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面(会社のロゴなど)
画面表示無し	黒い画面

本体操作部

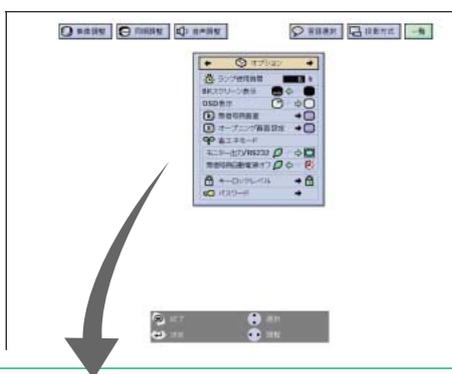
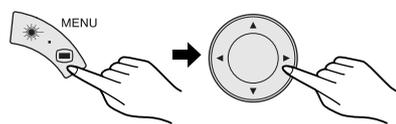


リモコン

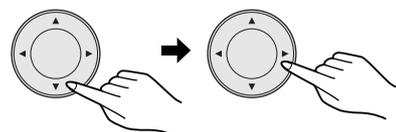


表示画面

- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



- ① ▲または▼を押して、「オープニング画面設定」を選ぶ
- ② ▶を押す



- ③ ▲または▼を押して、スクリーンに表示したいオープニング画面を選ぶ



！リモコンで調整するときは画面調整を行うためにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。

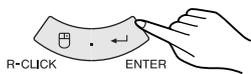


メモ

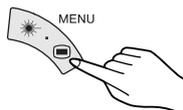
「ユーザー選択画面」を選ぶと、プロジェクターはユーザー設定画面(会社のロゴなど)をオープニング画面として表示することができます。ユーザー設定画面は、256色のBMPファイルで1,024×768以下の大きさでなくてはなりません。ユーザー設定画面のメモリー登録、修正方法については、Sharp Advanced Presentation Software (SAPS) 取扱説明書をご参照ください。

ユーザー選択画面は、工場出荷時ブラック画面(黒い画面)です。

4 ENTER を押して、設定する。



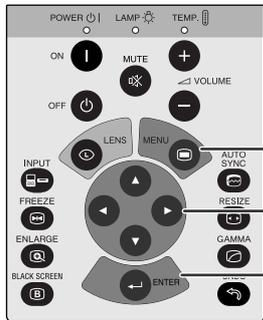
5 MENU を押して終了する。



パスワードを設定する

パスワードを設定することにより、各メニューの設定内容を修正できないようにすることができます。キーロックレベル(80ページ)と併せて使用するとより効果的です。

本体操作部

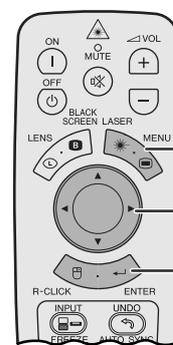


MENU

▲▼◀▶

ENTER

リモコン



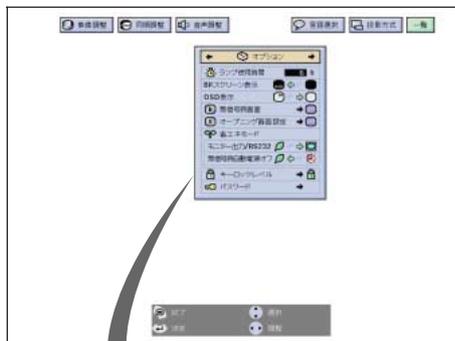
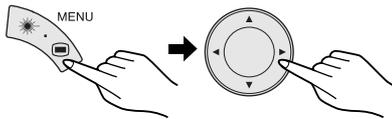
MENU

▲▼◀▶

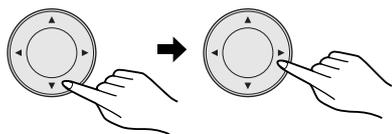
ENTER

表示画面

- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



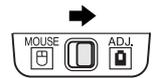
- ① ▲または▼を押して、「パスワード」を選ぶ
- ② ▶を押す



- ③ ▲または▼を押して、好きな番号が表示されたら▶を押す



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



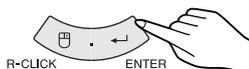
メモ

パスワードを設定したあとは、安全な場所にメモして、忘れないようご注意ください。
パスワードが既に設定されている場合は、手順②で旧パスワードの項目にカーソルが移動します。「パスワードを変更する」(78ページ)を参照してください。

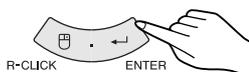
4 同様に残りの 3 個を入力する



5 ENTER を押す。



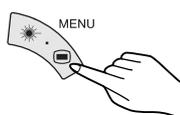
6 確認欄にもう一度同じ数字を入力しENTERを押す。



パスワードの入力をまちがえたときは、手順 ③ に戻ります。



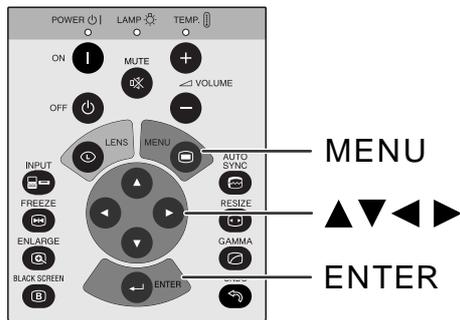
7 MENU を押して終了する。



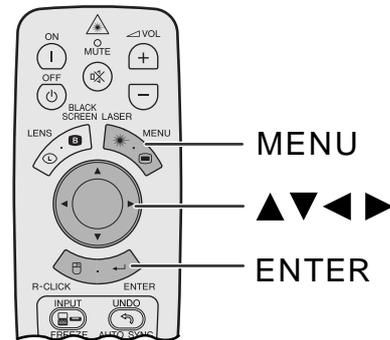
パスワードを変更する

パスワードはいつでも変更することができます。

本体操作部

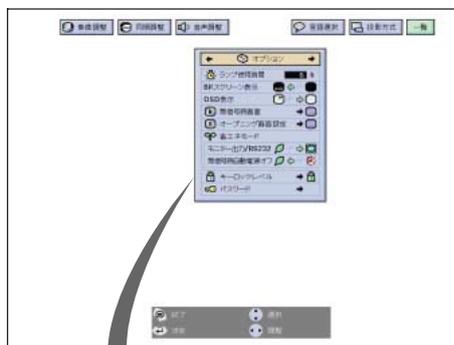
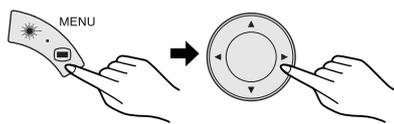


リモコン

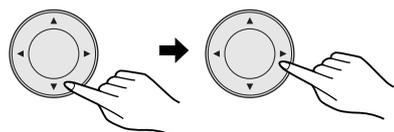


表示画面

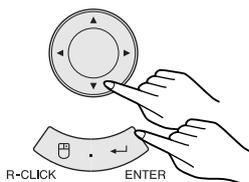
- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



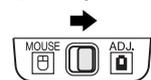
- ① ▲または▼を押して、「パスワード」を選ぶ
- ② ▶を押す



- ③ ▲、▼、▶を使って、旧パスワードの欄に設定済みのパスワードの番号 4 桁を入力し ENTER を押す。



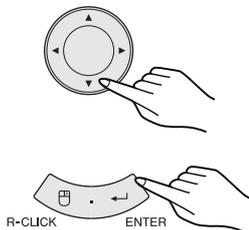
! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに
MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



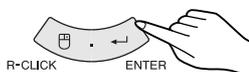
メモ

パスワードを変更したあとは、安全な場所にメモして、忘れないようご注意ください。

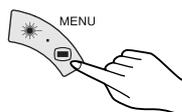
- 4 新しいパスワードを▲、▼、▶を使って設定しENTERを押す。



- 5 確認欄にもう一度同じ数字4桁を入力しENTERを押す。



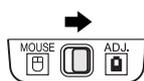
- 6 MENUを押して終了する。



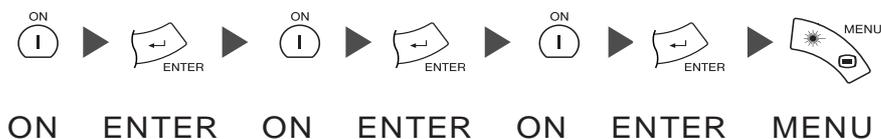
パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、改めてパスワードを設定してください。

- 1 MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



- 2 次の順番にボタンを押します。

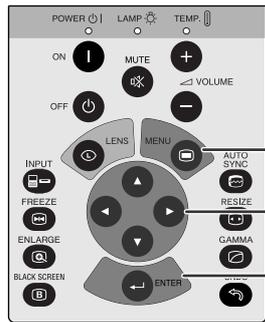


キーロックレベルを設定する

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンを**ロック**するのに使用します。リモコンのボタンはロックされません。ロックのレベルは以下の3段階です。

キーロックレベル	内容
ノーマル	すべてのボタンが機能します。
レベルA	INPUT、VOLUME、MUTE、BLACKSCREEN以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

本体操作部

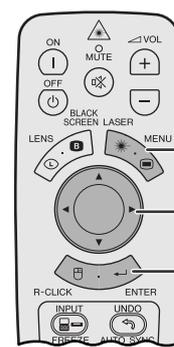


MENU



ENTER

リモコン



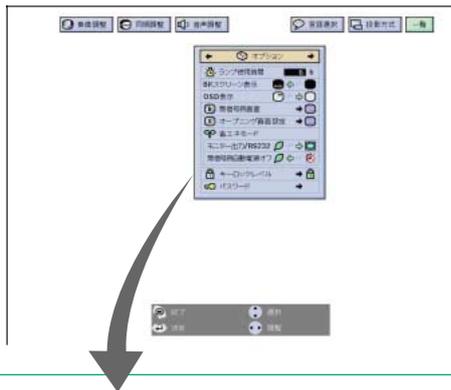
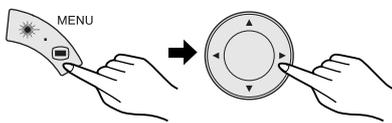
MENU



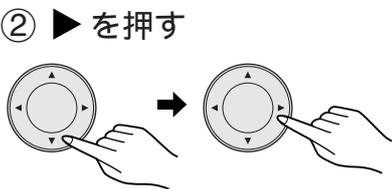
ENTER

表示画面

- ① MENU を押す
- ② ◀または▶を押して、「オプション」を選ぶ



- ① ▲または▼を押して、「キーロックレベル」を選ぶ
- ② ▶を押す

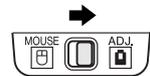


- ③ ▲または▼を押して、設定するレベルを選ぶ



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

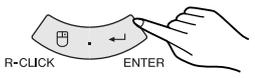
MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



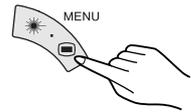
メモ

パスワードが設定されている場合は、手順②でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないとキーロックレベルは設定できません。

4 ENTERを押して、設定する



5 MENUを押して終了する。



キーロックの解除のしかた

キーロックを解除するには上記設定の手順を、リモコンで行います。キーロックレベルを「ノーマル」に設定すると、すべてのボタンが機能します。
 キーロック、パスワードがともに設定されている場合は、キーロックレベルを変更するまえにパスワードが必要になります。

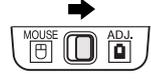
パスワードが設定されている場合

表示画面

1 前ページの手順 ② のあとパスワード入力用の画面が表示されるのでパスワードを入力する。

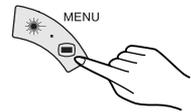


! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



2 パスワードが正しく入力されれば、画面は前ページの手順 ③ のレベル入力設定に変わるので、レベルを「ノーマル」に設定する。

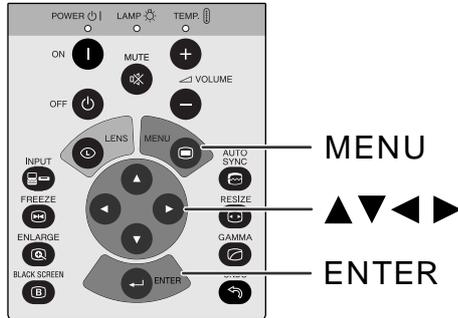
3 MENUを押して終了する。



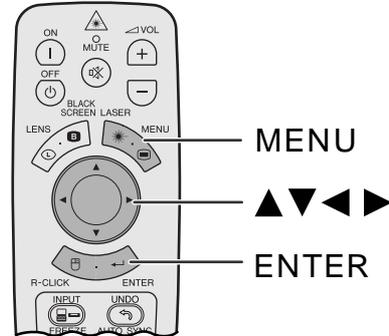
画面表示言語を選ぶ

表示画面の言語として、工場出荷時、日本語が設定されています。英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切り換えることができます。

本体操作部

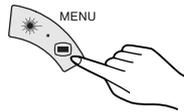


リモコン



表示画面

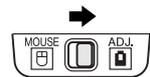
1 MENU を押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



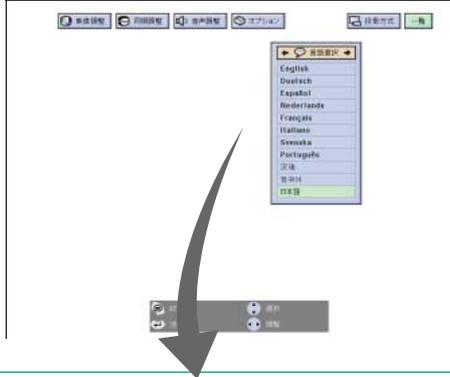
! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



メモ

左の例は、日本語から英語に切替える例です。

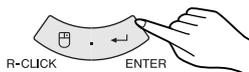
2 ◀または▶を押して、「言語選択」を選ぶ



3 ▲または▼を押して、表示したい言語を選ぶ



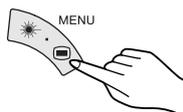
4 ENTERを押して、設定する



表示画面が選択された言語で表示されます。



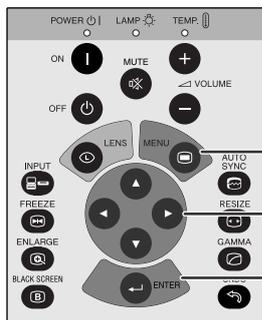
5 MENUを押して終了する



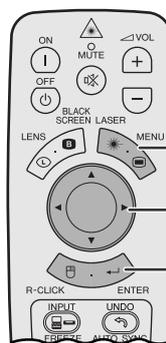
調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容をスクリーンに一度にすべて表示することができます。

本体操作部



リモコン



MENU

▲▼◀▶

ENTER

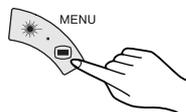
MENU

▲▼◀▶

ENTER

表示画面

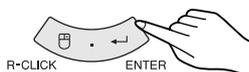
1 MENU を押す



2 ◀または▶ を押して、メニューバーの「一覧」を選ぶ



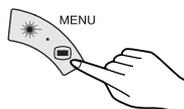
3 ENTER を押す



調整した設定内容がすべて表示されます。

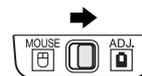


4 MENU を押して終了する



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに

MOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



左の例は、入力 1、2 モードのもので、入力 3 モードでは以下の内容が表示されます。

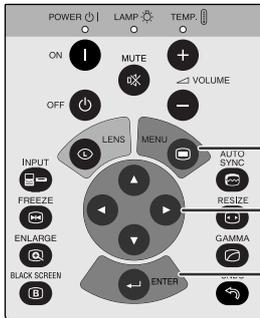




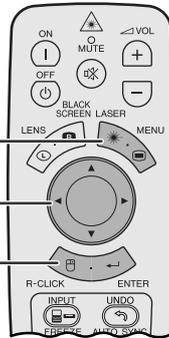
映像の左右反転 / 上下反転のしかた

このプロジェクターは映像左右 / 上下反転機能を備えており、投影された映像を左右反転・上下反転することができます。いろいろな対応が可能です。

本体操作部



リモコン



MENU

▲▼◀▶

ENTER

選択項目	画面
標準	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右 / 上下反転された映像

標準



天吊り



リア



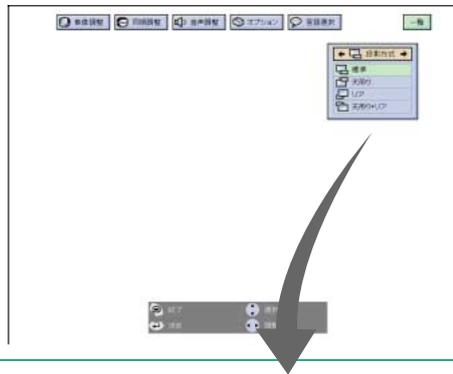
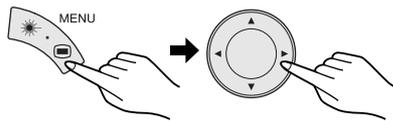
天吊り+リア



表示画面

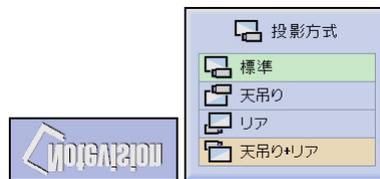
1

- MENU を押す
- ◀または▶を押して、「投影方式」を選ぶ



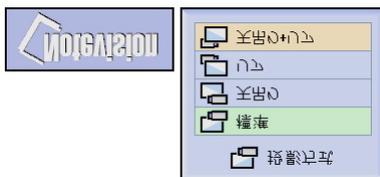
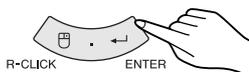
2

- ▲または▼を押して、投影方式を選ぶ



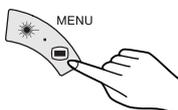
3

- ENTERを押して、設定する



4

- MENU を押して終了する



! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえにMOUSE/ADJ.を「ADJ.」側にします。



メモ

この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については22ページをご参照ください。

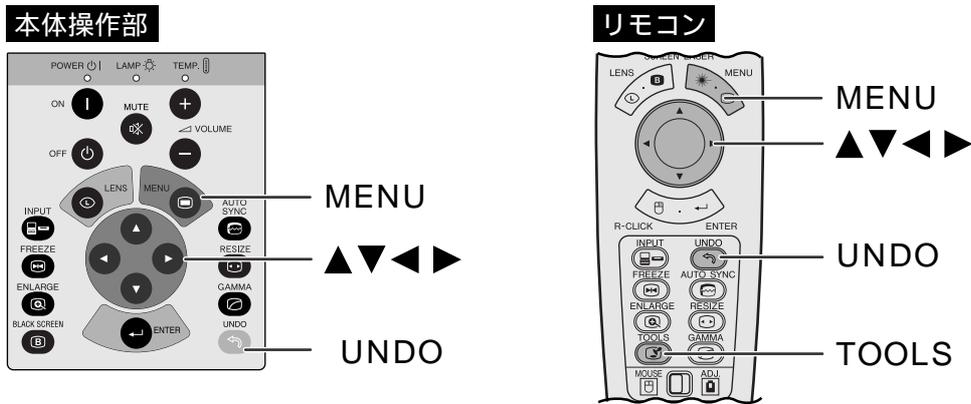
映像の左右反転 / 上下反転のしかた

便利な機能を使う



プレゼンテーションツールを使う

このプロジェクターは**プレゼンテーションツール**を備えています。プレゼンテーションでキーポイントを強調するとき便利です。

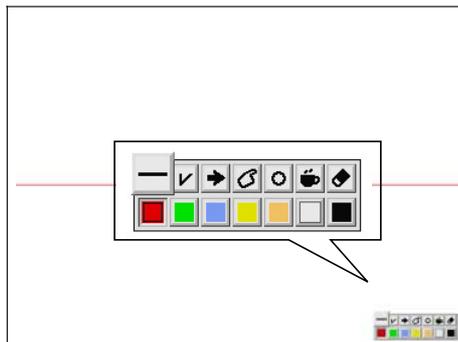
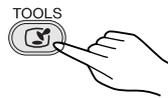


プレゼンテーションツールを使う

便利な機能を使う

表示画面

- 1 リモコンの **TOOLS** を押して、プレゼンテーションメニューウィンドウを表示する

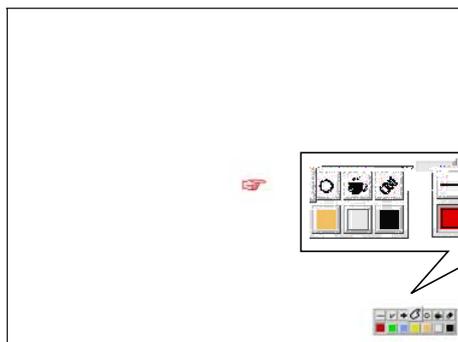


! リモコンで調整するときは画面調整を行うまえに **MOUSE/ADJ.** を「ADJ.」側にします。

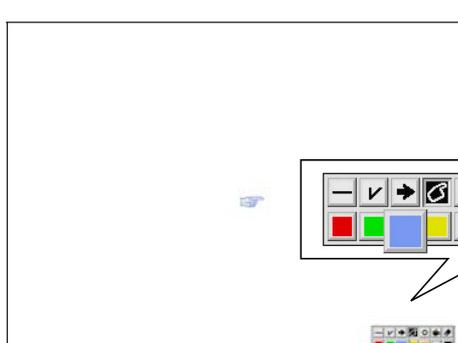
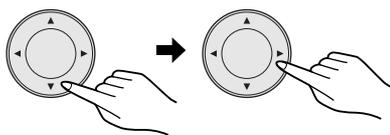


メモ
各ツールは好きなだけ画面にスタンプすることができます。

- 2 ◀または▶を押して、使用したいツールを選ぶ

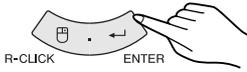


- 3 ▼を押して色を選び、◀または▶で色を決定する

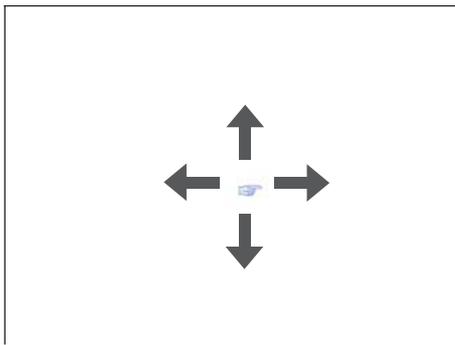




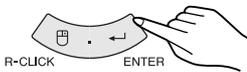
4 ENTERを押して、決定する



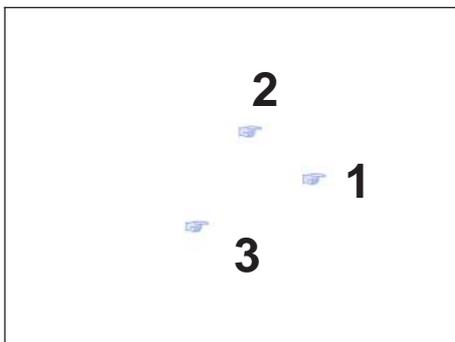
5 選択したツールがスクリーンに表示されたら、◀▶▲▼を押して、ツールを動かす



6 ENTERを押して、スクリーンにツールをスタンプします



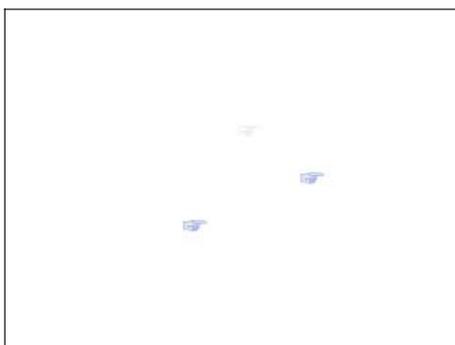
手順 5・6 を繰り返すと、さらに選んだツールをスタンプすることができます。



7 UNDO ボタンを押すと、画面に表示されたツールがひとつずつ消えます



別のツールを選ぶときは、TOOLS を押し、ツールボックスを表示させます。

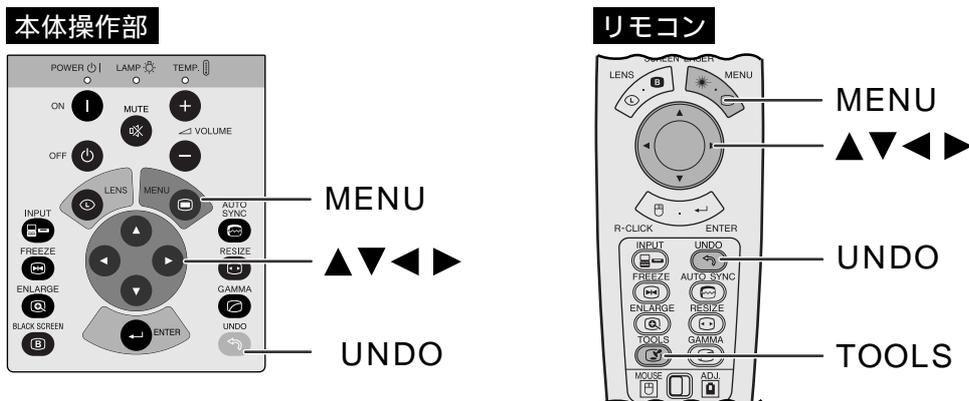


表示を全部消したいときは

② で  を選んで ENTER を押します。

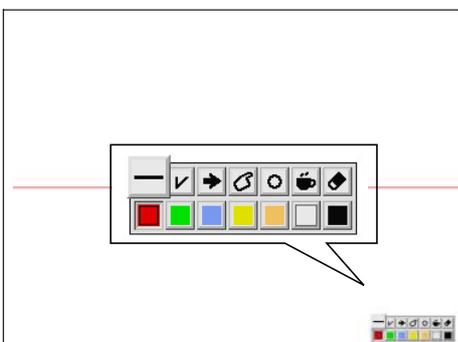
プレゼンテーションツールを使う(つづき)

休憩時間を表示する

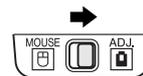


表示画面

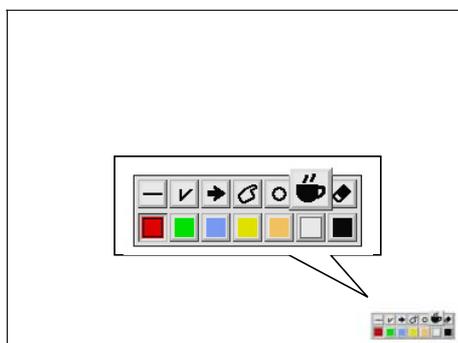
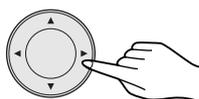
- 1 リモコンの TOOLS を押し、プレゼンテーションメニューウィンドウを表示する



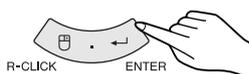
! リモコンで調整するときは画面調整を行うために MOUSE/ADJ. を「ADJ.」側にします。



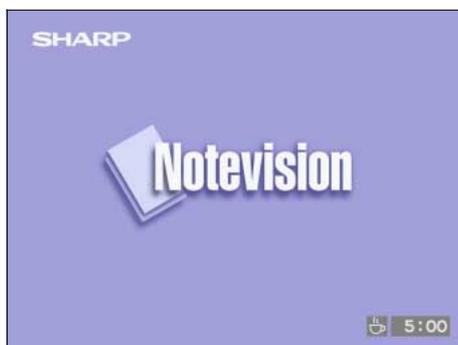
- 2 ◀ または ▶ を押し、☕ を選ぶ



- 3 ENTER を押す



休憩時間のカウントが始まります。



- 4 休憩時間を増やすときは ▲ を押す
休憩時間を減らすときは ▼ を押す



メモ

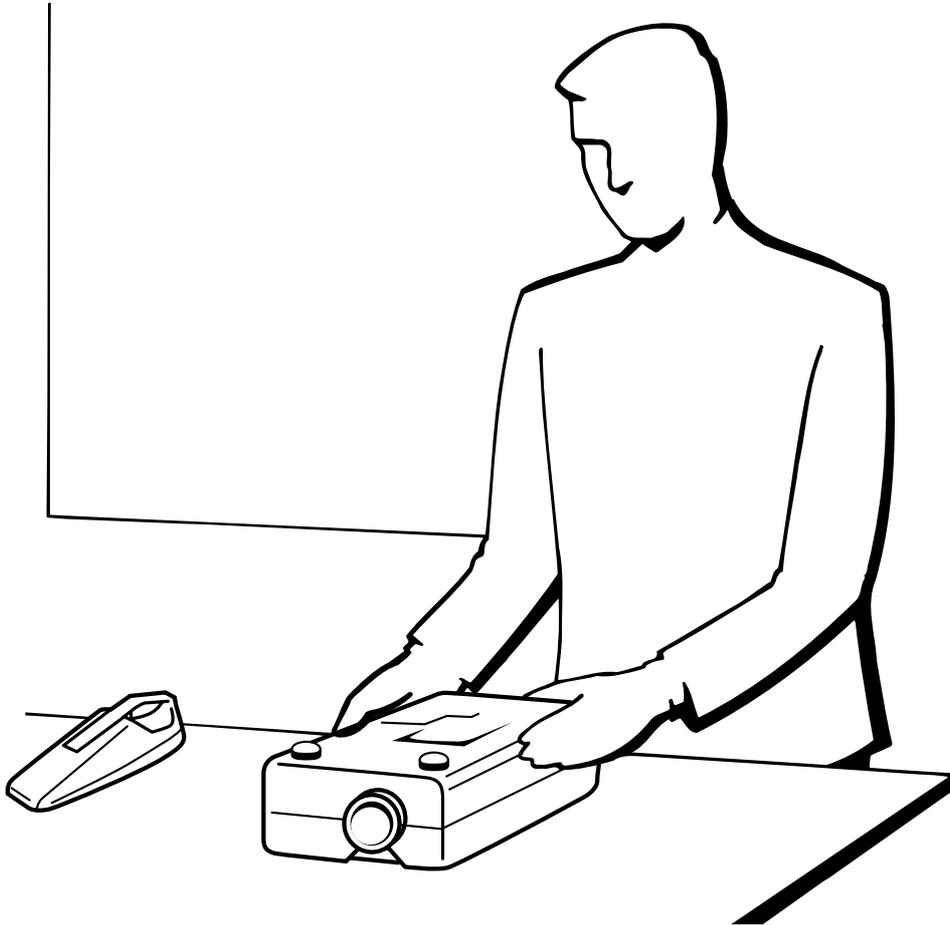
休憩時間は「オープニング画面を選ぶ」で選択された項目(画面)の上に表示します。(74ページ参照)

メモ

設定は1分単位で設定できます。(最大60分)



正しくお使いいただくために



正しくお使いいただくために





お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

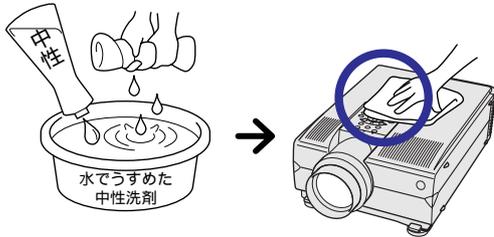
キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

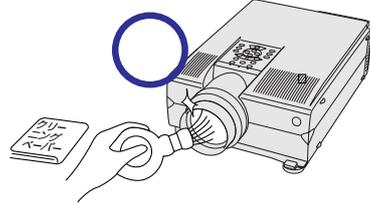
汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



レンズの手入れのしかた

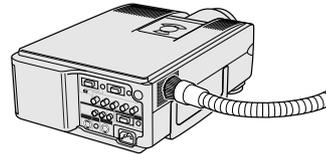
レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



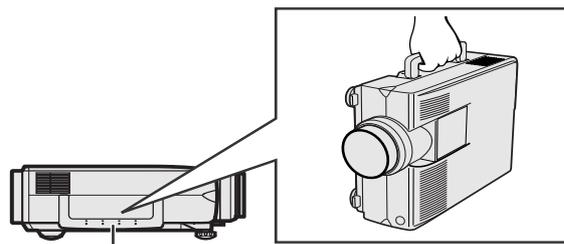
冷却ファンのフィルターの手入れのしかた

冷却ファンのフィルターの清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸いとって行ってください。



持ち運ぶときは

プロジェクターを持ち運ぶときは、側面についているキャリングハンドルを持って運んでください。



キャリングハンドル

! 注意

プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズを保護するため、必ずレンズキャップを付けてください。

レンズやレンズキャップを持ってプロジェクター持ち上げたり、持ち運ばないでください。レンズが破損する恐れがあります。

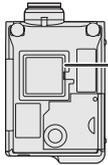




エアークリナーのお手入れ

エアークリナーは、約 100 時間使用毎を目安に掃除を行ってください。
特にほこりの多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。

本体底面



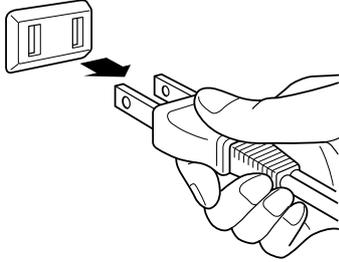
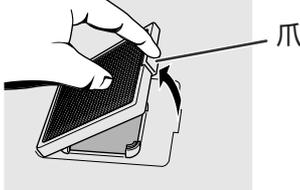
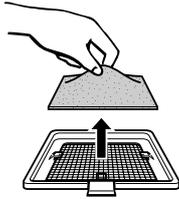
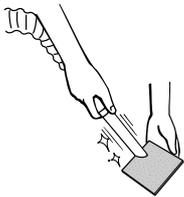
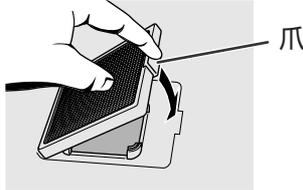
エアークリナー部

本体側面



エアークリナー部(固定)

底面エアークリナーの掃除または交換

<p>1 電源プラグをコンセントから抜く</p> 	<p>2 フィルターカバーを外す</p> <p>矢印の方向にフィルターカバーの爪を押しながら上に引いて、取り外します。</p> 	<p>3 エアークリナーを外す</p> <p>エアークリナーをつまんでフィルターカバーから外します。</p> 
<p>4 エアークリナーを掃除する</p> <p>掃除機でエアークリナーおよびフィルターカバーのほこりを吸い取ります。</p> 	<p>5 エアークリナーを取り付ける</p> <p>エアークリナーを、フィルターカバーに元どおりに取り付けます。フィルターは、枠のある面をフィルターカバー側に合わせて、カバーの取付枠の下に差し込み取り付けてください。</p> 	<p>6 フィルターカバーを取り付ける</p> <p>フィルターカバーの2つの爪を本体側の溝にさし込み、閉じます。</p> 

エアークリナーのお手入れ

正しくお使いいただくために



注意

プロジェクターの動作中にエアークリナーの掃除または交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約 90 秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



フィルターカバーは、確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、電源が入らなくなってしまいます。電源を入れようとしたときに、POWER(電源)ランプが赤で点滅します。

エアークリナーのほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属のエアークリナーと交換してください。エアークリナーをご購入の際は、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

側面のエアークリナーの掃除

側面のエアークリナーは取り外すことができません。ほこりがたまったら、掃除機でほこりを吸い取ってください。



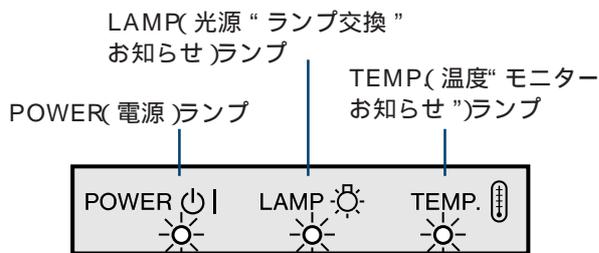
お知らせランプ/光源(ランプ)について

お知らせランプについて

本機では、内部の異常をお知らせランプが点灯してお知らせします。

お知らせランプにはTEMP(温度“モニターお知らせ”)ランプとLAMP(光源“ランプ交換”お知らせ)ランプがあります。

内部に異常が生じると、その異常の現象によって、TEMP.ランプもしくはLAMPランプが赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況やエアフィルターのみづまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、光源(ランプ)が消灯しTEMP.ランプが点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



温度

お知らせランプ		現象	考えられる原因	処置のしかた
TEMP.ランプ	正常	内部温度が高温になっている。	●通風孔がふさがれている。	●正しい設置場所に設置してください。
	異常		●エアフィルターのめづまり	●91ページの手順に従ってフィルターの手入れをしてください。
LAMPランプ	消灯	光源(ランプ)が点灯しない	●冷却ファンの故障	●販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。
	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中)		●内部回路の故障	
POWERランプ	赤色点灯	光源(ランプ)が点灯しない	●内部エアフィルターのめづまり	●販売店に修理またはランプの交換を依頼してください。
	赤/緑色点灯		●光源(ランプ)が切れた	
			●光源(ランプ)点灯回路故障	●光源(ランプ)の交換を販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
			●エアフィルターカバーが外れている	●91ページの⑥を行い、フィルターカバーを確実に取り付けてください。

！ 注意

TEMP.ランプが点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)

一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、LAMPランプが赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。

プロジェクターの動作中にエアフィルターの掃除または交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

光源(ランプ)について

光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約1,000時間です。900時間を超えたら、なるべく早めに新しい光源ランプ(別売)と交換してください。900時間を超えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しい光源ランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(70ページ参照)

光源ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。

光源ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(102ページ)にお問い合わせください。

！ 注意

光源の光は有害です。プロジェクターを操作しているときは、プロジェクターの部品やレンズをのぞきこまないでください。

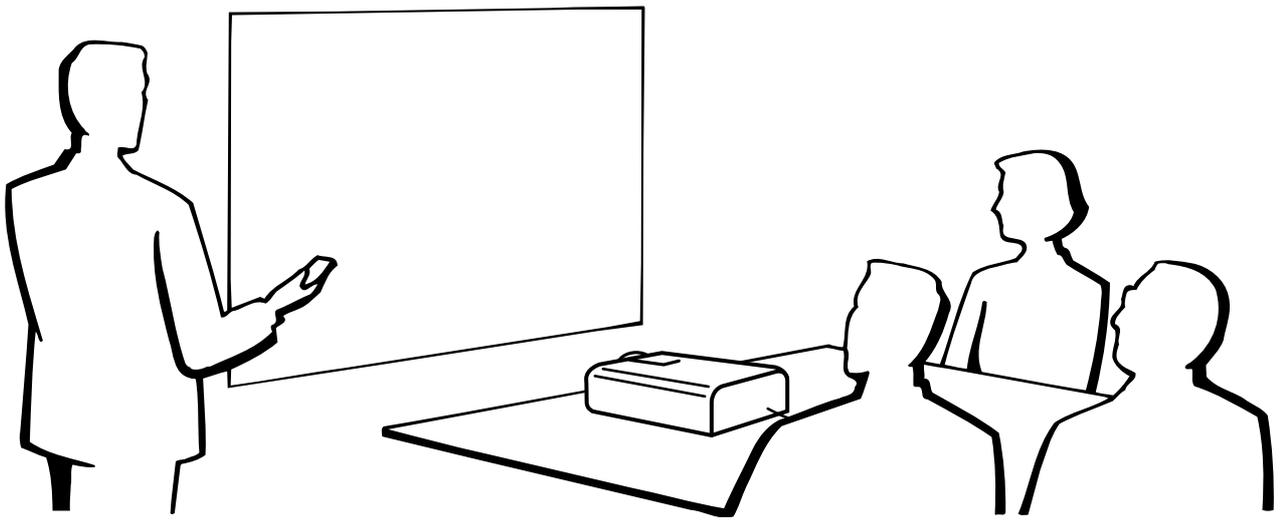


プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は1,000時間以下になることがあります。

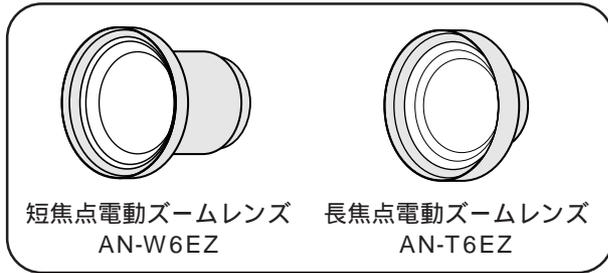




付録



別売レンズ

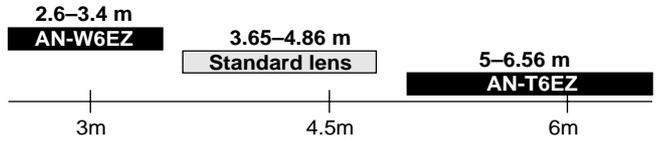


短焦点電動ズームレンズ
AN-W6EZ

長焦点電動ズームレンズ
AN-T6EZ

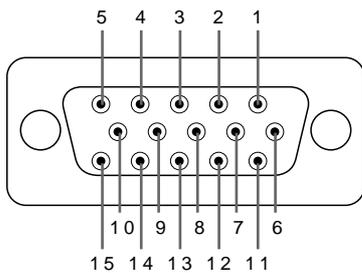
別売品として短焦点電動ズームレンズと長焦点電動ズームレンズがあります。詳細は販売店にご相談ください。(レンズを取り付ける場合は、レンズに付属の取扱説明書をご参照ください。)

100型画面投影時の距離



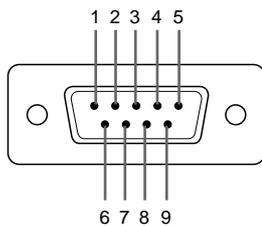
本体のコネクタのピン配置

コンピュータRGB入力端子(IN1, IN2)、コンピュータRGBモニター出力端子(OUT)
15ピンミニD-subコネクタ(メス)



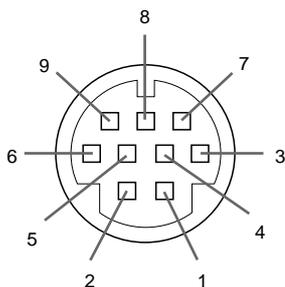
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像入力(赤)	8.	接地(映像青)
2.	映像入力(緑)	9.	NC
3.	映像入力(青)	10.	接地
4.	予備入力	11.	接地
5.	複合同期信号	12.	データ
6.	接地(映像赤)	13.	水平同期信号
7.	接地(映像緑)	14.	垂直同期信号
		15.	クロック

PCコントロールケーブル: RS-232Cコネクタ
9ピンD-subコネクタ(オス)



ピン番号	信号	信号名	I/O	備考
1	CD			NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4	ER			NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6	DR	データセットレディ	出力	NC
7	RS	送信要求	出力	内部回路に接続
8	CS		入力	内部回路に接続
9	CI			NC

PCコントロールケーブル: マウス端子
9ピンミニDINコネクタ(メス)



ピン番号	信号	信号名	I/O	備考
1	VCC	+3.3V(保持)	出力	NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4	EXIR	別売ユニット検出(保持)	入力	NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6	ERX	IR受信信号(IRアプ から)(保持)	入力	NC
7	RS	送信要求	出力	内部回路に接続
8	CS	送信可	入力	内部回路に接続
9	ETX	IR伝送信号(保持)	出力	NC



RS-232C ポート仕様

コンピュータによるプロジェクターの制御について

この操作システムはコンピュータを使い慣れた方のご利用をお願いいたします。

プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピュータで本機を制御することができます。入力信号(コンピュータ/ビデオ)の切り換えや音量調節のほか、各種調整や設定も制御できますので、プログラムによる自動上映が可能です。

接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス・メス・メスタイプ)をご用意ください。

省エネモードは、モニター出力/RS232C(オフ)項目を「働かない(☐)」に、無信号時自動電源オフ項目を「働かない(✕)」に設定してください。(68ページ)

通信仕様

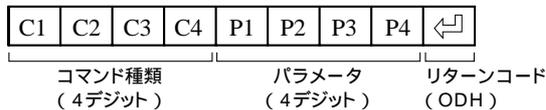
コンピュータ側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

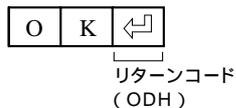
コンピュータからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて、動作し、レスポンスメッセージをコンピュータ側に送ります。
複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(コンピュータ → 本機)

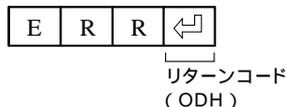


レスポンス(本機 → コンピュータ)

正常時



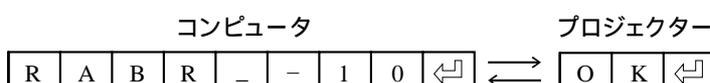
異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)



プロジェクターのコンピュータ制御機能を使用するとき、プロジェクターの動作状況をコンピュータに読ませることはできません。従って、各調整メニューの表示コマンドを伝送し、画面表示で状況を確認してください。もし、プロジェクターがメニュー表示コマンド以外のコマンドを受け取ると、画面を表示しないでコマンドを実行します。

受送信の例

「入力1」モードの「映像調整」の「明るさ」を-10に設定する。



コマンド一覧

"パラメータ"の中でダッシュ(-)で表記されている箇所はスペースを指定します。アスタリスク(*)で表記されている箇所は「制御内容」の()内の中の範囲で数値を指定します。

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
自動電源・ON/OFF	A	P	O	W	_	_	_	0	自動電源・OFF
	A	P	O	W	_	_	_	1	自動電源・ON
電源・ON/OFF	P	O	W	R	_	_	_	0	電源・OFF (待機状態)
	P	O	W	R	_	_	_	1	電源・ON
入力切り換え	I	R	G	B	_	_	_	2	入力1
	I	R	G	B	_	_	_	1	入力2
	I	V	E	D	_	_	_	1	入力3
入力確認	I	C	H	K	_	_	_	0	入力確認表示
レンズ調整	L	N	F	O	_	*	*	*	レンズフォーカス(- 30 - + 30)
	L	N	Z	O	_	*	*	*	レンズズーム(- 30 - + 30)
	K	E	Y	S	*	*	*	*	キーストーン補正(- 127 - + 127)
	L	N	D	S	_	*	*	*	デジタルレンズシフト(- 96 - + 96)
表示言語切り換え	M	E	L	A	_	_	_	1	英語
	M	E	L	A	_	_	_	2	ドイツ語
	M	E	L	A	_	_	_	3	スペイン語
	M	E	L	A	_	_	_	4	オランダ語
	M	E	L	A	_	_	_	5	フランス語
	M	E	L	A	_	_	_	6	イタリア語
	M	E	L	A	_	_	_	7	スウェーデン語
	M	E	L	A	_	_	_	8	日本語
	M	E	L	A	_	_	_	9	ポルトガル語
	M	E	L	A	_	_	1	0	中国語
映像信号方式選択	M	E	S	Y	_	_	_	1	自動
	M	E	S	Y	_	_	_	2	PAL (50/60 Hz)
	M	E	S	Y	_	_	_	3	SECAM
	M	E	S	Y	_	_	_	4	NTSC 4.43
	M	E	S	Y	_	_	_	5	NTSC 3.58
ビデオ映像調整	V	A	I	P	_	_	_	0	インターレース
	V	A	I	P	_	_	_	1	プログレッシブ
	V	A	C	T	_	_	*	*	色温度(- 3 - + 3)
	V	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト(- 30 - + 30)
	V	A	B	R	_	*	*	*	明るさ(- 30 - + 30)
	V	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ(- 30 - + 30)
	V	A	T	I	_	*	*	*	色あい(- 30 - + 30)
	V	A	S	H	_	*	*	*	画質(- 30 - + 30)
	V	A	R	D	_	*	*	*	赤(- 30 - + 30)
	V	A	B	E	_	*	*	*	青(- 30 - + 30)
	V	A	R	E	_	_	_	0	入力3項目表示
	V	A	R	E	_	_	_	1	標準
無信号時画面表示選択	I	M	B	G	_	_	_	1	初期設定画面
	I	M	B	G	_	_	_	2	ユーザー設定画面
	I	M	B	G	_	_	_	3	ブルーバック
	I	M	B	G	_	_	_	4	画面表示無し
オープニング画面表示選択	I	M	S	I	_	_	_	1	初期設定画面
	I	M	S	I	_	_	_	2	ユーザー設定画面
	I	M	S	I	_	_	_	3	画面表示無し
音量調整	V	O	L	A	_	_	*	*	音量(00 - 60)
	M	U	T	E	_	_	_	0	消音
	M	U	T	E	_	_	_	1	消音取り消し
音声調整	A	A	B	L	_	*	*	*	バランス(- 30 - + 30)
	A	A	T	E	_	*	*	*	高音(- 30 - + 30)
	A	A	B	A	_	*	*	*	低音(- 30 - + 30)
	A	A	R	E	_	_	_	0	項目表示
	A	A	R	E	_	_	_	1	標準
入力 1 映像調整	R	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト(- 30 - + 30)
	R	A	B	R	_	*	*	*	明るさ(- 30 - + 30)
	R	A	R	D	_	*	*	*	赤(- 30 - + 30)
	R	A	B	E	_	*	*	*	青(- 30 - + 30)
	R	A	R	E	_	_	_	0	入力1項目表示
	R	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ(- 30 - + 30)
	R	A	T	I	_	*	*	*	色あい(- 30 - + 30)
	R	A	S	H	_	*	*	*	画質(- 30 - + 30)
	R	A	R	E	_	_	_	1	標準
	R	A	I	P	_	_	_	0	インターレース
	R	A	I	P	_	_	_	1	プログレッシブ
	R	A	C	T	_	_	*	*	色温度(- 3 - + 3)

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
入力2 映像調整	R	B	I	P	_	_	_	0	インターレース
	R	B	I	P	_	_	_	1	プログレッシブ
	R	B	C	T	_	_	*	*	色温度(- 3 - + 3)
	R	B	P	I	_	*	*	*	コントラスト(- 30 - + 30)
	R	B	B	R	_	*	*	*	明るさ(- 30 - + 30)
	R	B	R	D	_	*	*	*	赤(- 30 - + 30)
	R	B	B	E	_	*	*	*	青(- 30 - + 30)
	R	B	R	E	_	_	_	0	入力2 項目表示
	R	B	C	O	_	*	*	*	色の濃さ(- 30 - + 30)
	R	B	T	I	_	*	*	*	色あい(- 30 - + 30)
	R	B	S	H	_	*	*	*	画質(- 30 - + 30)
	R	B	R	E	_	_	_	1	標準
自動同期調整	A	A	D	J	_	_	_	0	自動同期OFF
	A	A	D	J	_	_	_	1	自動同期 ON
	A	D	J	S	_	_	_	1	自動同期スタート
同期調整	I	N	C	L	*	*	*	*	クロック(- 150 - + 150)
	I	N	P	H	_	*	*	*	水平位相(- 60 - + 60)
	I	A	H	P	*	*	*	*	水平位置(- 150 - + 150)
	I	A	V	P	_	*	*	*	垂直位置(- 60 - + 60)
	I	A	R	E	_	_	_	0	項目表示
I	A	R	E	_	_	_	1	標準	
画面設定	I	M	B	O	_	_	_	0	ブラックスクリーン文字表示[オフ]
	I	M	B	O	_	_	_	1	ブラックスクリーン文字表示[オン]
	I	M	D	I	_	_	_	0	OSD表示[OFF]
	I	M	D	I	_	_	_	1	OSD 表示[ON]
	I	M	R	E	_	_	_	0	左右反転[オフ]
	I	M	R	E	_	_	_	1	左右反転[オン]
	I	M	I	N	_	_	_	0	上下反転[オフ]
	I	M	I	N	_	_	_	1	上下反転[オン]
	I	M	A	S	_	_	_	0	自動同期表示[オフ]
	I	M	A	S	_	_	_	1	自動同期表示[オン]
入力1 信号タイプ設定	I	A	S	I	_	_	_	1	RGB
	I	A	S	I	_	_	_	2	色差入力
入力2 信号タイプ設定	I	B	S	I	_	_	_	1	RGB
	I	B	S	I	_	_	_	2	色差入力
入力1 / 2 ガンマ設定	G	A	M	R	_	_	_	1	標準
	G	A	M	R	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	R	_	_	_	3	ガンマ2
	G	A	M	R	_	_	_	4	ユーザー設定
ビデオガンマ設定	G	A	M	V	_	_	_	1	標準
	G	A	M	V	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	V	_	_	_	3	ガンマ2
	G	A	M	V	_	_	_	4	ユーザー設定
ビデオ確認	S	Y	S	E	_	_	_	0	表示
ブラックスクリーン	I	M	B	K	_	_	_	0	ブラックスクリーン[オフ]
	I	M	B	K	_	_	_	1	ブラックスクリーン[オン]
画面モードメモリ	M	E	M	S	_	_	_	*	メモリー保存(1-7)
	M	E	M	L	_	_	_	*	メモリー選択(1-7)
入力1リサイズ	R	A	S	R	_	_	_	1	標準
	R	A	S	R	_	_	_	2	ワイド/フィットスクリーン
	R	A	S	R	_	_	_	3	ドットバインド/ノーマル(ワイド)
入力2リサイズ	R	B	S	R	_	_	_	1	標準
	R	B	S	R	_	_	_	2	ワイド/フィットスクリーン
	R	B	S	R	_	_	_	3	ドットバインド/ノーマル(ワイド)
ビデオリサイズ	R	A	S	V	_	_	_	1	標準
	R	A	S	V	_	_	_	2	ワイド
	R	A	S	V	_	_	_	3	ノーマル(ワイド)
ノイズフィルター	N	F	I	L	_	_	_	0	フィルター[オフ]
	N	F	I	L	_	_	_	1	フィルター[オン]
キーロック	K	L	I	S	_	_	_	*	キーロックレベル(1-3)

入力 1 映像調整および入力 2 映像調整は入力モードでのみ設定できます。入力 3 モードでは設定できません。コンピュータの機種によっては、ノイズが発生する場合があります。RS-232C コマンドを使ってノイズフィルターを「オン」に設定してください。



ワイヤードリモコン端子仕様

ワイヤードリモートコントロール入力仕様

- ・ 3.5 ミニジャック
- ・ 外部 : +5 V (1A)
- ・ 内部 : GND

機能および伝送コード

No.	制御項目 (機能)	システムコード					データコード					外部コード				
		C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	電源「入」	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
2	電源「切」	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
3	音量(小)	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
4	音量(大)	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
5	消音	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
6	メニュー	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
7	レンズ	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0
8	ツール	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0
9	ブラックスクリーン	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0
10	決定	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
11	戻し	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0

No.	制御項目 (機能)	システムコード					データコード					外部コード				
		C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
12	入力切換	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
13	静止	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0
14	拡大	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0
15	自動同期調整	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0
16	調整 ▲	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
17	調整 ▼	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
18	調整 ◀	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
19	調整 ▶	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
20	画面サイズ切換	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
21	ガンマ補正	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0



ワイヤードリモコン端子からリモコン間をケーブルで接続してください。ワイヤレスリモコン操作と同様にワイヤレスマウスとしても働きます。

ワイヤードリモートコントロール機能用コード

LSB

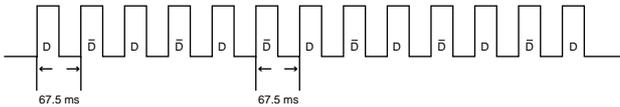
MSB

C1	システムコード	C5	C6	データコード	C11	C12	外部コード	C15	
1	0	1	1	0	*	*	*	1	0

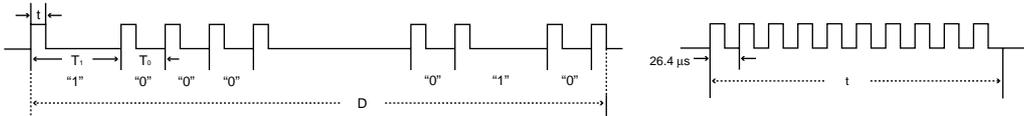
C1 から C5 までのシステムコードは "10110" 固定です。
C14 と C15 のコードはリバース確定ビットで、"10" は「前」、"01" は「後」を示しています。

シャープリモートコントロール信号形式

伝送フォーマット : 15 ビット形式



出力信号の波形 : パルスポジションモジュレーションを使用した出力



- ・ $t = 264 \mu s$
- ・ $T_o = 1.05 ms$
- ・ $T_1 = 2.10 ms$
- ・ パルスキャリア周波数 = 455/12 kHz
- ・ デューティレシオ = 1:1

伝送制御コード

15ビット

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
System Address					Function Key Data Bit					Data Expansion	Mask	Data Determination		
D to \bar{D} Common Data Bit					Reverse in \bar{D}									

リバースDto \bar{D} への例

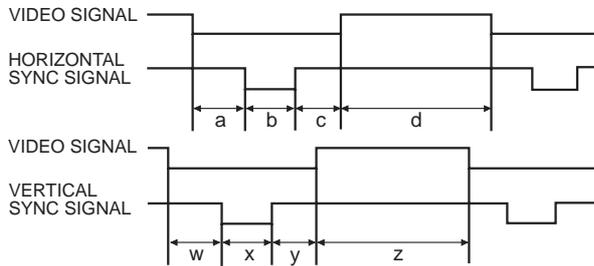
D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
\bar{D}	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1



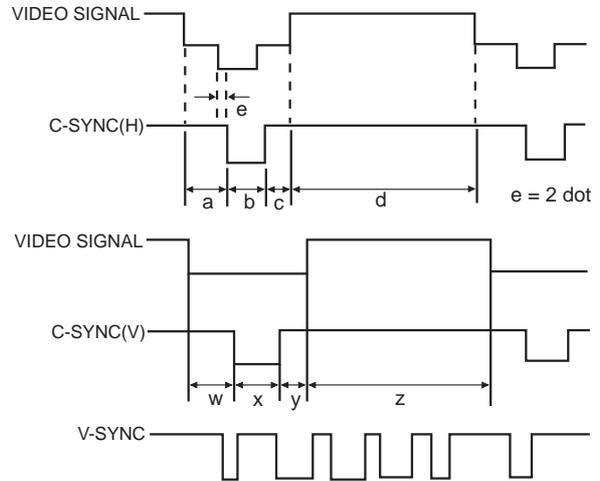
RGB 入力信号(推奨信号)について

種類の違うコンピュータ信号のコンピュータ出力信号のタイミングは参考まで下記に示します。

IBMコンピュータ・互換機



Macintoshシリーズ



下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規準以外の信号にも対応しています。



選択したモードによっては、プロジェクターは 130Hz 以下でも映像をはっきりと投影します。

	MODE		VIDEO		HSYNC										VSYNC								
					FRONT PORCH a	SYNC b	BACK PORCH c	VIDEO PERIOD d	1H (a+b+c+d)		1dot	1/H	1/dot	LEVEL	FRONT PORCH w	SYNC x	BACK PORCH y	VIDEO PERIOD z	1V (W+x+y+z)		1/V	LEVEL	
	dot	line	LEVEL	TYPE	dot	dot	dot	dot	dot	μs	ns	kHz	MHz	H	H	H	H	H	ms	Hz			
VGA	VESA Standard	640	350			32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		32	3	60	350	445	11.8	85.080	
		640	400			32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	41	400	445	11.8	85.080	
		720	400			36	72	108	720	936	26.4	28.2	37.927	35.500		1	3	42	400	446	11.8	85.039	
	Industry Standard	640	480			8	96	40	640	800	31.8	39.7	31.469	25.175		2	2	25	480	525	16.7	59.940	
		640	480			16	40	120	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	20	480	520	13.7	72.809	
		640	480			16	64	120	640	840	26.7	31.7	37.500	31.500		1	3	16	480	500	13.3	75.000	
SVGA	VESA Standard	640	480			56	56	80	640	832	23.1	27.8	43.269	36.000		1	3	25	480	509	11.8	85.008	
		800	600			24	72	128	800	1,024	28.4	27.8	35.156	36.000		1	2	22	600	625	17.8	56.250	
		800	600			40	128	88	800	1,056	26.4	25.0	37.879	40.000		1	4	23	600	628	16.6	60.317	
	VESA Guidelines	800	600			56	120	64	800	1,040	20.8	20.0	48.077	50.000		37	6	23	600	666	13.9	72.188	
		800	600			16	80	160	800	1,056	21.3	20.2	46.875	49.500		1	3	21	600	625	13.3	75.000	
		800	600			32	64	152	800	1,048	18.6	17.8	53.674	56.250		1	3	27	600	631	11.8	85.061	
XGA	Industry Standard	1,024	768			8	176	56	1,024	1,264	28.2	22.3	35.522	44.900		0	4	20	768	817	23.0	43.479	
		1,024	768			24	136	160	1,024	1,344	20.7	15.4	48.363	65.000		3	6	29	768	806	16.7	60.004	
		1,024	768			24	136	144	1,024	1,328	17.7	13.3	56.476	75.000		3	6	29	768	806	14.3	70.069	
	VESA Guidelines	1,024	768			16	96	176	1,024	1,312	16.7	12.7	60.023	78.750		1	3	28	768	800	13.3	75.029	
		1,024	768			48	96	208	1,024	1,376	14.6	10.6	68.677	94.500		1	3	36	768	808	11.8	84.997	
		1,152	864			64	128	256	1,152	1,600	14.8	9.3	67.500	108.000		1	3	32	864	900	13.3	75.000	
SXGA	VESA Standard	1,280	960			96	112	312	1,280	1,800	16.7	9.3	60.000	108.000		1	3	36	960	1,000	16.7	60.000	
		1,280	960			64	160	224	1,280	1,728	11.6	6.7	85.938	148.500		1	3	47	960	1,011	11.8	85.002	
		1,280	1,024			48	112	248	1,280	1,688	15.6	9.3	63.981	108.000		1	3	38	1,024	1,066	16.7	60.020	
	Industry Standard	1,280	1,024			16	144	248	1,280	1,688	12.5	7.4	79.976	135.000		1	3	38	1,024	1,066	13.3	75.025	
		1,280	1,024			64	160	224	1,280	1,728	11.0	6.3	91.146	157.500		1	3	44	1,024	1,072	11.8	85.024	
		1,600	1,200			64	192	304	1,600	2,160	13.3	6.2	75.000	162.000		1	3	46	1,200	1,250	16.7	60.000	
UXGA	VESA Standard	1,600	1,200			64	192	304	1,600	2,160	12.3	5.7	81.250	175.500		1	3	46	1,200	1,250	15.4	65.000	
		1,600	1,200			64	192	304	1,600	2,160	11.4	5.3	87.500	189.000		1	3	46	1,200	1,250	14.3	70.000	
		1,600	1,200			64	192	304	1,600	2,160	10.7	4.9	93.750	202.500		1	3	46	1,200	1,250	13.3	75.000	
		1,600	1,200			64	192	304	1,600	2,160	9.4	4.4	106.250	229.500		1	3	46	1,200	1,250	11.8	85.000	



	MODE		VIDEO		HSYNC									VSYNC										
					FRONT PORCH a	SYNC b	BACK PORCH c	VIDEO PERIOD d	1H (a+b+c+d)		1dot	1/H	1/dot	LEVEL	FRONT PORCH w	SYNC x	BACK PORCH y	VIDEO PERIOD z	1V (w+x+y+z)		1/V	LEVEL		
	dot	line	LEVEL	TYPE	dot	dot	dot	dot	dot	μs	ns	kHz	MHz		H	H	H	H	H	ms	Hz			
Macintosh™	13" Monitor	640	480	0.7 Vp-p 75 Ω load	R • G • B	64	64	96	640	864	28.6	33.1	30.2400	TTL	3	3	39	480	525	15.0	66.670	TTL		
	16" Monitor	832	624			31	65	224	832	1,152	20.1	17.5	49.693		57.246	1	3	39	624	667	13.4		74.502	
	19" Monitor	1,024	768			35	96	173	1,024	1,328	16.7	12.5	60.000		79.760	3	3	30	768	804	13.4		74.700	
	21" Monitor	1,152	870			36	128	140	1,152	1,456	14.5	10.0	68.887		100.300	3	3	39	870	915	13.3		75.287	
SUN	66Hz	1,152	900			29	128	195	1,152	1,504	14.8	10.8	61.795		92.940	2	4	31	900	937	14.3		69.950	
	76Hz	1,152	900			16	96	208	1,152	1,472	13.9	9.5	71.713		105.561	2	8	33	900	943	13.1		76.048	
	84Hz	1,152	900			24	96	168	1,024	1,312	14.1	10.8	70.838		92.940	2	8	33	800	843	11.9		84.031	
DTV	480I	640	480			R • G • B/ COMPONENT	-	-	-	-	-	-	-		-	15.734	-	-	-	-	-		-	-
	480P	640	480		-		-	-	-	-	-	-	-		-	31.469	-	-	-	-	-		-	59.940
	720P	1,280	720		-		-	-	-	-	-	-	-		-	44.955	-	-	-	-	-		-	59.740
	1080I	1,920	1,080		-		-	-	-	-	-	-	-		-	33.716	-	-	-	-	-		-	59.940

メモ

本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。

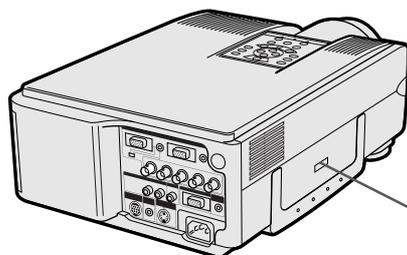
本機は640 × 350 VESA形式のVGA信号を受け取ることができますが、スクリーン上では"640 × 400"と表示されます。

1,600 × 1,200 VESA形式 UXGA信号を受け取った場合は、サンプリングを行い、映像を1,024本の線で表示するため、映像の一部が遮断(ブロック)されて表示されることがあります。



盗難防止用コネクタを使用する

盗難防止用コネクタに市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。



Kensington Security Standard connector

メモ

盗難防止用コネクタは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しております。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel:03-3438-8879 Fax:03-5473-1630



故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声もない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	30
	本体の電源が「切」の状態になっていませんか。	30
	接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	表示させる画面の選択がまちがっていませんか。	31
	プロジェクター背面の配線は、正しく接続されていますか。	23~28
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。	14
	リモコンのMOUSE/ADJ.が「MOUSE」側になっていませんか。	-
	底部のエアフィルターカバーはきちんと取り付けられていますか。	91
 音声は出るが映像が出ない	ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。 ブラックスクリーン画面になっていませんか。	- 66・67
	プロジェクター背面の配線は、正しく接続されていますか。	23~28
	映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。 ブラックスクリーン画面になっていませんか。 15pin/BNC切換スイッチの位置が正しい位置になっていませんか。	40・41 66・67 24・25
 色がうすい、色あいが悪い	映像調整は、正しく調整されていますか。	40・41
	ビデオ入力するとき ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	58 42
 映像がボヤける ノイズが発生する	レンズのフォーカスは合っていますか。	32・33
	投影距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	21
	コンピュータ入力するとき 同期調整(クロック調整)を行ってください。 同期調整(位相調整)を行ってください。 コンピュータによってはノイズが発生することがあります。 RS-232Cコマンドでノイズフィルターを「オン」に設定してください。	46・47 46・47 95・96
 映像は出るが音声が出ない	プロジェクター背面の配線は、正しく接続されていますか。	23~28
	音量が最小になっていませんか？	31
キャビネットから時々「ピシッ」と音がる	画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせランプが点灯する	「お知らせランプ/光源(ランプ)について」をご覧ください。	92
リモコンが正しく動作しない	MOUSE/ADJ.は「ADJ.」側になっていますか(調整するとき)。	38
	乾電池が消耗していませんか。	14
	乾電池は正しく入っていますか。	14
ワイヤレスマウスがはたらかない	MOUSE/ADJ.は「MOUSE」側になっていますか。	35
	パソコンのマウスコネクタとプロジェクターは正しく接続されていますか。 マウスのシステム設定が正しく選択されていますか。	34 -
レーザーポインタがはたらかない	MOUSE/ADJ.は「MOUSE」側になっていますか。	35





アフターサービスについて

保証について

- ① この液晶プロジェクターには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、光源(ランプ)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用の液晶プロジェクターの点検を! こんな症状はありませんか?

電源コードやプラグが異常に熱い。電源ボタンを入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
画面が映ったり、消えたりする。映像が乱れたり、色がきれいに出不い。その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

- ① この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- ② 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理依頼時につぎのことをお知らせください。

商品名 液晶プロジェクター
形名 XG-P10XJ
故障状況(できるだけくわしく)
ご氏名
ご住所(付近の目印など道順)
お電話番号





お問い合わせは

修理サービスを依頼される前に [100ページ](#)の「故障かな?と思ったら」をお読みください。

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室またはお客様ご相談窓口へお寄せください。
お電話でお寄せいただく場合は、電話番号をよくお確かめのうえおかけいただくようお願い申し上げます。
まちがい電話は相手の方に迷惑になるだけでなく、お客様にとっても不経済なものとなります。

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。
製品の故障や部品のご購入などのご相談は..... **修理ご相談窓口** へ
(注) *印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。
製品に対するご意見・ご要望などは..... **一般ご相談窓口** へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地			
北海道	CSセンター	(011)641-4690	札幌市西区二十四軒1条7-3-17	東京都	*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端2-13-17			
	*札幌	(011)641-4685			*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台5-5-4			
	北見	(0157)36-4649		神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	横浜市磯子区中原1-2-23			
	帯広	(0155)21-6925			*横浜	(045)753-4647		平塚市田村1381		
	苫小牧	(0144)34-7740			*湘南	(0463)54-4738		相模原市横山2-2-12		
	室蘭	(0143)45-4649			*相模原	(0427)59-4195				
	釧路	(0154)25-4649			山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	甲府市富竹2-1-17		
	旭川	(0166)25-4649				*山梨	(055)228-5375			
	函館	(0138)51-4649								
青森県	青森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4	静岡県	CSセンター	(054)285-9360	静岡市曲金6-8-44			
	弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1		*静岡	(054)285-9340	沼津市宮前町11-4			
	八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16		*沼津	(0559)22-5249	浜松市植松町1476-2			
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56	長野県	CSセンター	(026)293-6612	松本市芳野8-14			
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5		*松本	(0263)27-4694		長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1		
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1	愛知県	CSセンター	(052)332-5880	名古屋市市中川区山王3-5-5			
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43		*名古屋	(052)332-2623		岡崎市柿田町1-2-1		
宮城県	CSセンター	(022)288-9250	仙台市若林区卸町東3-1-27	*岡崎	(0564)24-2343	豊橋市下地町橋口17-1				
	*宮城	(022)288-9142			*豊橋	(0532)53-4647				
山形県	山形	(023)631-4649	山形市飯田2-7-43	岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	岐阜市六条南3-12-9			
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5		*岐阜	(058)273-4969		可児市土田下切3832-1		
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1	三重県	CSセンター	(052)332-5880	津市栗真町屋浦池328			
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2		*三重	(059)232-6300				
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘37-10		富山県	CSセンター		(076)269-1875	富山市金泉寺71-1	
新潟県	CSセンター	(025)285-1513	新潟市上所中1-7-21	石川県	CSセンター	(076)269-1875	石川郡野々市町御縁塚町1096-1			
	*新潟	(025)285-3663			*金沢	(076)249-2434				
	*長岡	(0258)23-1819			長岡市撰田屋町藤岡5201	福井県		CSセンター	(076)269-1875	福井市北四ツ居町625
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	宇都宮市不動前4-2-41	滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	大津市栗林町11-35			
	*栃木	(028)637-1179			*滋賀	(077)545-4692		彦根市東沼波町133		
	*小山	(0282)62-5466			下都賀郡藤岡町藤岡5201	*彦根	(0749)24-4643			
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722	前橋市問屋町1-3-7	京都府	CSセンター	(06)6795-2899	京都市南区上鳥羽菅田町48			
	*群馬	(027)252-4706			*京都	(075)672-2378		福知山市末広町6-13		
						*北近畿	(0773)23-9151			
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	水戸市千波町1963	大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	大阪市浪速区恵美須西1-2-9			
	*茨城	(029)241-4930			*大阪	(06)6643-5331		堺市老松町1-3-9		
	*南茨城	(0298)57-9130			つくば市栗原2857-9	*堺		(0722)45-4651	大阪府平野区加美南3-7-19	
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	大宮市宮原町2-107-2	*大阪TC	(06)6794-5611	貝塚市沢1215				
	*埼玉中央	(048)666-7987		*南大阪	(0724)31-1950	茨木市鮎川5-15-3				
	*埼玉東	(0489)78-7101		*北大阪	(0726)34-4519	尼崎市猪名寺3-2-10				
				*阪神	(06)6421-4877					
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	千葉市美浜区中瀬1-9-2	(兵庫県)	CSセンター	(06)6795-2899	神戸市須磨区弥栄台3-15-2			
	*千葉	(043)299-8840						*兵庫	(078)791-1541	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	*西千葉	(0473)68-4766						*神戸	(078)453-4651	姫路市青山5-7-7
	*東千葉	(0479)79-1181								
	*木更津	(0438)37-7912								
東京都	CSセンター	(03)5692-7722	東京都墨田区石原2-12-3	兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	神戸市須磨区弥栄台3-15-2			
	*江東	(03)3626-4642						*兵庫	(078)791-1541	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	*城南	(03)3776-2419						*神戸	(078)453-4651	姫路市青山5-7-7
	*城北	(03)3972-4195								
	*世田谷	(03)3707-3345	東京都板橋区東新町1-33-11							
			東京都世田谷区用賀3-8-18							



修理ご相談窓口

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
兵庫県	[*豊岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑 77-1	徳島県	[*徳島	(088)625-4654	徳島市中常三島町 3-11-14
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	大和郡山市美濃庄町 492 御所市茅原 4-3	愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	松山市高岡町 178-1
	[*奈良	(0743)53-6693		[*愛媛	(089)971-4563		
	[*奈良南	(0745)65-1492		高知県	CSセンター	(0888)82-4021	高知市高須 960-1
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	和歌山市西小二里 2-4-91 田辺市稲成町 441-1	福岡県	[*高知	(0888)82-4635	
	[*和歌山	(073)445-4615			CSセンター	(092)586-1122	福岡市博多区井相田 2-12-1
	[*南紀	(0739)25-3121			[*福岡	(092)572-4652	
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204	[*南福岡	(0942)45-8211	久留米市御井旗崎 3-7-14	
	岡山県	CSセンター		(086)292-1707	[*北九州	(093)592-4677	北九州市小倉北区大手町 6-1-2
[*岡山		(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾 828	佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	松江市西津田 3-1-10	長崎県	[*佐賀	(0952)24-9450	
	[*松江	(0852)24-4810			CSセンター	(095)844-1870	
広島県	CSセンター	(082)874-8071	広島市安佐南区西原 2-13-4 東広島市八本松東 4-3-30 福山市津之郷町津之郷上開地	大分県	[*長崎	(0957)52-3511	大村市古賀島町 613-3
	[*広島	(082)874-8149			佐世保	(0956)32-6666	佐世保市白岳町 107-5
	CSセンター	(0824)28-7448		熊本県	CSセンター	(097)552-9416	大分市松原町 3-5-3
	[*東広島	(0824)28-7490			[*大分	(097)552-2313	
	CSセンター	(0849)51-7644			[*熊本	(096)366-7070	熊本市新屋敷 3-15-17
[*福山	(0849)51-7654	天草	(096)364-4777				
山口県	CSセンター	(083)972-0870	吉敷郡小郡町若草町 4-12 下松市西豊井 173-1	宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	本渡市港町 19-3
	[*山口	(083)972-0891			[*宮崎	(0985)31-1832	
	[*東山口	(0833)44-0923			[*都城	(0986)52-1311	北諸県郡三股町大字蓼池 624-1
香川県	CSセンター	(087)823-5513	高松市朝日町 6-2-8	鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	鹿児島市鴨池新町 12-1
	[*香川	(087)823-4901			[*鹿児島	(099)253-4600	
徳島県	CSセンター	(088)625-4684					

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1	鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里 1178-5				

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649	FAX(06)6792-5993	〒547-0003	大阪市平野区加美南 4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013	東京都北区東田端 2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721	名古屋市中区山王 3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(00.07)





仕様

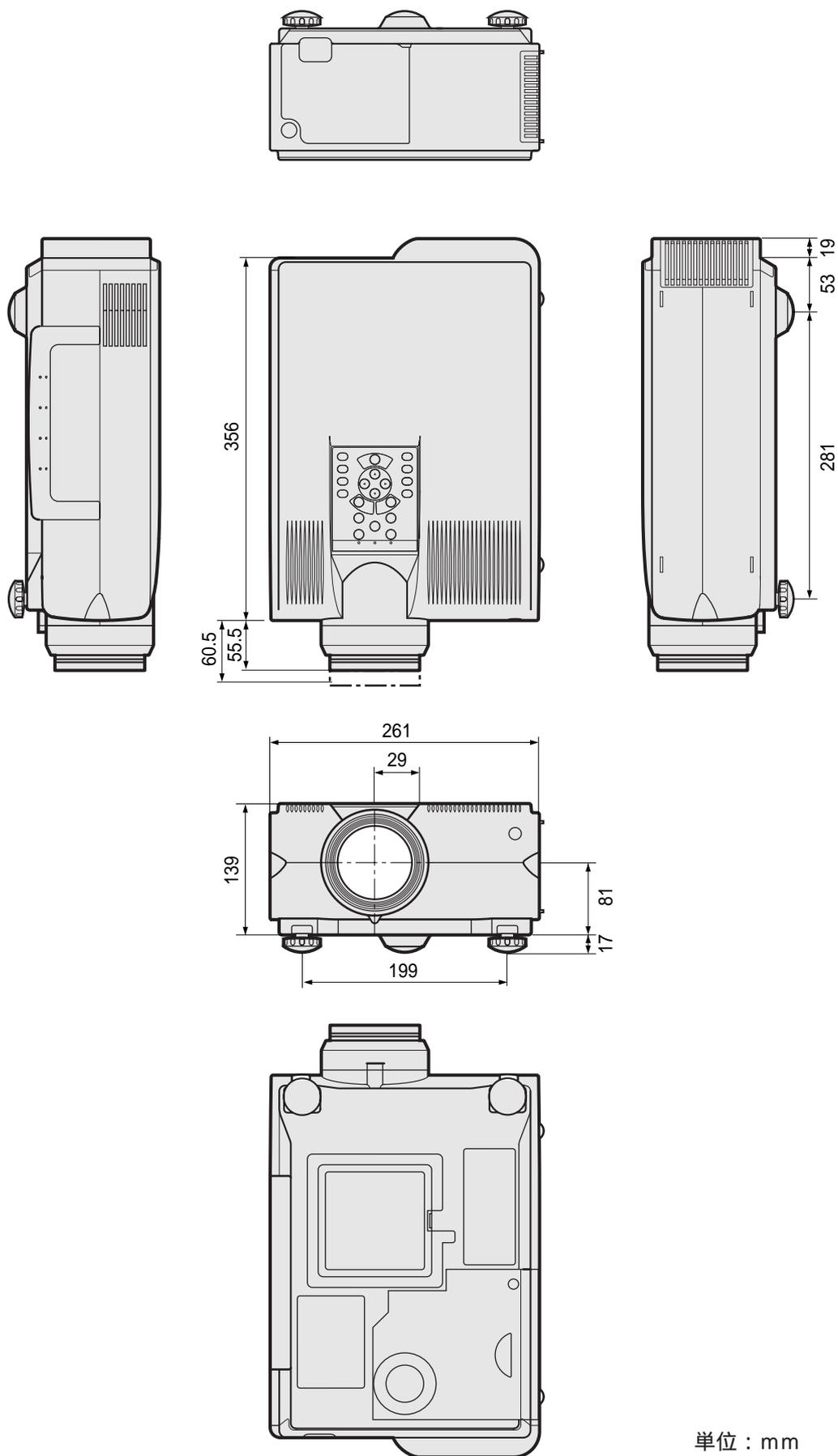
品名		液晶プロジェクター	
形名		XG-P10XJ	
表示方式		液晶パネル3枚、3原色光シャッター方式	
液晶パネル	パネルサイズ	1.3型 (縦20.0 mm × 横26.6 mm)	
	表示方式	透過型TN液晶パネル	
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	786,432(縦1,024 × 横768)ドット 有効画素率99.99%以上 ×3	
レンズ		1～1.3倍ズームレンズ F1.7～2.3 f=49.1～63.8 mm	
ランプ		200W UHPランプ	
コントラスト比		250:1	
音声出力		2W+2W (ステレオ)	
スピーカ		5 cm 2個	
定格電圧		AC100V	
定格周波数		50/60Hz	
消費電力		300W (リモコン待機時×W)	
使用温度範囲		5～40	
保管温度範囲		-20～+60	
入力・出力端子	コンピュータRGB/ コンポーネント入力 端子	RGB分離型アナログ信号	: 15ピンミニD-sub端子(INPUT1/2) : BNC端子(INPUT1)
		コンポーネント	: Y 1.0VP-P(75) : P _B 0.7VP-P(75) : P _R 0.7VP-P(75)
	コンピュータRGB/ コンポーネントモニ ター出力端子	RGB分離型アナログ	: 15ピンミニD-sub端子
		コンポーネント	: Y 1.0VP-P(75) : P _B 0.7VP-P(75) : P _R 0.7VP-P(75)
	ビデオ入力端子	映像: 1.0Vp-p、75、同期負 音声: 0.5Vrms、22k 以上	: RCAピン端子 : RCAピン端子
	S映像入力端子	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75、同期負: 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75	
	音声モニター出力端子	音声: 0.5Vrms、2.2k 以下	: 3.5 ステレオミニジャック端子
PC コント ロール ケーブル	マウス 入力端子	9ピンD-sub端子 9ピンミニDIN端子	
	RS-232C 入力端子	9ピンD-sub端子	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法		幅261mm、奥行356mm、高さ139mm(突起部除く)	
質量		7.3 kg	
<p><付属品> ・リモコン ・単3乾電池×2本 ・電源コード ・コンピュータ(RGB)ケーブル ・コンピュータ音声ケーブル ・BNC-RCA変換プラグ×3個 ・USBマウスコントロールケーブル(シリアル) ・マウスコントロールケーブル(PS2用) ・リモートマウスレシーバー ・DIN-D-sub RS-232Cケーブル ・エアフィルター(交換用) ・レンズキャップ ・CD-ROM ・取扱説明書(本書) ・クイックガイド ・Sharp Advanced Presentation Software取扱説明書 ・保証書</p>			

液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

お願い ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。



寸法図



単位：mm



用語集

RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

I/P 変換

インターレース形式の信号をプログレッシブ方式の信号に変換する機能です。

インターレースは動きの速い映像を投影するときに適しています。プログレッシブは静止画など動きの少ない映像を投影するときに適しています。インターレースに比べ、よりきれいな映像が投影できます。

アスペクト比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常のアスペクト比は4:3です。アスペクト比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。

位相調整

コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

一覧表示

各調整項目の設定内容を表示します。

オープニング画面

プロジェクターの電源が入ったときに表示される映像です。

キーロック

プロジェクター本体の上面にあるボタンをロックする(機能させない)ことができます。設定レベルにより、一部のボタンのみロックするのか、すべてのボタンをロックするのか選択できます。リモコンのボタンはロックできません。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投影する機能です。

デジタルキーストーン補正

プロジェクターの映像を投影したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

デジタルシフト

16:9ワイド画面やシネマなど上下が黒くなる横長の映像を投影するときは、画像全体を上下させて見やすくすることができます。

ドットバイドット

映像を元の解像度で投影するモードです。

ノーマル(ワイド)

スクリーンサイズがワイドスクリーンのとき、スクリーンサイズに合わせて投影するモードです。上下が切れるのを防ぎます。

パスワード

各メニューの設定内容を修正されなくないときはパスワード(暗証番号)を設定します。

PDF

ポータブルドキュメントフォーマット。CD-ROMからテキストや映像を伝送するために使用されるドキュメンテーションフォーマットです。

フィットスクリーン

SXGA(1280×1024)アスペクト比5:4の映像をXGA(1024×768)に変換して表示する機能です。

フリーズ

動く映像を一時停止する機能(静止画機能)です。

プレゼンテーションツール

プレゼンテーションするために役立つツールです。

無信号時表示画面

信号が入力されていないときに投影される初期設定映像です。

ワイヤレスマウス機能

付属のリモコンを使ってコンピュータのマウスを操作する機能です。





索引

A ~ Z

▲▼◀▶(マウス選択/調整)ボタン	32
AC(電源)ソケット	23
Acrobat Reader 4.0J	9
AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン	46,55
BACKLIGHT(バックライト)ボタン	16
BLACK SCREEN/LENS(ブラックスクリーン/レンズ)ボタン	32,66
ENLARGE(拡大)ボタン	63
ENTER(決定)ボタン	32
FREEZE(静止)ボタン	62
GAMMA(ガンマ補正)ボタン	64
I/P変換	43
INPUT(入力切替)ボタン	31
L-CLICK(左クリック)ボタン	35
LAMP(光源「ランプ交換」お知らせ)ランプ	30,92
LASER(レーザーポインタ)ボタン	35
LENS(レンズ)ボタン	32
MENU(メニュー)ボタン	38
MOUSE/ADJ(マウス/調整切替)スイッチ	15
MUTE(消音)ボタン	31
ON(電源「入」)ボタン	30
OFF(電源「切」)ボタン	31
PDF取扱説明書	9
POWER(電源)ランプ	30
R-CLICK(右クリック)ボタン	35
RESIZE(画像サイズ切替)ボタン	65
RGB入力	42
Sharp Advanced Presentation Software(SAPS)	18
TEMP(温度「モニターお知らせ」)温度ランプ	92
TOOLS(ツール)ボタン	86
UNDO(戻し)ボタン	39,63,64,86
VOLUME(音声調整)ボタン(+/-)	31

あ

アジャスター	19
エアフィルター	91
映像左右/上下反転機能	85
映像調整	37,40,41
一覧	37,84
オープニング画面	74
オプション	37
音量調整	37,44

か

乾電池	14
キーストーン補正(調整)	32,33
キーロック	80
キャリングハンドル	11,90
クロック	46
言語選択	37,82
光源(ランプ)交換ランプ	70,92

さ

色差入力	42
自動電源オフ機能	69
自動同期調整	46
省エネモード	68
ズーム(調整)	32,33
水平位相	46
スピーカー	10
静止画	62

た

天吊り	85
電源コード	23
デジタルシフト	33,65
同期調整	37,46
投影方式	37,85
盗難防止用コネクター	99
ドットバイドット	65

な

入力1モード	31
入力2モード	31
入力3モード	31
ノーマル	65
ノーマル(ワイド)	65

は

パスワード	76
フィットスクリーン	65
フォーカス(調整)	32,33
プレゼンテーションツール	86
フリーズ	62

ま

マウスボタン	15
無信号時表示画面	72

ら

リア	85
リモートマウスレシーバー	16,34
リモコン	12,14,16
リモコン受信部	16
リモコン信号発信部	13
リリースボタン	19
レーザー光発射口	14,35
レーザーポインタ	35
冷却ファン(通気孔)	8,90
冷却ファン(排気孔)	8,90

わ

ワイド	65
ワイヤードリモコン端子	14
ワイヤレスマウス	16,34

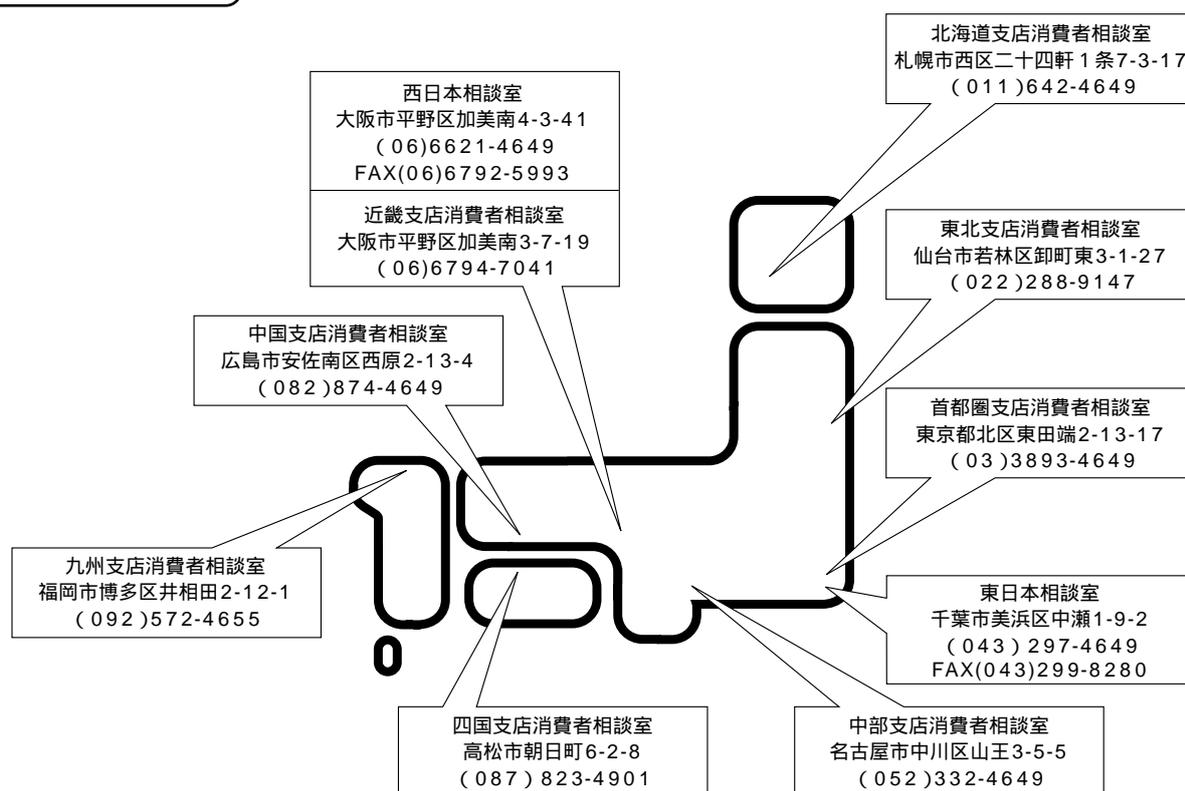


修理サービスを依頼される前に100ページの「故障かな?と思ったら」をもう一度お読みください。

【お問い合わせは】

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープお客様ご相談窓口「一般ご相談窓口」へお申し付けください。製品の故障や部品のご購入などの相談は「修理ご相談窓口」へお申し付けください(くわしくは、102~103ページをご覧ください)。

一般ご相談窓口



シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町 22 番 22 号
電話 06(6621)1221(大代表)

AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町 174 番地
電話 0287(43)1131(大代表)